

令和7年度分 実施計画事業評価票

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	1
実施計画事業名	防災意識の高揚や地域における防災力の向上	担当部署名	防災課	
事業の実施目的 及び概要	市民の防災意識の更なる高揚による地域防災力の向上を目的に、自助・共助の重要性を広めるとともに、防災メール発信システムの利用促進や家庭内備蓄（自助備蓄）・地域での備蓄（共助備蓄）の普及啓発を行います。 また、自主防災組織の結成促進や活動を側面から支援するとともに、市民、地域、行政など関係機関が連携した地域防災体制の構築に向けた取組を推進します。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画 消防組織法 消防法	
取組方針	防災意識の高揚や地域における 防災力の向上（自助・共助）			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  11 住み続けられるまちづくりを  13 気候変動に具体的な対策を  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容及び数量)	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布による周知 ★総合防災訓練の実施 ・防災学習会の開催 ・防災ポータルサイトによる情報配信及び普及啓発 ★自主防災組織活動等への助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布による周知 ★総合防災訓練の実施 ・防災学習会の開催 ・防災ポータルサイトによる情報配信及び普及啓発 ★自主防災組織活動等への助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催	・ハザードマップ、総合防災ブックの配布による周知 ★総合防災訓練の実施 ・防災学習会の開催 ・防災ポータルサイトによる情報配信及び普及啓発 ★自主防災組織活動等への助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催
事業費	20,173千円	20,173千円	20,173千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布実施 ・総合防災訓練の実施(滝野中学校区、会場:滝野小・中学校) ・広報等による自助・共助等普及啓発の実施 ・防災ポータルサイトの運用 ・自主防災組織への設置助成及び活動助成の実施 ・自主防災組織リーダー研修会・防災講座(出前講座)の実施	当初予算	20,173,000円
		予算現額	19,053,000円
		決算額	15,297,200円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	防災情報の広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	10	10
			実績値	8	10	7	12	16
	総合防災訓練の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	自主防災組織結成に向けた広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	7	9	7
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	防災メール等の登録者数	人	目標値	15,000	17,000	19,000	23,000	25,000
			実績値	15,171	21,162	24,324	25,296	30,424
	総合防災訓練自治会等参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	50	47	89	93	61
	自主防災組織活動カバー率(自主防加入世帯/市の世帯)	%	目標値	80	81	82	83	84
			実績値	78	78	80	82	81
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	防災メール等の登録者数については大幅に増加したが、総合防災訓練の参加率は下降し、自主防災組織のカバー率は横ばいであった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	総合防災訓練については自治会としての参加率は下降したが、来場者数は増加した(R6:925人→R7:1062人)。自主防災組織のカバー世帯数は増加したが、それ以上に市の世帯数が増加した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
災害における被害を軽減するには、防災に対する各種対策等の普及啓発が重要であるため、引き続き実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業の概要			事業番号	2
実施計画事業名	防災・減災基盤の充実	担当部署名	防災課	
事業の実施目的 及び概要	災害に強い防災・減災基盤の整備を目的に、災害時、いかなる状況下においても市民に迅速かつ的確に情報を伝達するため、防災行政無線以外の情報伝達手段の多様化を推進し、将来的に更新が必要となる子局等の更新計画の策定に取り組みます。 また、避難所においては、感染症に配慮した資機材の整備、停電対策としての非常用電源の確保、災害用トイレの多様化や暑さ対策など、避難所における生活環境の改善と衛生管理を推進し、公助備蓄に対応するための防災備蓄拠点の整備に取り組むとともに、災害時における飲料水及び生活用水を確保するための災害用井戸の整備を計画的に実施し、併せて、災害時協力井戸制度の普及・啓発に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画	
取組方針	防災・減災基盤の充実（公助）			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  11 住み続けられるまちづくりを  13 気候変動に具体的な対策を  17 パートナリーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・災害用井戸の設計(2箇所) ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設置(2箇所) ★災害用資機材(トイレ・段ボールベッド等)の購入 ★災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理 ・国土強靱化地域計画の改訂	・災害用井戸の整備工事(2箇所) ・災害用井戸の設計(2箇所) ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ★災害用資機材の購入 ★災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理 ・防災アセスメント調査の実施	・災害用井戸の整備工事(2箇所) ・災害用井戸の設計(2箇所) ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ★災害用資機材の購入 ★災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理 ・地域防災計画の改訂
事業費	103,543千円	98,990千円	86,736千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・災害用井戸設計(5カ所)実施 ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設置工事(印旛中学校、滝野中学校) ・災害用備蓄食料・資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結(1件) ・防災行政無線子局等の状況に応じた交換等を実施 ・国土強靱化地域計画の改訂の実施	当初予算	103,543,000円
		予算現額	83,254,000円
		決算額	75,625,295円
		翌年度 繰越額	2,898,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	災害用井戸の設置数	箇所	目標値	6	7	8	9	-
			実績値	6	7	8	9	-
	マンホールトイレの設置数	箇所	目標値	-	2	4	6	8
			実績値	-	2	4	6	8
	災害時協力井戸制度の普及・啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1	8	8	9	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	災害用井戸の設置率(全9箇所)	%	目標値	66	77	88	100	-
			実績値	66	77	88	100	-
	マンホールトイレの設置率(全8箇所)	%	目標値	-	25	50	75	100
			実績値	-	25	50	75	100
	災害時協力井戸の登録者数	人	目標値	20	30	40	50	60
			実績値	9	13	16	21	23
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	災害時協力井戸の登録者数は目標に達しなかったが、前年度より増やすことができた。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	災害時協力井戸の登録者数は目標に達しなかったが、前年度より増やすことができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・大規模災害時には、物流、流通機能等が停止することから、引き続き計画的に非常食の備蓄に努める。また、避難所においては災害用マンホールトイレを維持管理するとともに、資機材等を整備する。なお、災害用井戸設置については計画通り実施することができた。 ・引き続き、災害時協力井戸の周知啓発に努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	3
実施計画事業名	消防体制の拡充		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	消防体制の拡充を目的に、近年、複雑・多様化するあらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守り、これらの災害に迅速かつ的確に対応するため、市、常備消防、消防団の連携を更に強化することで、災害対応力の向上を図ります。 また、消防団がより安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防水利などを計画的に整備するとともに、機能別消防団員制度の普及、啓発を図ることで、地域防災の中核的な存在である消防団員の確保に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画 消防法 消防組織法	
取組方針	消防・救急体制の維持・拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 1 貧困をなくそう  11 包摂的で安全かつ強靱な都市を創出  13 気候変動に具体的な対策を  17 パートナーシップで目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築工事(1棟)・解体工事(1棟) ・防火水槽設置及び補修等工事	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体設計業務(1棟) ・防火水槽補修等工事	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(1棟)、新築・解体設計業務(1棟) ・防火水槽補修等工事
事業費	169,241千円	97,408千円	142,277千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入(ホース、ガンタイプ管槍など) ・消防団器具庫1-1(木下)新築工事、4-12(中の口)解体工事 ・防火水槽(松崎地区)設置工事 ・防火水槽(中根地区)設置工事	当初予算	179,919,000円
		予算現額	175,580,000円
		決算額	151,273,101円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	消防団員の確保に向けた啓発活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	15	15	15
	消防団器具庫の更新数	棟	目標値	—	1	3	5	7
			実績値	—	1	2	4	5
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	消防団員の充足率	%	目標値	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0
			実績値	77.1	75.5	73.7	69.2	70.7
	消防団器具庫の更新率(全14棟)	%	目標値	—	7	21	35	50
			実績値	—	7	14	29	36
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	消防団員の充足率については、目標値に達しなかったが、令和7年度実績値は前年度から増加した。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	消防団員の充足率については、目標値に達しなかったが、令和7年度実績値は前年度から増加した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も消防団員が安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防団器具庫及び消防水利などを計画的に整備していく。 また、消防団員数については、現在も減少傾向にあるため、国県の動向等を踏まえ更なる処遇改善等の検討を進めるとともに、啓発等を実施し団員確保に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	4
実施計画事業名	防犯対策の推進		担当部署名 市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、市民、各種団体、関係機関及び行政が協力・連携し、犯罪の抑止に向けた取組を推進します。 また、近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や新たな犯罪に市民が巻き込まれないよう、情報提供や犯罪被害者等の相談に努めます。		
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市安全で安心なまちづくり推進 条例及び同条例施行規則 印西市暴力団排除条例 印西市犯罪被害者等支援条例及び 同条例施行規則
取組方針	防犯対策の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	3 人々の平和と正義を促進する  16 平和と正義を促進する  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ★街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与 ★家庭用防犯カメラ購入費助成金の交付	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ★街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与 ★家庭用防犯カメラ購入費助成金の交付	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ★街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与 ★家庭用防犯カメラ購入費助成金の交付
事業費	100,846千円	100,846千円	100,846千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・自主防犯活動組織への補助金交付及び犯罪発生状況等の説明 ・市内犯罪発生状況を市HP及びXに掲載(月2回) ・市内犯罪発生状況を登録者にE-mailやFAXで配信(月2回) ・地区別字別犯罪発生状況を市HPに掲載(毎月) ・警察と連携した合同パトロール(毎月) ・青色回転灯装着車両によるパトロール業務(289日) ・防犯灯の新設(59台)及び維持管理 ・団体への防犯講話の実施(16回) ・街頭での防犯啓発活動の実施(10回) ・街頭防犯カメラの管理及び運用(駅ロータリー49台) ・防犯カメラ設置補助事業の補助金交付(相談のみ) ・電話de詐欺対策機器貸与(29台) ・家庭用防犯カメラ購入費助成金交付(220件)	当初予算	100,846,000円
		予算現額	115,787,000円
		決算額	100,177,928円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地域安全パトロールの実施(青色灯搭載車による)	日	目標値	260	260	260	260	260
			実績値	286	285	285	287	289
	新設防犯灯数	灯	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	89	66	61	51	59
	市民安全情報の配信	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	24
	防犯パトロール回数	回	目標値	940	940	940	940	940
			実績値	771	606	666	686	1,082
			目標値					
			実績値					
成果指標	市民安全パトロール隊の隊数	隊	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13	10	10	13	13
	印西市内での刑法犯認知件数(暦年)	件	目標値	560	550	540	530	520
			実績値	513	581	648	680	771
	印西市内での刑法犯(窃盗犯)認知件数(暦年)	件	目標値	430	420	410	400	390
			実績値	427	461	506	556	628
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新設防犯灯数は目標値を下回っているがパトロールについては目標値を上回る日数及び回数で実施。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	市内での刑法犯認知件数及び刑法犯(窃盗犯)認知件数が目標値に届かなかった。犯罪発生情報を自主防犯活動組織と共有し、また警察と連携を図りパトロールや啓発活動に努める。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	犯罪発生情報を周知し、警察と連携を図りパトロールや啓発活動に努め、更なる防犯対策意識の醸成を図る。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市や自主防犯活動組織による防犯活動のほか、犯罪被害者等の救済のための見舞金制度や、町内会・自治会等による防犯カメラ設置に対する補助、家庭用防犯カメラ購入費助成を実施し、防犯意識の高揚と安全で安心なまちづくりの推進に引き続き務める。また、犯罪等の抑止活動について関連団体・機関と連携し強化を図る。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	5
実施計画事業名	交通安全対策の推進		担当部署名	市民活動推進課 道路維持課
事業の実施目的 及び概要	交通安全意識を高める取組と合わせて交通安全施設等の整備を進め、特に交通弱者と呼ばれる高齢者や児童等への交通安全対策を図り、交通事故の防止に努めます。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市自転車の安全・安心利用に関する条例 印西市自転車安全総合推進計画 印西市交通安全計画	
取組方針	交通安全対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 持続可能な社会を築くために  16 平和と公正な社会を築くために  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	【交通安全教室・スケアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【関係計画作成】 ・第12次印西市交通安全計画策定 【交通安全施設等整備】 ★交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・防犯カメラレコーダー更新	【交通安全教室・スケアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【交通安全施設等整備】 ★交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・千葉ニュータウン中央駅北口自転車駐車場保全改修工事実施設計 ・木下駅北口自転車駐車場保全改修工事実施設計	【交通安全教室・スケアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【交通安全施設等整備】 ★交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・千葉ニュータウン中央駅北口自転車駐車場保全改修工事 ・木下駅北口自転車駐車場保全改修工事 ・小林駅南口自転車駐車場保全改修工事実施設計
事業費	47,580千円	63,600千円	197,600千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・幼稚園、保育園、小中学校、高齢者クラブを対象とした交通安全教室及び各交通安全運動期間等の街頭啓発や児童登校時の見守り活動を実施した。 ・年間を通じ、交通安全パトロールを実施した。 ・自転車乗車用ヘルメット着用促進に関する啓発チラシを街頭啓発時で周知した。 ・放置自転車の巡視・警告・撤去業務を実施した。 ・自転車乗車用ヘルメット購入費助成金の申請に関し、チラシや広報等で周知に努めた。 ・交通安全施設工事の実施 (区画線 L=9, 237m/道路反射鏡 N=32基/標識 N=18基/車止め N=38基/車両用防護柵 L=89m/横断防止柵 L=557m/防草コンクリート L=472m)	当初予算	47,580,000円
		予算現額	109,180,000円
		決算額	115,807,992円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施回数	回	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	6	60	71	72	71
	街頭啓発活動	回	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	13	15	18	23	21
	放置自転車の巡視・警告・撤去	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	240	243	208	243
	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242	243	243	243	255
			目標値					
			実績値					
成果指標	印西市内での交通人身事故発生件数	件	目標値	204	199	195	192	190
			実績値	179	218	233	240	292
	放置自転車の撤去台数	台	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	55	63	89	78	140
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	成果指標である市内での交通人身事故発生件数及び放置自転車の撤去台数ともに増加となった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	交通安全対策及び放置自転車対策に関する活動は計画通り実施ができたものの、交通人身事故発生件数や放置自転車の撤去台数は増加傾向となってしまうている。増加の要因については、人口の増加や大型商業施設等への来街者が増えた影響が一因と思われる。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、交通安全教室や啓発活動を通じ、交通安全意識の高揚を図るとともに、放置自転車対策として駅周辺を中心に、巡視を行っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	6
実施計画事業名	消費者被害の防止		担当部署名 経済振興課
事業の実施目的 及び概要	近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や契約に関するトラブルに巻き込まれないよう、情報提供や相談体制の充実を図ります。		
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例及び同条例施行規則
取組方針	消費者被害の防止		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を  16 平和と公正  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実
事業費	14,228千円	14,228千円	14,228千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・消費者トラブルを未然に防止するため、相談の多い事例や対処方法の紹介、その時々消費生活に関するお知らせを広報紙で周知を行った。 ・消費者教育に関する啓発物資を作成し、市民への意識啓発及び情報提供を行った。 ・主に高齢者や新成人に対し、消費生活に関する講座を実施し、市民への消費者教育を推進した。 ・消費生活上の問題に関する相談に消費生活センターの相談員が応じ、必要な助言・指導を行った。 ・消費生活相談員の報酬を改定するほか、各種研修への参加や弁護士による勉強会を開催し、相談員の処遇改善や能力向上を図った。	当初予算	14,228,000円
		予算現額	14,665,000円
		決算額	12,153,264円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙への啓発記事掲載回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	消費生活講座等開催回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	4	5	5	5
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	新規相談件数	件	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	605	612	671	672	806
	消費生活講座の受講者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	193	205	60	243	254
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
消費者被害を防止するため、引き続き消費生活相談に関する情報提供や相談、消費生活講座等の充実を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	7
実施計画事業名	地域福祉の推進と支援体制の構築	担当部署名	社会福祉課	
事業の実施目的及び概要	「市民」はまちづくりの主役であり、地域福祉の推進には、市民が主体となった地域活動が不可欠です。「介護」「障がい」「子育て」「困窮」等地域に住む市民たちの抱える問題は複雑化・複合化してきています。また、高齢化の進展や人間関係の希薄化等により、「共助」の重要性がより高まっている中で、縦割り型の支援体制から組織を超えた横断的な支援体制の構築とともに、地域における包括的な支援体制の構築が求められています。 このため、市では、人材確保・育成活躍の場の提供などによる社会参加への支援を行っていきます。また、「市民」「地域活動団体」「社会福祉法人」「NPO法人」「民生委員・児童委員」「行政」といった地域福祉を担う構成員の連携による地域福祉ネットワークの構築を進めるとともに、包括的な相談体制の構築など地域福祉力の向上に向けた支援体制づくりを進めていきます。			
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	社会福祉法 印西市地域福祉計画 民生委員法 児童福祉法	
取組方針	市民の福祉意識向上と人材確保・育成/ 包括的な支援の実現に向けた体制づくり			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	    			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ★民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ★社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設への福祉の総合相談窓口の設置 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・第5次印西市地域福祉計画策定 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センター) ・重層的支援体制整備事業の試行実施	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ★民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ★社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第5次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センター) ・重層的支援体制整備事業の試行実施	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ★民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ★社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第5次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センター) ・重層的支援体制整備事業の実施
事業費	118,111千円	119,211千円	110,072千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-1-1	社会福祉総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	そうふけふれあいの里施設管理に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	牧の原地域交流センター施設管理に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	民生委員児童委員活動に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	社会福祉推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・広報紙・ホームページに、民生委員・児童委員の活動紹介等の地域福祉に関する記事を掲載し、市民の福祉意識の向上を図った。 ・社会福祉協議会等との連携や民生委員・児童委員の活動支援を行い、地域福祉の向上に努めた。 ・福祉の総合相談窓口において、どこに相談したらよいかわからない方(窓口・電話)への案内及び情報提供を行った。 ・第4次印西市地域福祉計画の進行管理を行うとともに、第5次地域福祉計画を策定した。 ・地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センターでの貸館の実施により、福祉団体等に活動の場を提供し、福祉活動の推進を図った。 ・重層の支援体制整備事業の実施に向けて検討を行うとともに、研修やワークショップをととして制度の理解に努めた。 ・コスモスパレットⅡへ福祉の総合相談窓口を設置した。	当初予算	118,111,000円
		予算現額	119,045,000円
		決算額	106,896,027円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	民生委員・児童委員数	人	目標値	130	135	140	145	150
			実績値	129	112	128	130	110
	地域福祉の情報発信数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	7	7	7
	福祉の総合相談窓口	か所	目標値	1	1	1	1	2
			実績値	1	1	1	1	2
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	民生委員・児童委員の活動数(活動日誌)	件	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
			実績値	5,835	6,742	9,716	9,849	9,128
	ボランティアセンター登録者数	人	目標値	1,400	1,550	1,700	1,850	2,000
			実績値	959	856	906	1,271	1,257
	総合相談窓口相談件数	件	目標値	50	70	80	250	300
			実績値	197	203	199	169	178
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	令和7年度に定数の見直しをおこない定数増となったが、一斉改選があったことから、令和8年度以降に委嘱する委員が増加することから充足率が上がるものとする。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	社会福祉協議会と連携し、ボランティアセンター登録体制の見直し等を行う必要がある。また、総合相談窓口については、今後も継続状況の把握に努める。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	民生委員・児童委員及びボランティアセンターを管理する社会福祉協議会の体制の改善が必要と考える。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
民生委員・児童委員は令和7年度に定数を見直しを行い、また令和8年度4月1日より活動費の見直しを行ったことから今後の成果に期待する。また民生委員の困りごとについて情報収集し、少しでも参加しやすき環境を整えるようにする。 ボランティアセンターの登録数の増加については、社会福祉協議会との連携により、災害ボランティアに係る協定の締結等、新たなアクションが必要と考える。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	8
実施計画事業名	多様化・複合化する地域福祉課題への対応	担当部署名	社会福祉課	
事業の実施目的 及び概要	近年、大規模な自然災害の発生や新卒の特殊詐欺・サイバー犯罪の増加、新型コロナウイルス感染症の流行等、市民の安全を脅かす要因が増加する中、特に、高齢者や障がい者等の支援が必要な人を地域ぐるみで守っていけるよう、地域人材を活用した防災・防犯体制を構築・推進していくとともに、市民の生活面に重大な影響を及ぼすことになりうる「生活困窮」「自殺」「ひきこもり」「8050問題」「ダブルケア」などの地域福祉が抱える様々な問題への対策についても取り組んでいきます。			
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市避難行動要支援者避難計画 生活困窮者自立支援法 生活保護法 印西市地域福祉計画 印西市成年後見制度利用促進基本計画	
取組方針	多様化・複合化する課題への対応			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 1 貧困をなくそう  10 人や国間の格差をなくそう  11 住み続けられるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に  17 パートナーシップで目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施
事業費	141,558千円	143,158千円	134,019千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会総務費	社会福祉推進事業
	3-1-1	社会総務費	生活困窮者自立支援事業に要する経費
	3-4-1	生活保護総務費	生活保護事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・避難行動要支援者同意者名簿作成のため、避難行動要支援対象者に個別に通知を送し、同意者名簿に掲載してよいか、また、支援者となり得る関係団体(町内会や民生委員等)に名簿を提供してよいか確認するため同意書の提出をしてもらった。また、システムにおいて名簿等の管理を行い、有事に迅速に対応・活用できるようにした。 ・生活困窮者自立支援事業について、毎月1日号の広報に生活困窮相談を行っている旨を掲載(「今月の各種相談」コーナー)する他、ホームページにも生活困窮者に対する支援制度などの情報掲載を行った。また、委託先事業所でもチラシを作成し、周知に努めた。 ・住居確保給付金を5世帯に給付した。 ・被保護者就労支援事業においては、被保護者本人・就労支援員・担当ケースワーカーによる三者面談や「被保護者就労支援会議」を開催し、就労支援の方向性などを検討した。	当初予算	141,558,000円
		予算現額	217,544,000円
		決算額	212,196,356円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	避難行動要支援者同意者数	人	目標値	2,100	2,500	2,700	2,900	3,100
			実績値	2,399	2,686	2,412	2,609	2,794
	自立支援事業の広報等による周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	被保護者就労支援事業利用者数	人	目標値	15	15	20	20	25
			実績値	20	10	21	18	24
	成年後見支援センターの広報等による周知	回	目標値	—	—	—	3	3
			実績値	—	—	—	4	4
			目標値					
			実績値					
成果指標	避難行動要支援者個別計画作成件数	件	目標値	50	125	216	232	248
			実績値	103	157	216	235	180
	自立相談事業による相談件数	人	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	267	188	207	133	158
	被保護者就労支援事業を利用し増収した者	人	目標値	5	7	10	10	15
			実績値	9	9	6	2	6
	成年後見支援センター相談件数	人	目標値	—	—	—	30	35
			実績値	—	—	—	47	56
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	避難行動要支援者避難計画、生活困窮者自立支援制度、成年後見制度の周知に努め、利用者等の増加を図っていく。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	自立相談事業相談件数及び被保護者就労支援事業を利用し増収した者が目標に届かなかったが、今後も関係機関等と連携し支援を継続していく。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	自立相談事業による相談件数が減少傾向にあるが、以前はコロナを理由とした困窮相談件数が多かったため。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も市民が安心して生活できるよう、関係機関や地域の団体と連携し、継続して各事業を実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

9

1. 事業の概要

実施計画事業名	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的 及び概要	高齢者の多様な交流の促進を図り、いつまでも元気で住み慣れた地域に住み続けられるよう、老人福祉センター等の施設を提供及び各種事業を実施するほか、高齢者クラブが高齢者の生きがいづくりや孤立化防止に資するような自主的活動団体となるよう支援します。 また、高齢者が長年培ってきた経験・知識・技能を発揮し、生きがいを持って社会に参加しつつ生活の安定も享受できるよう、臨時的・短期的な就業を提供するシルバー人材センターの運営を支援します。		
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 老人福祉法 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画
取組方針	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	1貧困をなくそう  3すべての人に健康と福祉を  11住み続けられるまちづくりを 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家(滝野)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援 ・総合福祉センターの保全改修工事の設計及び工事の実施 ・高齢者就労支援センターの給水設備更新工事の設計及び工事の実施 ・保健福祉センターの受変電設備改修工事の実施	・老人福祉センター2館(高花・そうふけ)、憩いの家(滝野)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援 ・総合福祉センターの保全改修工事の実施 ・高齢者就労支援センターの給水設備更新工事の実施	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家(滝野)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援
事業費	233,016千円	1,710,371千円	192,913千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者生きがい事業
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者就労支援センター運営に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	総合福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター運営事務に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	高花老人福祉センター事業に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	そうふけ老人福祉センター事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	老人福祉センター等では、高齢者の生きがいづくりや健康の維持、教養の向上などを目的に、主催事業を235日実施した。また、自由来館の場を設け、高齢者同士の交流を図るとともに、サークルなどを通じて生きがいづくりの推進を図り、老人福祉センター等4施設で延べ42,467人の方が利用した。 高齢者クラブの活動は、高齢者の生きがいづくりや体の健康の維持、社会参加促進を目的としており、社会奉仕活動やサークル活動、健康増進活動など積極的な活動が見られる。 シルバー人材センターの入会説明会参加者に対しては、高齢者就労支援センターの紹介や就業情報の提供を目的として、「ハローワーク成田」等を案内した。 高齢者就労支援センターでは、高齢者の就労を支援するための講座・講習会を55回開催し、延べ利用人数は1,441人であった。 総合福祉センターの保全改修工事は設計を終え、令和8年度から実施できるよう工事の契約締結を行った。高齢者就労支援センターの給水設備更新工事は、設計を終えて工事に着手開始した。また、保健福祉センターの受変電設備の工事は完了した。	当初予算	233,016,000円
		予算現額	252,993,000円
		決算額	228,803,601円
		翌年度繰越額	18,086,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	老人福祉センター等施設の主催事業開催日数	日	目標値	170	170	200	200	200
			実績値	183	167	224	223	235
	シルバー人材センター登録会員数	人	目標値	450	455	460	500	520
			実績値	404	447	449	450	463
	就業支援講座・講習会の開催数	回	目標値	5	5	5	48	48
			実績値	3	7	26	53	55
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	老人福祉センター等施設の延べ利用者数	人	目標値	50,000	50,000	55,000	55,000	44,000
			実績値	27,222	30,617	51,361	46,469	42,467
	シルバー人材センター受注事業件数	件	目標値	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500
			実績値	2,260	2,469	2,428	2,536	2,326
	シルバー人材センター就業延べ人員	人	目標値	50,000	50,100	50,200	50,300	50,400
			実績値	46,842	48,458	44,965	45,475	42,767
	高齢者クラブ登録会員数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	1,500	1,500
			実績値	1,812	1,625	1,482	1,380	1,147
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	就労支援センターの就業支援講座をはじめ全体的に目標値を達成することができた。シルバー人材センターの登録会員数については、対前年度比で増加したが目標値に届かなかったことから、今後も支援に努め会員数の増加を図りたい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	シルバー人材センターの会員数は前年度に比べて増加した。受注事業件数及び就業延べ人数は減少したが、シルバー人材センターを常に介さない派遣契約が増加したためであり、就業につながった延べ人数としては増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	全体的に概ね目標値どおりの結果であったが、目標値の達成ができていないものもあるため、今後も目標値以上の結果になるよう努めたい。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
老人福祉センターや就労支援センターについては、引き続き利用者の増加に努める。 就労支援センターの機能強化を目的とし、就労支援講座・講習会の開催数を増やすとともに、企業説明会等をはじめとした就労相談体制を整える。 シルバー人材センターや高齢者クラブ連合会などの運営についても、目標値の達成を目指し継続して支援をしていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

10

1. 事業の概要

実施計画事業名	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的 及び概要	各種介護予防事業の取組により、要介護状態になることを予防するとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるように支援します。 また、加齢に伴い生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護を要する方に対して、自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスの給付を行います。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1貧困をなくそう  3すべての人に健康と福祉を  11住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	★介護予防事業の実施(ちよきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護予防普及啓発講演会(隔年) ・介護サービスの給付 ★介護人材の確保及び施設の充実化 ・第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の推進及び進捗管理 ・第10期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に係る市民アンケート等の実施	★介護予防事業の実施(ちよきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護サービスの給付 ★介護人材の確保及び施設の充実化 ・第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の推進及び進捗管理 ・第10期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定	★介護予防事業の実施(ちよきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護予防普及啓発講演会(隔年) ・介護サービスの給付 ★介護人材の確保及び施設の充実化 ・第10期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の推進及び進捗管理
事業費	6,588,065千円	6,900,070千円	6,893,636千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	介護人材育成事業、介護施設等整備事業
	【介護保険特別会計予算】		
	1-1-1	総務管理費	介護保険運営管理に要する経費、介護保険事業計画策定事業
	2-1-1 ～ 2-1-6	介護サービス費	施設サービス給付事業、居宅サービス給付事業、地域密着型サービス給付事業、特定入所者介護サービス給付事業、居宅介護支援サービス諸費給付事業、審査支払に要する経費
	2-2-1 ～ 2-2-4	介護予防サービス費	介護予防サービス給付事業、地域密着型介護予防サービス給付事業、介護予防支援サービス諸費給付事業、特定入所者介護予防サービス給付事業
	3-1-2	介護予防・日常生活支援総合事業費	介護予防・日常生活支援総合事業、審査支払に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	いんざい健康ちょきん運動では、参加者の高齢化や会場確保が難しいなどから、活動をやる団体もあるが、全体のグループ数としては維持することができ、新規加入者が200名程度あった。また、いままでちょきん運動がなかった地域でも立ち上がる予定もある。 介護予防把握事業では、介護認定を受けていない75歳以上11,114名に健やかチェックアンケートを送付し、6,359名が回答(回答率57.2%)あり。その結果、フレイルリスクのある3,525名にフレイル予防に関して普及・啓発を行った。また、介護予防教室では計76名が参加。 介護予防普及啓発講演会では、自分らしい暮らしを続けるためのヒントを学ぶことを目的と市開催。定員50名のところ56名が参加した。 令和8年3月から、「第10期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に向けたアンケート調査を開始した。 介護職員初任者研修等費用助成実績は、初任者研修1件、実務者研修5件。初任者研修助成を受けた方で、実務者研修を受けている方が2名おり、介護職のキャリアアップ支援につながっていると考えている。	当初予算	6,588,065,000円
		予算現額	6,490,279,000円
		決算額	6,253,929,326円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ちょきん運動出前講座	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	2	5	7	3	2
	介護予防事業の周知活動(介護保険証に同封、窓口設置モニター掲載、HP・広報掲載等)	回	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	19	28	24	33	24
	介護支援ボランティアの登録人数	人	目標値	100	110	120	55	60
			実績値	48	43	54	57	64
	介護職員初任者研修等費用助成	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	6	3	6
			目標値					
			実績値					
成果指標	ちょきん運動参加者人数	人	目標値	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
			実績値	1,059	1,307	1,412	1,445	1,530
	ちょきん運動実施グループ数	グループ	目標値	75	79	83	87	91
			実績値	72	75	83	86	86
	介護支援ボランティアの受入施設	事業所	目標値	26	27	28	29	38
			実績値	26	34	34	36	38
	研修費用助成による市内介護保険サービス事業所への就業者数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	6	3	6
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	事業の周知を予定通り実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ちょきんグループ数は目標値に達しなかったが、参加者数は増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ちょきん運動グループ数が維持でき、介護予防の周知活動は計画通り実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
ちょきん運動は介護予防だけでなく地域の支え合いの役割も果たすものと考えているため、活動の維持や活性化のため幅広い年代にその効果や活動方法を周知する必要がある。そのため、商業施設での体験会等これまでになかった周知方法を企画、実施していく。また、参加者の高齢化に伴い、担い手不足や事務の負担が大きいう課題もあるため、事務の簡略化を図り、負担軽減に取り組んでいく。 研修費用助成では、介護分野への新規就業を促すことを目的に「生活援助従事者研修」を追加する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	11
実施計画事業名	地域包括ケアシステムの推進		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的及び概要	高齢者ができるだけ要支援・要介護状態にならず、住み慣れた地域で安心して暮らし、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護予防と生活支援の観点から、地域の多様な社会資源を本人が活用できるような地域包括ケアの実現のために、地域包括ケアシステムの深化・推進及び各種生活支援サービスを実施します。また、その中核となる地域包括支援センターの運営を継続し深化させていきます。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	地域包括ケアシステムの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★地域包括支援センター(5か所)の運営及び市民への周知啓発 ★在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進 各種生活支援サービス事業の実施 ★外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ★福祉タクシー事業 ★高齢者ふれあいバス等無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業 ・高齢者等配食サービス事業 ・福祉カー貸付事業	★地域包括支援センター(5か所)の運営及び市民への周知啓発 ★在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進 各種生活支援サービス事業の実施 ★外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ★福祉タクシー事業 ★高齢者ふれあいバス等無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業 ・高齢者等配食サービス事業 ・福祉カー貸付事業	★地域包括支援センター(5か所)の運営及び市民への周知啓発 ★在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進 各種生活支援サービス事業の実施 ★外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ★福祉タクシー事業 ★高齢者ふれあいバス等無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業 ・高齢者等配食サービス事業 ・福祉カー貸付事業
事業費	271,555千円	271,555千円	271,555千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者在宅福祉事業
	【介護保険特別会計予算】		
	3-1-1	包括的支援事業・任意事業費	包括的支援事業・任意事業
	4-1-1	保健福祉事業費	保健福祉事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	地域包括支援センターは、平成29年度に設置されてから約9年が経過し、高齢者の総合相談窓口として周知が進んだ結果、相談件数は伸びている。目標値を下回っているが、介護や生活の不安がなく過ごせている高齢者が多いと解釈することもできると考えている。 在宅医療・介護連携の推進のため、多職種が集まる研修と交流の場を2回設け、介護事業所・介護施設のほか、薬局や医療機関、訪問看護などの医療関係者、計90名が参加し、顔の見える関係づくりを行えた。 認知症サポーターでは、小学校14校で実施でき、OJTでは41名の職員がサポーターとなるなど、着実に累計数を伸ばしている。 また、高齢者ふれあいバス等無償化事業は、R7.6から利用範囲を拡大し民間の3路線（宗像路線・六合路線・印旛学園線）も対象となり、無料乗車カードの交付者数も、R6年度855人から、R7年度1,424人へと増えた。	当初予算	271,555,000円
		予算現額	266,423,000円
		決算額	240,248,481円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	認知症サポーター養成講座の開催	回	目標値	28	28	28	28	28
			実績値	21	30	28	33	24
	外出支援サービス利用実績	件	目標値	400	400	400	600	600
			実績値	342	484	426	334	261
	緊急通報装置の設置実績	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	41	34	53	50	27
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	総合相談支援利用者数	件	目標値	4,000	4,100	4,200	7,300	7,400
			実績値	5,865	7,296	5,903	5,954	6,133
	認知症サポーター養成数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,033	1,565	1,316	1,457	1,391
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	外出支援サービス利用実績は目標値を下回ったが、福祉タクシー事業等の利用者が増えたことが要因と言える。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	総合相談に対応する体制の整備、認知症サポーター養成講座の実施が行えた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	事業はほぼ予定通り時実施でき、目標値に近い成果を出せた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
高齢化が進む中、地域包括支援センターへの相談件数や認知症の増加が想定されるため、相談体制の整備・強化および、認知症サポーターの増員に努める。さらに、相談対応を行う地域包括支援センターの周知や機能強化、スタッフのスキル向上を図っていく。また、職域での認知症サポーター養成講座の実施が行えるよう働きかけていく。 また、緊急通報装置等サービスにおいては、申請者が安心してサービスを受けられるよう、制度の検討が必要である。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	12
実施計画事業名	障がいのある人の地域生活支援の充実	担当部署名	障がい福祉課	
事業の実施目的及び概要	障がいのある人の福祉の増進を図ることを目的とし、障がいのある人が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 児童福祉法 印西市障害者基本計画 印西市障害福祉計画 印西市障害児福祉計画	
取組方針	障がいのある人の地域生活支援の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくしよう 3 すべての人に健康と福祉を 8 経済成長を促進 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項) 単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・共同生活援助事業の利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・共同生活援助事業の利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・共同生活援助事業の利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成
事業費	3,708,330千円	3,819,563千円	3,934,133千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	3-1-1	社会福祉総務費	特定疾患見舞金支給事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者在宅福祉事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者援護費
	3-1-2	障害福祉費	難聴児補聴器購入費助成金交付事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付を行った。(児童発達支援478人、放課後等デイサービス424人 保育所等訪問支援106人、補装具171件) ・基幹相談支援センターを設置し、24時間365日の一般相談及び、特定相談支援事業所による障害福祉サービス等の利用支援を行った。(一般相談支援27,140件、計画相談支援2,009件) ・グループホーム運営費の補助及び入居する障がいのある人への家賃の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と日常生活の確保を図った。(グループホーム等運営費補助金27事業者、グループホーム等入居者家賃助成144人) ・重度心身障害者の医療費を助成することにより、障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図った。(支払件数39,027件) ・特定疾患等による療養者又はその保護者に特定疾患見舞金を支給することにより、生活の安定と福祉の増進を図った。(支給件数886件) ・重度心身障害者等に福祉手当を支給することにより、障害ゆえに生じる負担の軽減と福祉の増進を図った。(支給件数1,438件) ・軽度・中等度難聴児に補聴器購入費を助成することにより、難聴児の健全な言語及び社会性の発達を支援し、福祉の増進を図った。(支給件数11件)	当初予算	3,708,330,000円
		予算現額	4,053,786,000円
		決算額	3,753,832,990円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	障害支援区分認定調査人数	人	目標値	110	116	150	160	200
			実績値	183	152	201	204	175
	一般・特定相談事業所数	所	目標値	7	7	7	8	8
			実績値	7	7	9	9	9
	障害福祉サービス(共同生活援助)利用決定者数	件	目標値	110	115	120	159	185
			実績値	137	149	175	197	218
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	障害福祉サービス利用者数(就労系及び共同生活援助を除く。)	人	目標値	999	1,042	1,085	877	920
			実績値	925	1,012	1,079	1,267	1,496
	相談支援件数	件	目標値	19,500	19,700	23,000	30,000	30,500
			実績値	22,563	25,473	27,136	25,744	27,140
	グループホーム等への入居者数	人	目標値	95	100	105	130	140
			実績値	125	132	161	181	213
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
障害福祉サービスの需要が年々増加する中、特に児童分野においてサービス利用が増加している状況を踏まえ、事業所の整備や人材の確保などにより、サービス提供体制の充実を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	13
1. 事業の概要			
実施計画事業名	障がいのある人の社会参加の促進		担当部署名 障がい福祉課
事業の実施目的 及び概要	障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や障がいのある人の状況に応じて、効率的・効果的な事業の推進を図っていきます。		
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 印西市障害者基本計画 印西市障害福祉計画 印西市障害児福祉計画
取組方針	障がいのある人の社会参加の促進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	1 貧困をなくそう 3 すべての人に 健康と福祉を 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国が平等 をもつこと 11 住み続けられる まちづくりを 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・障害福祉サービスの就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がい理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がい理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がい理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発
事業費	3,417,521千円	3,520,047千円	3,625,648千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援を行った。 ・障がい者を理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発を行った。(精神障がい者理解促進講座(3回)、障害者差別解消講演会(1回)、手話講習会(8回)、こころの整理術(5回)、障がい者作品展(1回)、障がい者就職フェア(1回)、小中学校に対し、障害者差別解消チラシのデータ配信依頼(1回))	当初予算	3,417,521,000円
		予算現額	3,796,997,000円
		決算額	3,567,273,853円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労系障害福祉サービス利用決定者数	人	目標値	250	285	306	278	308
			実績値	214	253	285	318	431
	差別の解消や理解促進に関する周知・啓発回数	回	目標値	8	8	9	12	13
			実績値	11	12	13	17	20
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労選択支援事業利用者数	人	目標値	—	—	—	—	5
			実績値	—	—	—	—	2
	就労移行支援事業利用者数	人	目標値	65	70	75	55	60
			実績値	73	79	74	61	65
	就労継続支援事業利用者数	人	目標値	130	138	146	145	160
			実績値	137	170	191	230	275
	就労定着支援事業利用者数	人	目標値	18	21	24	13	14
			実績値	16	18	16	26	25
	生活訓練事業利用者数	人	目標値	34	39	44	29	31
			実績値	37	41	49	52	64
	差別の解消や理解促進に関する講習等への参加延人数	人	目標値	330	340	370	500	550
			実績値	360	509	531	614	807

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	就労選択支援事業は令和7年10月施行の新規事業であることから利用者が少ない状況にあるが、就労へとつなぐ重要な事業として位置付けられており、今後は伸びていくものと見込まれる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
より適切な就労支援サービスや就労先を選択できるよう、個々の特性や意向等を踏まえ、その人の状況に応じた自立に向けた支援を行っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

14

1. 事業の概要

実施計画事業名	健康診査及び保健指導の充実	担当部署名	健康増進課 国保年金課
事業の実施目的 及び概要	高齢化などを要因として全国的に医療費の増加が課題となっており、国民健康保険における医療費の抑制に向け、健康診査の受診率向上などの取組が求められています。本市では糖尿病を中心に、生活習慣病が増加しているため、継続的な運動や食生活の改善をはじめとする健康づくりや、健診などで病気を早期に発見することが求められます。 そこで、健康診査やがん検診等の受診率向上に努め、精密検査の場合には、個別勧奨などにより適切に医療機関へ受診できるよう支援します。加えて個別指導や保健指導などの充実により、市民の健康意識を高め、病気の早期発見や重症化予防など市民の健康増進を支援します。		
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 高齢者の医療の確保に関する法律 国民健康保険法 第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健康プラン～ 印西市国民健康保険第3期データヘルス計画・印西市国民健康保険第4期特定健康診査等実施計画
取組方針	健康診査及び保健指導の充実		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	2 飢餓をゼロに  3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施
事業費	345,654千円	345,654千円	345,654千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-1	保健衛生総務費	後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に要する経費
	4-1-1	保健衛生総務費	後期高齢者健康診査に要する経費
	4-1-1	保健衛生総務費	後期高齢者人間ドック等費用助成事業
	4-1-4	健康づくり推進費	健康診査事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん検診事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん検診推進事業
	【国民健康保険特別会計予算】		
	5-1-1	保健衛生普及費	保健衛生普及事務に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	データヘルス事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	特定健康診査については、6月から12月に集団健診と個別健診を実施した。特定健診を受けていない人への受診勧奨通知の他、予約の集中する時期に日程設定を行い、受診率は微増した。 今年度より開始した電話勧奨により、個別・ドックを中心に初回面接実施数は増加している。 人間ドック及び脳ドックの受検者数については、人間ドックが前年度比2人減(受験率0.31%増)、脳ドックが5人減(受験率0.03%増)であり、国民健康保険被保険者数の減少に伴い受検人数は微減であるが、受験率は微増している。助成制度を周知した効果があったものとする。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、ポピュレーションアプローチは24団体(R6は22団体)を対象に、ハイリスクアプローチは128人(R6は106人)に実施した。	当初予算	345,654,000円
		予算現額	321,597,000円
		決算額	313,353,659円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各種健康診査・検(健)診の周知 広報・HP等の掲載	回	目標値	13	14	15	19	20
			実績値	16	19	28	28	28
	がん検診精密検査未受診者への再勧奨(電話・訪問・来所・手紙等)	%	目標値	90	95	95	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
	特定保健指導実施率 (法定審査前暫定値)	%	目標値	28	29	30	20	23
			実績値	18.5	18.3	14.7	15.4	14.4
	健康相談実施者数(糖尿病性腎症対策・健診事後相談)	人	目標値	100	105	360	390	395
			実績値	366	396	444	281	299
	人間ドック等受検費用助成の広報・HP等による周知	回	目標値	15	15	15	17	17
			実績値	17	17	17	19	18
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2	81.5 84.8	82.1 85.3	82.3 84.8	82.5 84.5
	特定健診の受診率 (法定審査前暫定値)	%	目標値	39.0	39.0	40.0	39.0	40.0
			実績値	37.1	36.3	37.4	37.3	38.6
	がん検診精密検査受診率の増加	%	目標値	90	90	95	95	95
			実績値	88.2	87.5	89.1	87.2	88.9
	印西市国民健康保険被保険者中、糖尿病を原疾患とする新規人工透析導入者数	人	目標値	25	25	23	23	8
			実績値	28	10	9	14	8
	印西市国民健康保険被保険者一人当たりの医療費	千円	目標値	380	400	410	396	396
			実績値	372	379	399	399	405

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	特定健康診査や人間ドック等助成について、多様なツールを取り入れることにより周知が図れた。来所による健康相談は前年度並みの実績となっているため、目標値には届かなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	平均自立期間は男女共に横ばいの状況ではあるが、その他の成果指標についても目標値に近い成果となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	特定健康診査の受診や人間ドック等の受検を促進することができた。健(検)診、その後の相談・指導を通じて平均自立期間(健康寿命)の目標値の達成につなげることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
特定健康診査の受診や人間ドック等の受検を促進するため、引き続き周知等に努める。また、健診結果をもとに、事後フォローとなる各種相談・指導事業により生活改善支援、医療受検勧奨を行い、市民の生活の質の維持・向上、自立期間の延伸を目指していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	15
実施計画事業名	健康づくり活動の促進		担当部署名	健康増進課 スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	高齢期をむかえても誰もが住みなれた地域で、生涯を通じて健康で安心して暮らすことができるように、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図る、健康づくりの施策の推進をします。 より良い生活習慣を身につけることは、丈夫な体をつくり、健康の維持・増進につながります。健康講演会や健康教育等の実施や健康情報を発信して、住民が自らの健康に関心を持ち、各年代に合わせた運動や睡眠・休養を含めた健康づくりを行えるよう支援し、禁煙・受動喫煙の防止など、健康増進に向けた取り組みを進めます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～ 自殺対策基本法 いのち支えあういんざい自殺対策計画	
取組方針	健康づくり活動の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・第2次自殺対策推進計画の策定 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・アピアランスケア支援事業の実施	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・アピアランスケア支援事業の実施	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・アピアランスケア支援事業の実施
事業費	63,002千円	63,002千円	63,002千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-4	健康づくり推進費	健康づくりセンター事業に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	ヘルスアップ教室事業に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康政策推進に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康支援事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん相談支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	【健康増進課】 禁煙教育は、市内保育園幼稚園の園児へのオリジナル教材「ナスちゃんとモクモクの森」のパネルシアターの実施と、受動喫煙防止対策事業におけるポスター制作協力していただく市内の中学生、高校生にも禁煙教育を行い、啓発資料を配布して保護者への啓発にもつなげた。 自殺対策では、第1次自殺対策計画が最終年度を迎えたため、第2次自殺対策計画の策定を行った。自殺予防に関する周知啓発として、啓発物の作成及び配布を行い、自殺予防週間および自殺対策強化月間においては、厚生労働省から提供される広報資料(デジタルサイネージや動画等)を積極的に活用し、集中的に周知啓発活動を行った。その他、商工会の協力により働く世代への周知・啓発と、市内高校の協力により高校生への周知・啓発を行えたことで、幅広い世代に対する自殺対策に関する周知・啓発が行えた。困っている人に対する「気づき」ができる人材を増やすため、ゲートキーパー研修を庁内職員向けと民生委員児童委員、地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員等向けに2回実施し、ゲートキーパーの養成を進めた。 市内12か所の健康情報コーナーにより、健康情報の周知、啓発を行った。 健康ポイント事業は、メリットである協賛店が増えつつあり、参加者も増加傾向にある。引き続き協賛店拡大の取組を進める必要がある。内訳では紙カード(25人)、スマホによる電子カード(60人)となり、昨年度のおよそ2倍の申請があった。 健康相談は、前年度同様の実績となった。今後、内容や対象者選定、相談者のニーズを踏まえ、目標値や周知方法などを検討していきたい。 ヘルスアップ教室では新規参加者数は目標値には至らないが増加がみられた。また、体力年齢においても改善がみられた。 【スポーツ振興課】 ふれあいセンターいんば改修工事に伴い印旛公民館の空き室へ一時移転し、9月から開所。 延べ利用数 4,876人(新規利用者24人)	当初予算	63,002,000円
		予算現額	51,206,000円
		決算額	47,762,741円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	健康講演会・健康教育等の参加者数	人	目標値	150	170	960	970	980
			実績値	650	842	1066	1465	1572
	健康情報コーナー等による啓発	か所	目標値	12	12	12	14	14
			実績値	12	14	14	12	12
	健康ポイント事業の参加者数	人	目標値	150	170	190	210	230
			実績値	49	76	55	43	85
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	105	360	390	395
			実績値	366	396	444	281	299
	健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)新規参加者実人数	人	目標値	80	90	100	110	120
			実績値	62	74	55	61	86
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2	81.5 84.8	82.1 85.3	82.3 84.8	82.5 84.5
	1日30分以上の運動を週2回以上、1年間以上実施している人の割合(%)	%	目標値	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0
			実績値	42	43	45	38	31.7
	睡眠で休養が十分とれている人の増加	%	目標値	73	76	79	79	79
			実績値	75	76	75	65	63.6
	たばこを習慣的に吸っている人数	%	目標値	11	9	7	7	7
			実績値	9	9	9	12	12.5
	ヘルスアップ教室参加者の入会時から3か月後の体力年齢改善率	%	目標値	80	80	80	80	85
			実績値	77	88	67	85	90

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	健康相談の実施人数は前年度と同様の結果で、目標に届かなかったが、健康講演会・健康教育等の参加者数については増加傾向にある。今後は、対象者のニーズや周知方法等についても検討していきたい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ヘルスアップ教室の参加者の体力年齢改善率が昨年度に引き続き上昇しており、目標も達成することができた。 他の成果指標に関しては、健康づくり活動につながる支援を実施していけるよう周知を工夫する。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	健康教育は目標達成しており、健康づくりの支援につながった。低い指標が一部見受けられるため、今後も健康づくりの啓発や相談しやすい環境作りが必要。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、市民が自ら健康に関心を持ち、各年代に合わせた健康増進に向けた取り組みを続ける。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	16
実施計画事業名	歯科保健の推進		担当部署名 健康増進課 子ども家庭課
事業の実施目的 及び概要	歯の状態や口腔疾患は、全身の健康に影響します。歯みがきや歯科健診の定期的な受診を促し、家庭や学校、職場などのできる歯みがき習慣の定着化を目指します。また、歯の健康や歯周病予防は、子どもから高齢者まで、年齢に関係なく取り組みが求められます。そこで、歯を失う原因となるう蝕(むし歯)及び歯周病の予防について、口腔衛生に関する正しい知識の普及と歯科健診の受診を勧奨します。		
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 歯科口腔保健法(歯科口腔保健の推進に関する法律) 印西市歯と口腔の健康づくり推進条例 第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～
取組方針	歯科保健の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	2 気候変動 ゼロに  3 すべての人に 健康と福祉を  11 住み続けられる まちづくりを 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進※対象年齢拡大:20歳及び25歳追加 ・幼児歯科健康診査の受診促進 ・妊婦歯科健康診査の受診促進 ・歯科相談の実施	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進 ・幼児歯科健康診査の受診促進 ・妊婦歯科健康診査の受診促進 ・歯科相談の実施	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進 ・幼児歯科健康診査の受診促進 ・妊婦歯科健康診査の受診促進 ・歯科相談の実施
事業費	8,112千円	8,112千円	8,112千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	歯科保健啓発事業として4回開催。二十歳を祝う会で歯科健診の受診勧奨を目的とした啓発物を900枚配布した。 依頼・出前教育では、子ども発達センターや子育て支援センター、児童館において歯科指導及び歯科健診を実施。成人においては、口腔の健康が全身の健康に影響するため、多職種と連携し健康教育活動に取り組み、前年度15回から17回に増加した。 乳幼児期に対しては、公立だけでなく私立の保育園、こども園においても歯科指導を行い歯みがきの習慣化に努めた。また、児童館や子育て支援センター等において保護者へ向けて仕上げ磨きをはじめとする歯科保健教育を実施した(延べ28回) 学校歯科指導は、市内小学校17校、中学校8校で実施し、口腔内環境に適した歯みがき方法を指導した。 その他、就学時健診時に保護者1,327名に向けて、むし歯予防や仕上げ磨きの必要性について資料を配布した。 妊娠期からの歯の衛生習慣を身につけるために妊婦歯科健診を実施し、未受診者に対しては受診勧奨を行った。	当初予算	8,112,000円
		予算現額	6,821,000円
		決算額	6,447,765円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	歯科保健啓発事業の周知(広報・HP等の掲載)	回	目標値	3	3	3	3	4
			実績値	3	3	4	4	4
	依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の増加	回	目標値	68	69	70	78	79
			実績値	58	77	90	104	110
	口腔疾患健診受診者数	人	目標値	254	263	280	280	280
			実績値	176	247	291	256	215
	歯科保健啓発事業	回	目標値	2	2	2	10	10
			実績値	1	1	4	5	4
成果指標	乳幼児う蝕罹患率の減少	%	目標値	11.5	11.3	10.0	7.0	6.9
			実績値	8.4	5.5	5.1	5.5	5.1
	小学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	39.3	39.2	39.1	25.0	24.9
			実績値	33.1	25.2	23.6	21.9	19.8
	中学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	34.4	34.3	34.2	22.3	22.2
			実績値	21.9	22.5	22.4	28.6	23.2
	小学生の歯肉炎罹患者の減少	%	目標値	13.1	11.0	10.0	9.0	8.9
			実績値	10.9	7.0	7.1	7.7	6.7
	中学生の歯肉炎罹患者の減少	%	目標値	31.3	28.2	25.0	19.4	19.3
			実績値	23.0	19.6	21.2	24.3	24.1
	口腔疾患健診受診率	%	目標値	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
			実績値	1.4	1.9	2.2	2.0	1.5

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	口腔疾患健診の受信者は伸び悩んでいるため、歯科保健における啓発等の更なる事業推進を行う必要がある。ただし、健康教育や歯科衛生指導は昨年度より増加しているため、次年度以降も継続して事業を進めていく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	乳幼児、児童及び生徒のう蝕・歯肉炎罹患者の減少については、一部目標値に届かない項目はあるもの、改善傾向または目標に近い水準で推移しており、継続した取り組みの効果がみられる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	本事業は概ね計画通り実施され、効果を上げていると評価される一方、今後は口腔疾患健診等の健診受診率の向上を重要な課題と位置付け、より効果的な受診勧奨および啓発の手法について検討を進める必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
学校歯科指導や健康教育等については、関係機関と連携を図りながら継続して実施する。あわせて、う蝕・歯肉炎予防、口腔機能の維持・向上を目的として、指導内容のさらなる充実を図る。また、受診率の一層の向上を目指し、効果的な受診勧奨の方法について検討していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	17
1. 事業の概要			
実施計画事業名	食育の推進		担当部署名 健康増進課 子ども家庭課
事業の実施目的 及び概要	健康的な食習慣の大切さを伝え、生活習慣病の予防や健康な身体の発育を促すような生涯にわたる健全な食生活の実践を支援します。 地場産品を活用したレシピなど農業との連携や、給食などを通じた食育など保育・教育との連携を進め、食育推進の実施体制を整備、強化していきます。		
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	食育基本法 食育推進基本計画(国) 食育推進計画(県) 第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～
取組方針	食育の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	2 目標を ゼロに  3 すべての人に 健康と福祉を  11 住み続けられる コミュニティを 築く 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携
事業費	595千円	595千円	595千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	【健康増進課】 食育関係者研修会は「子育て施設で取り組む日常の食育活動について」をテーマとし、講師を招き講演会と意見交換会を実施し、市内子育て機関の結びつきを強めることができた。 野菜の皿数については、野菜摂取への意識向上を目的にポスターを作成し、食育月間中に市内協力店舗19店舗で掲示を行った。 市の野菜を使ったレシピを周知するため、野菜摂取啓発資料を作成し、出前授業など健康教育の際に配布した。 【子ども家庭課】 幼児健診では、年齢に応じた食生活のポイントについての資料を配布した。 相談事業では、児童館3か所、支援センター2か所にて、来館された乳幼児をもつ保護者にはぐみ相談として栄養相談を実施した。 食育事業、教育事業としては、夏休み期間中に親子食育教室として計3回小学校低学年の児童とその保護者を対象とし、野菜摂取についての講話と野菜をたくさん使った料理をテーマに料理教室を行った。 相談事業としては、相談を希望する保護者が多く、訪問や電話にて対応した。 就学時健康診断時対象児童の保護者に、朝食の大切さ、箸の練習方法、野菜の摂取量についての啓発物を配布した。	当初予算	595,000円
		予算現額	470,000円
		決算額	464,141円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座・教育の実施回数	回	目標値	20	25	25	45	46
			実績値	43	39	46	45	45
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピ配信回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	24
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	105	360	390	395
			実績値	366	396	444	281	299
	栄養士調整会開催回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	1	2	1
	食育関係者研修会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	—	—	1	1	1
成果指標	健康相談の内容を理解し、生活改善目標がたてられている人の割合	%	目標値	95	95	97	100	100
			実績値	100	100	90	78	87
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピポスト(旧ツイート)をみた人数(平均)	人	目標値	2,000	2,200	2,300	2,400	2,500
			実績値	2,569	1,557	1,600	1,222	1,233
	1日に5皿以上の野菜料理を食べている人の割合	%	目標値	10	15	20	20	20
			実績値	6	7	9	8	10
	食育関係者研修会参加者の市食育推進計画への理解が深まった人の割合	%	目標値	80	85	90	95	95
			実績値	—	—	100	97	94
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	横ばいであるが、家庭教育学級や高齢者団体での健康教育を通し、食事の大切さや食に関する災害時の備えなどを伝えることができた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	1日5皿以上の野菜を食べている人の割合は概ね同水準で推移していた。市で公開している野菜を使ったレシピを周知するため、野菜啓発資料作りを行い、出前授業等で配布したが、なお一層の啓発に取り組みたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	1日5皿以上の野菜を食べている人の割合が依然として低く、課題解決を模索している。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
【健康増進課】 野菜の摂取量が少ない人が多い状況が続いており、望ましい量を知らない人もまだ多い状況であるため、日常生活のなかで情報を得られやすくするような食環境整備を進め、多くの機会を通じて周知に努めていく。また、より推進体制を強化できるよう、食育関係者研修会において意見交換の時間も充実させたい。 【子ども家庭課】 親子食育教室は昨年度に好評であったことを受け、各回の組数を増やした。幼児期・学童期から出来るだけ多くの人に食事や料理に興味を持ってもらえるような事業展開について検討していく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	18
実施計画事業名	医療体制の充実		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	市民が医師との信頼関係をもとに日常的な医療や健康の相談ができる「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」を持つことの重要性を周知するとともに、誰もがいざというときに必要な診察が受けられるように医療体制の整備・充実を図ります。特に休日・夜間などの急患に対応するための救急医療体制の充実を図ります。			
関連施策	【1-7】 医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～	
取組方針	医療体制の充実及び在宅医療と介護の連携推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を 11 気候変動に 適応する			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援(補助額の拡充)	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援
事業費	90,000千円	90,000千円	90,000千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ等の感染症、熱中症に関する注意喚起及びいざという時・急病時の相談先情報等の周知を実施した。 また、2次救急及び小児2次救急医療機関(日本医科大学千葉北総病院、印西総合病院)への財政支援を増額するとともに、光熱水費等の物価高騰対策として、有床医療機関(日本医科大学千葉北総病院、印西総合病院、西佐倉印西病院、みらいウィメンズ)に対し、支援金の交付を行った。	当初予算	90,000,000円
		予算現額	142,344,000円
		決算額	142,344,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	かかりつけ医等を持つことの重要性の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	13	14	15	16	17
	休日・夜間などの急病時の相談先等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	14	15	16	17
			実績値	13	14	15	16	17
	救急医療機関への財政支援	件	目標値	1	1	2	3	3
			実績値	0	0	1	3	3
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	医療機関数	機関	目標値	90	92	95	97	100
			実績値	91	90	92	94	97
	市内医療機関への救急搬送率	%	目標値	44	45	46	47	48
			実績値	38	40	43	48	52
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	いざという時・急病時の相談先等の周知を行うとともに、2次救急医療機関への財政支援及び有床医療機関への財政支援を行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市内医療機関数は3医療機関の増、救急搬送率は4%の増となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続き、かかりつけ医や急病時の相談先等の周知を図っていくとともに、救急医療機関への財政支援を行い、医療体制の充実に努める。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
かかりつけ医の重要性、いざという時・急病時の相談先等の周知を行うとともに、医療体制の充実に努めていく。 市内医療機関への救急搬送率を高めるため、財政支援を継続して行っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	19
実施計画事業名	健康危機管理対策の推進		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的及び概要	感染症の流行を防ぐため、感染症予防対策についての意識の向上を図るとともに、予防接種の知識の普及や接種機会の安定的な確保を図ります。また、救命率の向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置を推進するとともに市民への周知を図ります。			
関連施策	【1-7】医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～ 予防接種法 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	
取組方針	健康危機管理対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を 11 安全で持続可能なまちづくりを			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)				単位: 千円
	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施	
事業費	860,289千円	860,289千円	860,289千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	健康危機管理事業
	4-1-2	予防費	予防接種事業
	4-1-2	予防費	感染症予防に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康政策推進に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	市民へ感染症の状況に応じて、広報やホームページ、公式LINE等で注意喚起および感染症拡大防止、予防対策についての周知・啓発を行うとともに、定期予防接種や予防接種費用助成事業等を実施し、安定的な接種機会の確保に努めた。また、救命率向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置継続を行い、市民への周知を図った。(ロードサイドに立地するコンビニ35台、公共施設34台)	当初予算	860,289,000円
		予算現額	890,059,000円
		決算額	539,505,683円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	感染症予防対策の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	40
			実績値	26	26	36	52	47
	AED(自動体外式除細動器)設置 状況等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	4	4	5	6
			実績値	2	2	4	5	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	24時間営業のコンビニエンス ストアへのAED(自動体外式除細 動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
	市内公共施設等へのAED(自 動体外式除細動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各種感染症予防のため、広報・ホームページ、行政情報掲載、公式LINE等で予防対策等の周知を行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	24時間営業のコンビニエンスストア及び市内公共施設等すべてにAEDを設置している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	感染症予防についての啓発を図り、意識を高めることができた。コンビニ設置AED及び市内公共施設等すべてに三角巾等を設置し、利用しやすい環境整備に努めた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市民の安全安心な生活を守るために引き続き取り組んでいく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

20

1. 事業の概要

実施計画事業名	スポーツ参加機会の拡充		担当部署名	スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	スポーツ人口の拡大を目的に、市民スポーツ大会及び教室を関係団体と連携し継続的に開催するとともに市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する関心を図ることのできるイベントの開催やトップアスリートによるイベントの開催誘致に努めます。 また、市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として学校体育施設の利用促進に努めるとともに快適に活動ができるよう、継続的にスポーツ施設の維持管理・改善検討を行います。			
関連施策	【1-8】 スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、印西市スポーツ推進基本計画、第13次千葉県体育・スポーツ推進計画、第2期印西市子ども・子育て支援事業計画、第2次健康いんざい21(改訂版)～印西市健康増進・食育推進計画～、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	スポーツ参加機会の拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	★スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・アスリート教室の開催 ・スポーツ施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ★パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ★スポーツ施設の維持管理 ★パークゴルフ場、フットサルパークの運営 ・松山下公園陸上競技場公認継続(第4種ライト)経費	★スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・アスリート教室の開催 ・スポーツ施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ★パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ★スポーツ施設の維持管理 ★パークゴルフ場、フットサルパークの運営	★スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・アスリート教室の開催 ・スポーツ施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ★パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ★スポーツ施設の維持管理 ★パークゴルフ場、フットサルパークの運営
事業費	135,744千円	110,750千円	106,119千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-6-2	体育振興費	学校体育施設開放事業
	9-6-2	体育振興費	社会体育施設維持管理に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ推進委員に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ振興に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	スポーツ教室については、ニュースポーツ教室9回(271名参加)、クライミング教室9回及び認定会2回(216名参加)、リフレッシュ教室90回(1,994名参加)、印西アスリート教室1回(117名参加)、パラスポーツ体験会15回(1,113名参加)、陸上クリニック1回(99名参加)の教室を開催した。市民ぐるみのスポーツイベントであるスポーツ健康フェス(1,200名参加)を開催した。学校体育施設の利用については、市内小中学校27校及び旧小学校2校において、学校体育施設の開放を実施した。また、市内民間プール等を活用し、小中学生に利用券の配布事業を実施した。 スポーツ施設の維持管理及びパークゴルフ場、フットサルパークの運営については、市民がより快適にスポーツに親しむことができるよう日々の整備、修繕に努め、施設環境を整えた。	当初予算	135,744,000円
		予算現額	135,744,000円
		決算額	94,323,304円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ教室開催数	回	目標値	143	150	150	150	150
			実績値	97	133	140	142	130
	学校体育施設利用団体数	団体	目標値	210	215	220	220	220
			実績値	185	185	192	189	202
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	スポーツ教室参加者数	人	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900	5,000
			実績値	1,867	4,354	4,968	6,092	5,064
	学校体育施設利用者数	人	目標値	5,900	6,000	6,100	6,100	6,100
			実績値	4,455	4,797	4,792	4,754	4,804
	スポーツ施設利用者数	人	目標値	370,000	380,000	500,000	510,000	520,000
			実績値	496,843	500,477	505,381	366,998	698,984
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	スポーツ教室や大会、スポーツイベントなど、各種スポーツ活動は概ね計画どおり実施され、市民がスポーツに親しむ機会の充実が図られている。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	スポーツ参加者数や施設利用者数は一定数を維持しており、健康増進やスポーツ意識の向上につながっている。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	さらなる参加促進に向け、多様なスポーツ機会の提供や情報発信の充実を図り、継続的にスポーツに親しめる環境づくりを進めていく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
スポーツへの参加機会の拡充を図るため、誰もが参加しやすい環境づくりや情報発信の強化を進め、市民が気軽にスポーツに親しめるようスポーツ教室などを開催していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	21
実施計画事業名	スポーツ団体や指導者への支援		担当部署名 スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	市民がスポーツを行う際に適切な指導を受けることができる環境を整えるために、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、その他スポーツ団体の活動を支援し、競技力の向上及び指導体制の強化を図ります。 また、あらゆる世代がスポーツに参加し、指導を受けることができる総合型地域スポーツクラブの設立を支援するとともに、既存クラブの育成を行います。		
関連施策	【1-8】スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、印西市スポーツ推進基本計画、第13次千葉県体育・スポーツ推進計画、第2期印西市子ども・子育て支援事業計画、第2次健康いんざい21（改訂版）～印西市健康増進・食育推進計画～、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第2期印西市教育振興基本計画
取組方針	スポーツ団体や指導者への支援		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・各種セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	★団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・各種セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	★団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・各種セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成
事業費	36,051千円	36,051千円	31,420千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	市スポーツ協会、スポーツ少年団などの活動の支援を行った。(補助金交付等) 印旛郡市スポーツ大会17種目及び印旛駅伝に際し、選手の派遣を行った。(269名) 全国大会出場奨励金を交付した(77名) 運動教室等にスポーツ推進委員を講師として派遣を行った。(3回) スポーツ医学セミナーを開催した。(1回・19名参加) 熱中症対策セミナーを開催した。(1回・35名参加) 総合型地域スポーツクラブへの支援を行った。(活動場所の確保等) 市民スポーツ大会の支援を行った。(38回・4021名参加)	当初予算	36,051,000円
		予算現額	36,051,000円
		決算額	25,072,520円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ団体数 (スポーツ協会・少年団)	団体	目標値	39	40	40	40	40
			実績値	38	37	37	40	39
	郡市民スポーツ大会・印旛駅伝 参加数	種目	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	-	16	17	17	17
	総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	スポーツ医学セミナー開催数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	市民大会開催数	回	目標値	34	34	34	34	34
			実績値	16	26	30	35	38
成果指標	スポーツ団体会員数 (スポーツ協会・少年団)	人	目標値	3,500	3,520	3,540	3,560	3,580
			実績値	3,395	3,142	2,936	2,997	3,407
	スポーツ指導者数	人	目標値	145	147	149	151	157
			実績値	141	155	156	152	152
	総合型地域スポーツクラブ会員 数	人	目標値	99	100	105	110	115
			実績値	69	82	78	91	100
	スポーツ医学セミナー参加人数	人	目標値	20	20	20	20	25
			実績値	47	23	22	27	19
	市民大会参加者数	人	目標値	7,400	7,450	7,500	7,550	7,600
			実績値	2,097	3,664	3,831	4,361	4,021

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	参加者の拡大や継続的な参加促進に向け、多様なニーズに対応した活動内容の充実や、情報発信・連携強化を進めていく必要がある。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	スポーツに親しむ機会の充実や参加促進が図られており、一定の成果が見られるが、さらなる成果向上に向け、参加機会の充実や情報発信の強化を図っていく必要がある。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	計画に基づく各種施策・事業は概ね推進され、市民がスポーツに親しむ環境づくりが進められている。 今後は、多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実や、参加促進に向けた情報発信を強化していく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市スポーツ協会、スポーツ少年団などのスポーツ団体や指導者への支援を継続するとともに、地域スポーツ活動の活性化や競技力向上を図りながら、担い手や指導者の確保・育成を進め、持続的なスポーツ環境づくりに取り組んでいく。また、各種団体と連携し、市民大会等の参加者を増やしていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

22

1. 事業の概要

実施計画事業名	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進		担当部署名	子育て支援課 生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	○子どもの健全な育成を図るため、子どもたちの放課後や週末などの安全で安心な居場所づくりに取り組むとともに、異年齢や世代間の交流や体験活動の充実を図ります。また、児童の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とした健全育成の場を提供します。 ○子どもの現在及び将来が生まれ育った環境によって左右されないよう、経済的な理由や家庭環境などによって困難を抱える子どもに対して、学習習慣の定着及び子どもの居場所の提供に努めます。 ○学童クラブへのニーズの高まりに対応するため、計画的な学童クラブの整備・改修を図るとともに、公立学童クラブの指定管理者への委託、民間学童クラブへの支援を行います。			
関連施策	【2-1】子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 印西市こども計画	
取組方針	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  2 飢餓をゼロに  3 すべての人に健康と福祉を  4 質の高い教育をみんなに  5 ジェンダー平等を實現しよう  8 働きがいも、経済成長も  10 人や国の不平等をなくそう  11 安全と健やかなるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に  17 パートナリーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週1回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) ・児童健全育成事業の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) ★24学童クラブの指定管理者による運営 ★民間15学童クラブへの補助 ★学校施設を借用した学童クラブの運営7カ所	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週1回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) ・児童健全育成事業の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) ★24学童クラブの指定管理者による運営 ★民間15学童クラブへの補助 ★学校施設を借用した学童クラブの運営7カ所	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週1回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) ・児童健全育成事業の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) ★24学童クラブの指定管理者による運営 ★民間15学童クラブへの補助 ★学校施設を借用した学童クラブの運営7カ所
事業費	748,929千円	731,197千円	728,109千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ひとり親家庭等生活向上事業
	3-3-5	児童福祉施設費	児童遊園に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	中央駅前児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	子どもふれあいセンターに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	そうふけ児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	いんば児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブ施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・公立学童クラブ(24学童クラブ)の運営を行った。 ・民間学童クラブ(14学童クラブ)への運営費補助を実施した。 ・高花学童クラブ(普通教室)、原学童クラブ(普通教室)の整備を行った。 ※公設民営(指定管理者)24学童クラブ、民設民営14学童クラブ計38学童クラブ ・生活困窮世帯及びひとり親世帯等の児童(小学4年生から18歳まで)に対し、学習支援や居場所の提供を行うことで、基本的な日常生活習慣や学習習慣の定着を図ることができた。(小学生登録者:22人、利用者数:517人/年 中学生登録者:26人、利用者数:639人/年) ・児童館利用人数(そうふけ児童館 17,927人)(いんば児童館6,360人)(子どもふれあいセンター6,806人)(中央駅前児童館14,974人)	当初予算	748,929,000円
		予算現額	779,569,000円
		決算額	691,309,693円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子どもの学習支援事業の実施回数(1週あたり)	回	目標値	3	3	3	4	4
			実績値	3	3	4	4	4
	児童館事業の周知(児童館だよりの配布)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	学童保育実施箇所数	箇所	目標値	33	34	35	37	39
			実績値	33	35	37	37	38
	学童クラブ入所定員数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,770	2,100
			実績値	1,570	1,645	1,770	1,915	2,190
	学童クラブ新設・改修工事の実施数	箇所	目標値	2	1	—	—	—
			実績値	2	1	3	4	5
成果指標	子どもの学習支援事業利用登録者数	人	目標値	30	40	40	40	50
			実績値	31	32	41	49	48
	児童館利用件数	人	目標値	80,600	80,700	80,800	80,900	81,000
			実績値	11,851	18,711	24,562	32,602	46,067
	学童クラブ入所児童数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,770	2,100
			実績値	1,467	1,654	1,847	1,975	2,121
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
民間学童クラブ事業者と新設に向けた協議を実施。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

23

1. 事業の概要

実施計画事業名	子どもと親の健康づくりの推進と 特別な支援が必要な子育て家庭への取組	担当部署名	子育て支援課、子ども家庭課、障がい福祉課
事業の実施目的 及び概要	○子どもと保護者にとっての心身の健康は充実した生活の基本であることから、親子の健康の保持増進をより一層図るとともに、望ましい食習慣の定着を図る食育を推進します。 ○ひとり親家庭は子育ての負担が大きくなる傾向があるため、相談体制の充実や生活・就業・経済的支援等を行っています。 ○全国で児童虐待の事件が後を絶たない現状を踏まえ、今後も育児不安や児童虐待などの問題に早期に対応するための相談体制の整備・充実を図ります。 ○乳幼児健診や専門相談等を実施し、成長発達に支援が必要な乳幼児の早期発見及び親の育児不安等に対しての支援の充実を図ります。 ○心身の発達に心配や遅れのある児童が住み慣れた地域でのびのびと成長することを支えるため、発達に関する相談や療育などの支援を行います。		
関連施策	【2-1】子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	母子及び父子並びに寡婦福祉法 母子保健法 成育基本法 児童福祉法 印西市こども計画
取組方針	子どもと親の健康づくりの推進と 特別な支援が必要な子育て家庭への取組		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs	1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を実現しよう 8豊かで持続可能な未来を築こう 10人や国を超えて格差をなくそう 11持続可能な都市を築こう 16平和と正義をすすめて 17パートナーシップで目標を達成しよう		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	★母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。(新たに災害時保健活動訓練(助産訓練)の実施や1か月児健康診査への助成を開始) ★不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 ・こども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 ・児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 ・子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。	★母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。 ★不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 ・こども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 ・児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 ・子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。	★母子保健法及び成育基本法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。 ★不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 ・こども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 ・児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 ・子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。
事業費	556,603千円	550,663千円	550,817千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	子ども家庭総合支援拠点事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等医療費等助成に要する経費
	3-3-3	母子福祉費	児童扶養手当給付事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	子ども発達センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	母子保健事業
	4-1-3	母子衛生費	不育症治療費助成事業
	4-1-3	母子衛生費	妊娠等包括支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・ひとり親家庭等に対しての助成内容については、子育て支援ポータルサイトでお知らせをすることで必要な方への発信に努めることができた。また、児童扶養手当現況届提出の際に就業状況等の相談に合わせ、自立支援給付金の制度の周知を行った。(子育て支援ポータルサイト「ひとり親家庭への支援・助成」閲覧数 160件/月) ・家庭児童相談を実施し、子育て家庭の不安や悩みの軽減を図った。 ・児童虐待防止のための周知・啓発を行うとともに、関係機関との会議等を行い、連携を図ることで、児童虐待の早期発見・早期対応に努めた。 ・妊婦健康診査延べ8,635人、産婦健康診査延べ1,188人・新生児聴覚スクリーニング検査686人、乳児健康診査(3-6月、9-11月)1,435人、1か月児健康診査612人が利用した。 ・幼児健診については、1歳6か月児健診1,113人、2歳児歯科健診866人、3歳児健診1,061人の利用があり、相談等対応に努めた。 ・SNSを活用した妊娠・子育てに関する支援として、LINE相談は登録者997人、相談件数276件となっている。YouTubeでの動画コンテンツも随時作成した。 ・5歳児相談では、年中学年1,248人に「子どものつよさと困難さアンケート(SDQ)」を実施し、希望者53人に心理士や保健師による相談を実施した。 ・低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業では3件、不育症治療費助成事業では3件へ助成した。 ・出産後の支援として、助産師による電話相談を1,486件実施したほか、乳児家庭全戸訪問事業については736件実施した。 ・災害時保健活動訓練(助産訓練)を1回実施した。 ・成長や発達に関する不安に対し、専門相談などで対応方法をアドバイスし、必要な支援につなげた。 (発達相談:延625人、言語聴覚相談:延481人、運動発達相談:延150人、作業療法相談:延116人、保育園幼稚園への巡回相談:延37園) ・子ども発達センター利用者のニーズと状況に合わせたグループを組み、それぞれに課題を設定し療育を行った。契約者83人、延べ2,896人に療育を実施し、小集団の療育の中で利用児の困り感が改善されたり生活習慣や行動が身についた。また、療育を利用している保護者を対象に、保護者学習会を実施し支援を行った。 ・利用児が在籍する園と発達の状況の共有や相談対応、保育所等訪問支援等で連携を密に行うことができた。 ・障害児相談支援事業において児童発達支援利用児71人、放課後デイサービス利用児24人の計画相談、モニタリングを実施し、保護者支援の充実を図った。	当初予算	437,764,000円
		予算現額	403,211,000円
		決算額	369,842,715円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ひとり親家庭等医療費助成の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3	3	3
	相談事業の周知(広報への掲載)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	母子・父子自立支援員による相談事業実施日数	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	243	243	243	241
	乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)の実施率	%	目標値	92	94	96	98	100
			実績値	95	95	99	100	99
成果指標	ひとり親家庭等医療費助成件数	件	目標値	3,600	3,600	6,500	6,500	6,500
			実績値	6,322	6,613	6,672	6,261	6,539
	母子・父子自立支援相談件数	件	目標値	24	24	24	24	60
			実績値	35	39	66	61	57
	児童家庭相談件数	件	目標値	360	360	360	360	360
			実績値	367	327	356	335	347
	児童虐待相談件数	件	目標値	180	180	180	180	180
			実績値	258	234	245	251	244
	健やか親子21聞き取り項目育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	%	目標値	85	90	95	95	95
			実績値	83	80	84	84	87

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各事業を計画的に実施し、相談・健診・療育等を通じて切れ目のない支援を継続することができた。デジタル手法も活用しながら支援の充実を図った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	発達面の課題や育児不安等の把握や支援につながっていると考えられる。療育等においても子どもの変化や保護者支援の効果がうかがえる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	母子保健から発達支援まで一体的に取り組み、安定した支援体制を維持することができた。今後もニーズに応じた支援の充実が求められる。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
各取組を継続しながら、支援ニーズの増加や多様化に対応するとともに、支援の効果を分かりやすく把握していくことが重要である。あわせて、デジタル活用や関係機関連携をさらに深め、早期対応や予防的支援の充実を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	24
実施計画事業名	子育て家庭への切れ目のない支援		担当部署名	子育て支援課、保育幼稚園課、子ども家庭課
事業の実施目的及び概要	○少子化や核家族化が進む中、育児の孤立化や育児不安が大きくなる前に支援することが重要であることから、子育て家庭が身近な地域で切れ目ない支援を受けられる体制づくりを推進するとともに、子育てに関する相談体制や情報提供体制の充実をめめます。 ○公立保育園での安全かつ質の高い保育サービスの提供及び老朽化した保育施設の計画的な改修整備を推進するとともに、民間保育園の運営に対する補助や民間保育園新設に対する施設整備補助を行い、保育サービスの充実と保育の受け皿拡大による保育園待機児童解消を図ります。また、保育を必要とする児童の受入れを行う民間保育園に対して、国が定める公定価格に基づき委託料を支出します。			
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 母子保健法 成育基本法 印西市こども計画	
取組方針	子育て家庭への切れ目のない支援			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	         			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項) 単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・児童手当の支給及び医療費の助成 ★地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ★子育てヘルプサービス事業の実施 ★子育てコンシェルジュによる相談(利用者支援事業)の実施 ・子育て世帯訪問支援事業の実施 ★産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ★子育て短期支援事業の実施 ★こども家庭センターにおける育児相談の実施 ★妊婦等包括支援事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・待機児童対策のための取り組みの実施 ★各種保育サービスの実施 (時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ★保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 ・民間保育園の運営に対する補助(拡充) ★こども誰でも通園制度実施に向けた調整 ★各保育園への送迎保育ステーション実施に向けた整備	・児童手当の支給及び医療費の助成 ★地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ★子育てヘルプサービス事業の実施 ★子育てコンシェルジュによる相談(利用者支援事業)の実施 ・子育て世帯訪問支援事業の実施 ★産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ★子育て短期支援事業の実施 ★こども家庭センターにおける育児相談の実施 ★妊婦等包括支援事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・高花保育園改修工事関係者調整等 ・待機児童対策のための取り組みの実施 ★各種保育サービスの実施 (時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ★保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 ・民間保育園の運営に対する補助 ★こども誰でも通園制度の実施 ★各保育園への送迎保育ステーション実施 ・小林子育て支援センター改修工事実施設計	・児童手当の支給及び医療費の助成 ★地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ★子育てヘルプサービス事業の実施 ★子育てコンシェルジュによる相談(利用者支援事業)の実施 ・子育て世帯訪問支援事業の実施 ★産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ★子育て短期支援事業の実施 ★こども家庭センターにおける育児相談の実施 ★妊婦等包括支援事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・高花保育園改修工事実施設計 ・待機児童対策のための取り組みの実施 ★各種保育サービスの実施 (時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ★保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 ・民間保育園の運営に対する補助 ★こども誰でも通園制度の実施 ★各保育園への送迎保育ステーション実施 ・小林子育て支援センター改修工事
事業費	10,532,136千円	10,554,429千円	10,612,904千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ブックスタート事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てヘルプサービス事業、利用者支援事業に要する経費、子育て短期支援事業に要する経費、認可外保育施設等の無償化に要する経費、子育て世帯訪問支援事業に要する経費、産後ケア事業に要する経費
	3-3-2	児童措置費	児童手当給付事業
	3-3-4	保育所費	保育園運営に要する経費、地域子育て支援センター「こあら」に要する経費、保育園給食運営事業、民間保育園の保育委託に関する経費、民間保育園等運営費支援事業、民間保育園施設整備事業、保育園施設改修事業、乳児等通園支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	つどいの広場事業、小林子育て支援センターに要する経費、滝野子育て支援センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	子ども医療費助成事業、未熟児養育医療事業、妊婦等包括支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・ブックスタート事業については、児童館にて絵本の配布とボランティアによる読み聞かせを実施し、保護者と乳幼児が絵本を通じてふれあうきっかけを提供することができた。 ・ファミリーサポートセンター事業については、育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人による会員組織への登録を行い、会員同士が相互援助活動を実施することで、子どもの預かりや送迎など地域への子育て支援の推進を図ることができた。 ・地域子育て支援拠点事業については、市内20か所で展開し、年間を通じて多様な交流・相談支援を実施した。全拠点での延べ利用人数は73,602人で、孤立感の軽減や育児不安の解消につながった。 ・もとの幼稚園の保全改修工事の設計を行った。 ・今後の待機児童対策として、小規模保育施設の新規設置や既存施設の定員変更を行った。 ・医療的ケア児を受け入れるための人員体制として、看護師を増員した。 ・民間保育園等の運営に関する経費の補助について、対象範囲の拡大及び補助単価を増額した。 ・食料品等の物価高騰の影響を受けている民間保育園等について、給食材料費の高騰による給食費の上昇を抑制するために補助を行った。 ・こども誰でも通園の令和8年度開設に向けた準備を行った。 ・送迎保育ステーションの令和8年度開設に向けた準備を行った。 ・子育てヘルプサービス事業、養育支援訪問事業、子育て世帯訪問支援事業、産後ケア事業及び子育て短期支援事業を実施し、安心して子育てができるよう、必要な支援を行うことができた。 ・子育てヘルプサービス事業では利用者の利便性を重視しLINEによる申請システム、カード決済を導入した。件数は293件、時間では1,827時間の利用があった。 ・産後ケアでは、より利用が拡大するよう体制を強化するため近隣市町村には委託料と委託内容、施設改修への補助についての考えを、契約施設へは施設拡充の意向等の調査を行なった。結果としては、施設拡充を検討しているという施設や補助を検討している市町村が見られなかったため、拡充の方向としては、安全面や物価高騰を配慮した委託費の引き上げや、支援の必要性の高い利用者の受入れ加算を設定する。 ・妊婦のための支援給付では、母子健康手帳発行時及び赤ちゃん訪問時の保健師や助産師等の専門職による面接を継続、また、妊娠7か月頃のアンケートも引き続き行い、希望者等に面談を実施し、要支援者の早期把握と、切れ目のない相談支援の充実を図った。加えて、経済的支援として、妊婦のための支援給付を一体的に実施した。	当初予算	4,442,461,767円
		予算現額	10,666,624,000円
		決算額	10,181,178,983円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値 ※高校生等医療費助成制度は令和5年8月より子ども医療費助成制度に統合しました。

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子ども医療費・高校生等医療費助成制度の周知(広報への掲載)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	4
	地域子育て支援拠点事業実施箇所	箇所	目標値	24	24	25	25	23
			実績値	24	25	23	23	20
	ファミリーサポートセンターの提供会員	人	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	91	94	96	108	92
	育児相談実施箇所	箇所	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	11	11	11	11	9
	改修工事の実施数	園	目標値	—	1	1	—	1
			実績値	—	1	1	—	0
成果指標	子ども医療費及び高校生等医療費助成件数	件	目標値	265,000	265,000	265,000	265,000	350,000
			実績値	242,747	268,843	342,540	359,310	339,811
	地域子育て支援拠点事業利用者数	人	目標値	95,000	95,000	95,000	95,000	60,976
			実績値	49,892	69,523	69,906	70,211	73,602
	ファミリーサポートセンター事業の利用時間	時間	目標値	2,250	2,250	2,250	2,250	2,786
			実績値	2,919	2,937	2,442	2,692	3,770
	子育てコンシェルジュによる(利用者支援事業)相談利用者数	人	目標値	320	320	320	320	320
			実績値	317	256	323	353	317
	4月1日現在保育園在園児童	人	目標値	2,700	2,800	3,200	3,800	3,800
			実績値	2,748	3,057	3,334	3,457	3,515

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各種子育て支援事業や保育環境整備を計画的に実施し、子育て支援の充実に取り組むことができた。あわせて新規事業の準備や利便性向上にも対応した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地域子育て支援拠点の利用や各種支援の活用により、育児不安の軽減や子育て家庭の負担軽減につながっていると考えられる。利便性向上の取組も利用のしやすさに寄与している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	地域支援、保育環境整備、各種サービスを組み合わせた取組により、子育て支援の基盤整備が着実に進んでいる。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き待機児童は0名であるが、保育園の在園児数は引き続き増加しており、また、希望する保育園に入園できない保育者も多数いることから、今後も送迎保育ステーションやこども誰でも通園制度の事業の拡大により、待機児童対策や保育サービスの充実を図る。あわせて、各種子育て支援事業の充実を図り、子育て家庭の多様なニーズに対応した支援の推進に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	25
実施計画事業名	子どもたちの学ぶ力を育む		担当部署名	指導課 学務課
事業の実施目的 及び概要	3つを柱とした子どもたちの資質・能力(①生きて働く知識及び技能、②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など、③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など)を育成するため、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	学ぶ力を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ★イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ2回、ジャンプ1回) ★ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・支援員等を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	・漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ★イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ2回、ジャンプ1回) ★ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・支援員等を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	・漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ★イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ2回、ジャンプ1回) ★ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・支援員等を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援
事業費	504,081千円	504,081千円	504,081千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	特別支援教育事業、進路対策・キャリア教育事業、国際理解教育推進事業、会見年度任用職員に要する事業(国際理解)
	9-1-4	教育センター費	教育に関する調査・研究・活用事業、教職員研修事業
	9-2-1	学校管理費	小学校管理運営に要する経費
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-1	学校管理費	中学校管理運営に要する経費
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業、職場体験事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・「印西市世界に羽ばたくグローバル人材育成プロジェクト」の実施に伴い、英語コミュニケーション認定テストを全小中学校で実施し、のべ1356名の児童が受検した。 ・特色ある教育活動について、教科等の指導におけるICT活用・情報教育の指定を全小中学校、外国語教育の推進の指定を小学校4校(内野小・原山小・木下小・小林北小)に、指導主事が指導・助言を行った。 ・イングリッシュアカデミーホップ・ステップの事業については、2日間で合計192名の児童が参加し、外国語を使ったコミュニケーション能力の育成を図ることができた。ジャンプの事業では、中学生20名がオーストラリアのメルボルンに7日間ホームステイし、現地校との交流や英語の能力の向上を図った。 ・ALT13名の派遣及び英語教育コーディネーター12名の配置を通じて、幼・小・中学校での外国語教育の円滑な推進を図ることができた。 ・生き生き体験として、9校の中学校の2年生徒1063名(29名減)が、市内の187事業所(7事業所減)で職場体験を行った。 ・特別支援教育研修会は、特別支援コーディネーターと特別支援学級担任を対象に年1回実施し、のべ63名が受講して市内の特別支援教育や教育課程の作成方法について共通理解を図った。 ・早期就学相談では、176件(37件増)に応じた。 ・学習指導員・支援員等を対象とした研修会は、個々のニーズに応じたきめ細かな教育的支援を行うための研修会を年2回実施し、79名が受講した。 ・「漢字級別認定テスト」については3回実施した。のべ数で目標値を大きく上回る受検者があった。 ・各校で行われる授業研修会等に指導主事を150回派遣し、授業の工夫・改善に向けた指導助言を行った。 ・夏季研修会については、現場のニーズや教育課題に応じた18講座を開催した。参加した教職員(延べ622名)にとって満足度の高い研修を実施した。 ・学校図書館システムによる、検収、検索、貸出、返却、各種統計処理等を継続させるとともに、大規模校に図書PCを増設することで、学校図書館の機能の充実に図った。	当初予算	504,081,000円
		予算現額	505,515,000円
		決算額	471,436,831円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	漢字級別認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	計算力認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	—
			実績値	3	3	3	実施なし	実施なし
	英語コミュニケーション能力検定の実施回数	回	目標値	—	—	—	—	2
			実績値	—	—	—	—	2
	夏季研修会に参加した教職員の満足度割合	%	目標値	90	90	91	91	92
			実績値	95	95	99	94	95
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	中止	代替実施	1	1	1
	就学相談を実施することが望ましいと見込まれる対象児童の割合 * 2	%	目標値	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5
			実績値	8	7	7	11	11
成果指標	漢字級別認定テストの受検者数	人	目標値	11,000	11,110	11,221	11,333	11,447
			実績値	12,970	12,810	12,605	12,861	13,063
	計算力認定テストの受検者数	人	目標値	10,000	10,100	10,201	10,303	—
			実績値	12,304	12,940	12,719	実施なし	実施なし
	英語コミュニケーション能力検定の受験者数	人	目標値	—	—	—	—	1,530
			実績値	—	—	—	—	1,356
	学校評価(授業力向上)における児童生徒の肯定的回答率	%	目標値	88	88	88	89	90
			実績値	91	90	93	92	93
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の事後追跡調査結果 * 1	%	目標値	80	—	—	—	80
			実績値	90	R2年度中止	R3年度中止	R4年度代替実施	90
	上記の見込対象児童に対する就学相談の実施率 * 2	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100

*1 イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)を実施した2年後に行う追跡調査において、「研修経験が高校進学や将来の職業観など、進路選択に生かした」と回答した参加生徒の割合
*2 ここでは就学前児童及び就学前相談を対象としている。

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	漢字級別認定テストは令和7年度に、計算力認定テストは令和6年度に終了しており、令和8年度以降は英語コミュニケーション能力検定テストを推進していく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
外国語活動(英語科)において、「世界に羽ばたくグローバル人材育成プロジェクト」の実現に向け、英語コミュニケーション力認定テストを小学校5・6年で実施した。国語科では、漢字級別認定テストでは一定の成果が見られたため、ロジカルシンキングトレーニングテストを16校で先行実施した。令和8年度は全校で実施する予定である。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	26
実施計画事業名	子どもたちの豊かな心を育む		担当部署名	指導課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの豊かな心や創造性を涵養するため、道徳科を要とした体系的・系統的な道徳教育を推進するとともに、体験活動や多様な表現、鑑賞活動等の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	豊かな心を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・不登校児童生徒支援の充実 ・面接相談・電話相談の充実	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・不登校児童生徒支援の充実 ・面接相談・電話相談の充実	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・不登校児童生徒支援の充実 ・面接相談・電話相談の充実
事業費	76,511千円	76,511千円	76,511千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	小中学校芸術文化体験事業
	9-1-4	教育センター費	自然科学体験学習事業
	9-1-4	教育センター費	教育相談事業
	9-1-4	教育センター費	不登校支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・道徳教育実践研修会については、教育センターでの理論研修を受け、各学校での授業実践をし、最後にまとめの活動を行うという形式で、各学校1名参加し、道徳教育の核となる教員の育成と資質向上を図った。 ・各学校で実施した教職員対象の学校評価アンケート結果から、心の教育の充実の設問に対して好意的回答をした割合が90%を超えた。 ・学校での人権教育研修において、事例を踏まえて今日的な子どもの人権問題を中心に理解を深めた。 ・さわやかハートフルコンサートには、市内18小学校、8中学校の計26校が参加した。音楽活動を通して児童生徒の学びあいや豊かな情操を養った。 ・小学校6年生児童を対象に小学校芸術鑑賞教室を4回に分けて開催しおよそ1,200人児童が参加した。 ・狂言や落語等の古典芸能を味わい、日本の伝統芸能についての理解を深めた。 ・教育センター主催の自然科学体験は、里山観察会、星空観察会、科学実験教室を実施し、のべ93名が受講した。 ・市教育支援センターには最大26名の児童生徒が、8中学校内及び5小学校内の校内教育支援センターには最大229名の生徒が在籍した。児童生徒個々の状況に応じ、学校との心的距離を縮め、心の安定につながった。 ・面接および電話にて、教育センターで591件の相談に応じた。(このほか指導課でも面会相談335件、電話相談225件に応じた。)	当初予算	76,511,000円
		予算現額	80,871,000円
		決算額	69,961,295円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道徳教育授業実践研修会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	さわやかハートフルコンサートの開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	小学校芸術鑑賞教室の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	自然科学体験教室の開催回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	3	2	2	3
	適応指導教室の開室日数	日	目標値	195	195	195	195	195
			実績値	193	194	190	190	193
成果指標	学校評価(道徳・心の教育の充実)における教職員の肯定的回答率 * 1	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	99	95	97	97	99
	市内全児童生徒に対するさわやかハートフルコンサート参加児童生徒数の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	20	20	21	20	21
	小学校芸術鑑賞教室の参加児童数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,100	1,200
			実績値	1,131	1,180	1,206	1,210	1,233
	事後アンケートにおける自然科学体験教室参加者の肯定的回答率 * 2	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100	100	100	実施なし	100
	適応指導教室に通室する児童生徒の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100

* 1 学校評価「あなたは豊かな人間性を育む心の教育の充実に向けているか」の問いに対し、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した教職員の割合
* 2 事後アンケート「今後も体験学習会に参加してみたいか」の問いに対し、「とても思う」「思う」と回答した参加者の割合

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	校内教育支援センターの充実を進めていく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市内の2ヶ所の市教育支援センターに加え、令和7年度に新たに市内5小学校に校内教育支援センターを設置し、令和6年度に設置した市内8中学校と合わせ13校に拡大した。自分の所属する学級に入れないが、校内教育支援センターに通学できる生徒が200名を超え、個に応じた多様な学びの機会の提供をすることができた。令和8年度以降も順次小学校に校内教育支援センターを新設し、より児童生徒に寄り添った支援を実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号 27

1. 事業の概要

実施計画事業名	子どもたちの健やかな体を育む	担当部署名	指導課 学校給食課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの運動に親しむ資質・能力の育成や体力の向上を図るため、学校体育の充実や部活動の支援に努めるとともに、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、学校給食を活用した食に関する指導の充実を図ります。		
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 学校給食法 第2期印西市教育振興基本計画 学校保健安全法
取組方針	健やかな体を育む		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善 ★地産地消の促進、学校給食での地元食材の利用 ★学校給食費無償化 ・食物アレルギー等学校給食費相当額の助成	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善 ★地産地消の促進、学校給食での地元食材の利用 ★学校給食費無償化 ・食物アレルギー等学校給食費相当額の助成	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善 ★地産地消の促進、学校給食での地元食材の利用 ★学校給食費無償化 ・食物アレルギー等学校給食費相当額の助成
事業費	2,143,365千円	2,143,365千円	2,143,365千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	部活動地域移行環境整備事業
	9-1-3	教育研究指導費	小学校駅伝競走大会
	9-6-1	保健体育総務費	学校保健事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業
	9-6-3	学校給食費	学校給食事務費
	9-6-3	学校給食費	高花学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	牧の原学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	印旛学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	中央学校給食センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・小学校駅伝競走大会は、応援児童の参加は無しにするなど多少の縮小は行ったが、例年に近い形で実施することができた。 ・市内全中学校に部活動サポーター18名を、陸上・ソフトテニス・卓球・バレーボール・サッカー・剣道・吹奏楽・野球の部活動に配置した。学校の部活動と地域スポーツ、地域文化活動をつなぐ架け橋となった。 ・児童生徒の定期健康診断、小児生活習慣病予防検診及び事後指導は、感染対策を講じながら通常どおり実施できた。 ・18小学校、9中学校で実施したブラッシング指導には、のべ5,841名の児童生徒が参加した。 ・小児生活習慣病検診には、3,416人の児童生徒が受検し、その後の事後指導を受け、自己の生活習慣を振り返り、今後の生活の仕方について目標をもつことができた。 ・栄養教室については、全小学校で実施した。 ・家庭・地域と連携した食育については、ホームページ、献立表及び食育つうしん等で保護者に情報配信した。また、家庭教育学級では、給食への理解及び食生活の大切さを伝えた。 ・学校給食実施基準に基づき、献立の工夫・改善を行い、学校給食の充実に努めた。 ・地元野菜及び果実を使用した給食を提供し、児童生徒への周知を図ることで、地域の農業や食への理解を深めることに努めた。 ・令和6年9月から開始した学校給食費無償化を引き続き実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 ・令和7年度から食物アレルギー等児童生徒学校給食費相当額助成を開始した。	当初予算	2,143,365,000円
		予算現額	2,230,847,000円
		決算額	2,164,519,384円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	小学校駅伝競走大会の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	小学校における歯科健診の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
	中学1年生における小児生活習慣病予防検診及び事後指導の実施校数	校	目標値	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校
			実績値	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校
	小学校における栄養教室の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			目標値					
			実績値					
成果指標	大会に向けた課外活動に参加する児童数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,214	1,114	1,245	1,013	1,007
	健歯またはむし歯を治癒した児童の割合	%	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	88	88	89	90	86
	中学3年生時における肥満度有所見者の割合	%	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	11	10	12	11	14
	小学生の朝食の欠食率	%	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	3	2
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	教職員負担も大きく、応援児童の参加をなくし、引率などの負担を減らした。令和8年度で終了予定。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
児童生徒の発達段階をふまえた上で、工夫しながら事業を実施することができ、目標値程度の実績を収めている。今後も引き続き、事業内容を工夫・見直し・改善しながら継続し、児童生徒の健やかな体の育成に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

28

1. 事業の概要

実施計画事業名	教育環境整備の充実		担当部署名	教育政策課 学務課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境が充実したまちを目指します。 児童・生徒数が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設 や教育環境を継続的に整えます。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	印西市教育大綱 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基 本方針 印西市学校施設長寿命化計画	
取組方針	教育環境整備の充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1貧乏をなくそう  4質の高い教育をみんなに  7エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就 学奨励費の支給) ★学校現場における適切な人材確保及 び人員配置 ・小中学校が実施する修学旅行費の一 部補助 ★小学校スクールバスの運行 ・印西市立小中学校への通学手段とし て路線バスを利用している児童及び生 徒に対し、定期乗車券分の全額補助 ・教材の維持・修繕 ・小中学校特別教室及び配膳室エアコ ン実施設計 ・小中学校特別教室及び配膳室エアコ ン設置工事 ★小中学校体育館エアコン実施設計 ★原小学校分離新設校設計業務委託	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就 学奨励費の支給) ★学校現場における適切な人材確保及 び人員配置 ・小中学校が実施する修学旅行費の一 部補助 ★小学校スクールバスの運行 ・印西市立小中学校への通学手段とし て路線バスを利用している児童及び生 徒に対し、定期乗車券分の全額補助 ・教材の維持・修繕 ・小中学校特別教室及び配膳室エアコ ン設置工事 ★小中学校体育館エアコン実施設計 ★小中学校体育館エアコン設置工事 ★原小学校分離新設校設計業務委託	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就 学奨励費の支給) ★学校現場における適切な人材確保及 び人員配置 ・小中学校が実施する修学旅行費の一 部補助 ★小学校スクールバスの運行 ・印西市立小中学校への通学手段とし て路線バスを利用している児童及び生 徒に対し、定期乗車券分の全額補助 ・教材の維持・修繕 ・教師用指導書・教科書の整備 ★小中学校体育館エアコン実施設計 ★小中学校体育館エアコン設置工事
事業費	4,965,088千円	1,425,055千円	1,455,055千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-2	事務局費	通学支援に要する経費
	9-1-3	教育研究指導費	きめ細かな教育の充実事業
	9-2-1	学校管理費	小学校施設整備改修事業
	9-2-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業、就学援助事業、小学校修学旅 行費補助事業、教材に要する経費
	9-3-1	学校管理費	中学校施設整備改修事業
	9-3-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業、就学援助事業、中学校修学旅 行費補助事業、教材に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給:377件、特別支援教育就学奨励費の支給:326件) ・学校現場における適切な人材確保及び人員配置 (学習指導員:67人、支援員:53人、日本語指導員:11人) ・小中学校が実施する修学旅行費の一部補助実績数 小学校18校、中学校9校 ・印西市立小中学校へ通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対する補助実績数 40件 ・原山小学校保全改修工事、大森小学校改修工事、いには野小学校体育館改修工事、印西中学校体育館改修工事、小中学校特別教室空調設備設置工事、小林小学校大規模改修工事設計業務委託、屋内運動場空調設備設置工事設計業務(3校)、小・中学校特別教室等空調設備設置工事実施設計業務委託 ・西の原中学校校舎増築工事	当初予算	4,965,088,000円
		予算現額	3,433,804,000円
		決算額	2,633,151,206円
		翌年度繰越額	702,640,550円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	大規模改修及び設計実施数	件	目標値	2	3	3	3	6
			実績値	2	4	3	6	5
	増築事業の実施件数	件	目標値	2	2	1	1	-
			実績値	2	2	1	1	-
	小中学校特別教室エアコン設置の教室数	室	目標値	-	2	3	3	-
			実績値	-	7	3	-	-
	特別教室エアコン設置工事の実施件数	校	目標値	-	-	-	-	7
			実績値	-	-	-	-	7
	特別支援教育支援員の配置人数	人	目標値	44	47	50	53	56
			実績値	40	41	42	47	53
成果指標	改修実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	133	100	200	100
	増築事業の進捗率	%	目標値	100	100	100	100	-
			実績値	100	100	100	100	-
	特別教室エアコン設置率	%	目標値	-	100	100	100	-
			実績値	-	350	100	-	-
	特別教室エアコン整備率	%	目標値	-	-	-	11	37
			実績値	-	-	-	11	37
	特別支援教育支援員の配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	90	87	84	89	95

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校施設の改修については、計画通り実施した。 また、就学援助等の経済的支援や支援員配置等の学校現場で必要とされる支援について適切に実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
就学援助等の経済的支援や支援員配置等の学校現場で必要とされる支援について継続的に実施する必要がある。 印西市学校施設長寿命化計画に則り、計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	29
実施計画事業名	学校の適正規模・適正配置の推進	担当部署名	教育政策課	
事業の実施目的 及び概要	学校規模により生じる教育指導上及び学校運営上の課題を解消し、より良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、学校の適正規模・適正配置を推進します。			
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引(文部科学省) 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基本方針	
取組方針	学校の適正規模・適正配置の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  4 質の高い教育をみんなに  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	★学校の適正規模・適正配置の推進 ・学校適正配置審議会の開催 ・保護者説明会等の実施	★学校の適正規模・適正配置の推進 ・学校適正配置審議会の開催 ・保護者説明会等の実施	★学校の適正規模・適正配置の推進 ・学校適正配置審議会の開催 ・保護者説明会等の実施
事業費	2,180千円	2,180千円	2,180千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・保護者説明会等の開催 ①原小学校の通学区域制度の弾力的運用に関する学校見学会(8回) ②原小学校及び西の原中学校の過大規模校の対応に係る意見交換会(1回) ③(仮称)東の原義務教育学校通学希望調査について(1回) ④(仮称)印西市立東の原義務教育学校の準備の状況について(1回)	当初予算	2,170,000円
		予算現額	2,170,000円
		決算額	1,068,933円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市学校適正配置審議会の開催回数	回	目標値	2	4	5	2	2
			実績値	6	8	4	1	0
	保護者説明会等の開催	回	目標値	実施	実施	実施	実施	実施
			実績値	4	14	8	18	11
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	学校適正配置の推進		目標値	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠であるため、目標指標は設定しない。				
			実績値					
成果指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	原小学校の過大規模校対策として、通学区域制度の弾力的運用に関し、就学先の高花小学校・本埜小学校・船穂小学校の見学会を行った。また、原小学校及び西の原中学校分離新設に関し、保護者・地域住民の方に対し、オンラインにて検討状況を説明し、意見交換を行った。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠なため、目標は設定しない。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	原小学校及び西の原中学校については、(仮称)印西市立東の原義務教育学校の新設に向けて検討を進めていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
一律に規模の適正化を図るのではなく、それぞれの学校規模の特性を踏まえた教育の在り方を整理するとともに、特に、小規模校については、その強みを生かしたモデルの構築を進めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

30

1. 事業の概要

実施計画事業名	情報化社会に対応した教育の推進	担当部署名	教育DX推進室、指導課、教育政策課
事業の実施目的 及び概要	国が提唱するGIGAスクール構想の実現に向け、情報化社会に対応した教育を実施するため、無線LANやパソコンなどのICT環境の整備を推進します。 また、研修等を通じた教員の ICT 活用指導力の向上や情報モラル教育等、ハード・ソフトの両面から情報教育の充実を図ります。		
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画 印西市DX推進方針 印西市教育DX推進計画
取組方針	情報化社会に対応した教育の推進		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  4 質の高い教育をみんなに  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11 住み続けられるまちづくりを 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・1人1台の児童生徒用パソコン等の更新及び児童生徒増及び学級増分の整備 ・学校情報化に伴う環境整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による先進的な情報教育の実施 ・学びの变革に関する研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進 ★モデル校による先進的な情報教育カリキュラム開発(プログラミング・エンジニアリング教材等の段階的な導入)	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・学校情報化に伴う環境整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による先進的な情報教育の実施 ・学びの变革に関する研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進 ★モデル校による先進的な情報教育カリキュラム開発(プログラミング・エンジニアリング教材等の段階的な導入)	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・学校情報化に伴う環境整備(学級増分) ・校務系サーバー等の更新及び校務系ネットワークと教育系ネットワークの統合 ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による先進的な情報教育の実施 ・学びの变革に関する研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進 ★モデル校による先進的な情報教育カリキュラム開発(プログラミング・エンジニアリング教材等の段階的な導入)
事業費	768,532千円	768,532千円	960,718千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-1	学校管理費	小学校施設管理に要する経費
	9-2-2	教育振興費	教材整備に要する経費
	9-3-1	学校管理費	中学校施設管理に要する経費
	9-3-2	教育振興費	教材整備に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・GIGAスクール構想第2期に伴い、令和7年度に1人1台端末の入れ替えを実施した。児童生徒数推移を考慮し、12961台の端末を整備した。さらにフルクラウド化に向け、教育系ネットワークの見直しを行った。 ・大型提示装置を学級増分42台(小学校27台、中学校15台)整備した。 ・ICT支援員を令和6年度より1名増員し、6名配置した。 ・教科等の指導におけるICT活用や校務の情報化推進のための研修を行った。教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修など、27校の全教員を対象として、デジタル基盤を活用した子供たちの資質・能力向上に関する講座を開催した。 ・教育DX専門官の指示のもと、5中学校区(印西中・印旛中・木川中・原山中・滝野中)16校でリーディングDX、4中学校区(船穂中・小林中・西の原中・本埜中)11校で生成AI(校務利用)、1中学校区(原山中)3校で生成AI(教育利用)を実施した。また、印西市教育DX推進計画を踏まえ、教育の情報化を進め全小中学校で学校情報化推進認定を受けた。 ・プログラミング・エンジニアリング教材を7校(内野小・原山小・六合小・平賀小・いには野小・原山中・印旛中)に導入した。	当初予算	730,718,000円
		予算現額	768,834,000円
		決算額	678,567,680円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	教育用パソコン整備台数	台	目標値	355	467	645	425	13,280
			実績値	770	332	701	688	12,961
	ICT教員研修回数	回	目標値	9	9	9	9	15
			実績値	22	20	19	105	74
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	教育用パソコン整備率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
	ICT教員研修参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	96	100	100
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	計画に基づき、ICT機器の調達・設置等、運用開始に向けた準備を概ね予定どおり実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	整備したICT環境により、授業・校務での活用機会が拡大し、当初想定した活用環境を概ね確保できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	今後は、運用コストと効果の見える化を行いながら、学校現場の利活用を支える支援体制と継続的改善の仕組みを整備していく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
ゼロトラスト・セキュリティの考え方を取り入れたデジタル基盤の構築のための整備を進めていく。具体的には、ネットワークの場所を問わず、すべての通信を個別に認証・認可する仕組みを導入し、セキュリティリスクを低減させるとともに、学校・子ども・保護者・市教育委員会の連携強化・利便性の向上を目指す。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

31

1. 事業の概要

実施計画事業名	信頼される学校づくり	担当部署名	指導課
事業の実施目的 及び概要	生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うため、安全に関する資質・能力を育てます。 また、社会に開かれた教育課程の実現に向け、家庭や地域に対してホームページや学校だより等を活用して、積極的に学校の状況を情報発信し、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。		
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画
取組方針	信頼される学校づくり		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs	1貧困をなくそう  4質の高い教育をみんなに  7エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11住み続けられる まちづくりを 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援
事業費	276,429千円	276,429千円	276,429千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業(小学校費)
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業(中学校費)
	9-6-1	保健体育総務費	学校安全事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	- 交通安全教室及び防犯教室については、全校(小中学校27校)において実施した。 - 防犯ブザーについては、対象となる児童全員(1,237名)に貸与した。 - 自転車通学用ヘルメットは、対象となる生徒全員(230名)に貸与した。 (通学以外にも防犯ブザーの携帯、ヘルメットの着用をしている児童生徒も見られる。) - メール配信システムを全校で随時活用し、不審者情報や緊急の連絡事項を迅速に配信した。 - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた、通学路点検の実施や関係各課・関係機関との連携により通学路64か所の改善(注意喚起の看板の設置、白線の引き直し、侵入防止柱の設置、路面舗装等)を図った。 - 日本スポーツ振興センター災害給付制度に11,228名の児童生徒が加入し、631件の請求に係る事務手続きを行った。 - 市内の全小中学校が学校ホームページを運営し、日常的に学校の様子を公開している。1校ひと月あたりのアクセス数は平均で1万件を超えている。 - 交通パトロール・除草等の環境整備・読み聞かせ等の地域ボランティアの571名の保険加入をした。	当初予算	276,429,000円
		予算現額	289,538,000円
		決算額	275,077,233円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施校数	校	目標値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
			実績値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
	対象者への自転車通学用ヘルメットの貸与率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
	メール配信システムの活用	回	目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	3,506	5,390	5,244	3,543	3,566
	印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
	学校HPの更新		目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	随時	随時	随時	随時	随時
成果指標	重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	1	0
	自転車通学時における重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	1	1
	メール配信システムへの登録率(家庭数)	%	目標値	95	95	95	98	98
			実績値	100	99	98	99	98
	通学路の改善対応箇所(公表値)	箇所	目標値	7	7	20	20	20
			実績値	68	63	89	81	64
	学校HPへの年間アクセス総数	件	目標値	360万	360万	600万	600万	1100万
			実績値	1,010万	1,250万	1,560万	1,682万	2,031万

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	計画に基づき、おおむね予定どおり実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	計画に基づき、おおむね予定どおり実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値を大きく上回る項目もあり、計画に基づいておおむね予定どおり実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
学校から家庭への連絡や情報配信の方法が、メール配信より情報量が多い電子配信ツールに置き換わってきている。しかし、災害時などには確実に情報を伝える必要があるため、電話も含めた様々な連絡ツールが必要である。反対に複数のツールがあることによって、分かりにくいとの意見もあるため、検討していくことが必要である。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	32
実施計画事業名	文化・芸術活動の推進		担当部署名 文化振興課
事業の実施目的 及び概要	市民により豊かな心を育み生活に潤いをもたらしていただくことを目的とし、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を目標とします。文化・芸術振興のための施設整備や改修を計画的に行い、発表の場を確保するとともに、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、市民のニーズに合った文化・芸術活動の推進に取り組みます。		
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	社会教育法、文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設等総合管理計画
取組方針	文化・芸術活動の推進		
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	 4 質の高い教育を みんなに  11 住み続けられる まちづくりを		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営
事業費	157,069千円	167,569千円	177,569千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・次代の担い手育成とし、伝統文化親子教室を開催した。 ・第30回印西市民文化祭を実施し、オープニングイベントとし、伝統文化親子教室の成果を発表した。 ・芸術文化活動への共催・後援事業等支援を行った。 ・芸術文化振興に関する各種団体との連携及び自立した運営のための助言を行った。 ・第4回目となる「印西まちなか音楽祭」を実行委員会と共催で実施し、約29,500人の方々が来場した。 ・令和5年度より、文化ホールの管理運営は指定管理者となったことからモニタリングを行った。 ・文化ホール主催事業(自主文化事業)として、全25事業(鑑賞型12事業・育成7事業・普及育成2事業・創出4事業)を実施した。	当初予算	157,069,000円
		予算現額	157,069,000円
		決算額	154,137,025円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民文化祭への参加・出品募集の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4	4	4	4	4
	市民文化祭開催の周知	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
	芸術文化活動への共催・後援の周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2
	文化ホール主催事業の広報・HP掲載	回	目標値	16	16	16	75	75
			実績値	22	32	47	77	79
	文化ホール機関情報紙の発行	回	目標値	12	12	12	16	16
			実績値	12	12	16	17	16
成果指標	市民文化祭への参加・出品数	点	目標値	250	250	250	310	310
			実績値	308	310	322	302	251
	市民文化祭来場者数	人	目標値	1,200	1,250	1,300	5,000	5,000
			実績値	3,652	4,722	5,997	5,738	6,440
	芸術文化活動への共催・後援数	件	目標値	5	10	15	30	33
			実績値	21	32	37	39	27
	文化ホール利用率 (大森図書館除く)	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	43	59	54	65	69
	チケット売上率(有料公演有効 チケット枚数に対する売上枚 数)	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	86	75	72	72	76

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
事業を継続し、目標値に満たなかった指標については今後達成できるように努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

33

1. 事業の概要

実施計画事業名	文化財の保護・活用の推進		担当部署名	文化振興課
事業の実施目的 及び概要	地域に対する愛着心を醸成することを目的とし、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護や保存及び活用を進めます。先人の残した文化遺産である本市の歴史や文化財の価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、資料に触れる環境整備に努めます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	博物館法、文化財保護法、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例、印西市文化財保護条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン、(仮称)印西市歴史文化施設基本計画	
取組方針	文化財の保護・活用の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	4 質の高い教育を みんなに  11 包摂的で安全な まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・道作1号墳調査報告書の刊行 ・石造物調査の実施(印旛地区) ・仏像調査報告書(印旛地区)の刊行 ・歴史的建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ★有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の準備 ・歴史文化施設建設に向けた庁内検討 ・企画展の開催準備	・石造物調査の実施(印旛地区) ・歴史的建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ★有形・無形民俗文化財に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の準備 ・歴史文化施設の基本設計 ・企画展の開催	・石造物調査の実施(印旛地区) ・歴史的建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ★有形・無形民俗文化財に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の準備 ・歴史文化施設の実施設計
事業費	28,876千円	159,519千円	284,817千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-3	文化振興費	文化財審議会運営に要する経費
	9-5-3	文化振興費	文化財保護調査事業
	9-5-3	文化振興費	資料整理保管に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史民俗資料館運営委員会に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館事業活動費
	9-5-7	資料館費	資料館運営事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・道作1号墳調査報告書の刊行(300部) ・仏像調査報告書(印旛地区)の刊行(500部) ・歴史的建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査の実施(17地点) ・市内遺跡発掘調査報告書(令和5年度分)の刊行(300部) ・市内史跡維持管理事業(4箇所) ★有形・無形文化財保護に対する補助(16件) ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・収蔵資料データベース化の準備 ・石造物調査(印旛地区)の実施 現地調査(2回)、調査資料整理(3回) ・歴史民俗資料館展示事業 常設展示(通年)、ミニ展示1回(7月27日～8月31日) ・歴史民俗資料館資料収集・整理保管事業 収蔵資料及び借用資料(歴史資料、民俗資料、考古資料)の写真撮影、目録作成などの整理、温湿度管理、資料くん蒸を実施 ・歴史民俗資料館調査研究事業 市内出土埴輪(5回)、古文書(23回)、民俗資料(6回)、民俗行事(2回)の調査、整理を実施 計36回 ・歴史民俗資料館普及事業 資料の利用(18件・2,607点うち庁内利用7件・1,752点)、体験講座(4回)、資料館講座(3回)、歴史探訪(2回)を実施(9回延べ152人)、館報の復刊(第14号～第16号・各800部)、冊子歴史探訪刊行(400部)、ミニ冊子昭和100年刊行(100部)、しおり(ブックマーク)作成、ワークシート作成 ・歴史民俗資料館研究紀要第8号刊行(400部)	当初予算	28,714,000円
		予算現額	32,503,000円
		決算額	28,918,210円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	調査報告書・パンフレットの刊行	部	目標値	600	600	600	3,600	600
			実績値	5,300	2,800	300	3,300	2,300
	調査報告書・パンフレット刊行の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	1	2	3
	文化財等活用事業の周知	回	目標値	6	6	6	7	9
			実績値	5	4	7	11	7
	歴史民俗資料館運営事業における利用資料数	点	目標値	300	300	300	600	600
			実績値	486	703	668	709	2,607
	歴史民俗資料館企画展・講座、調査等実施回数	回	目標値	5	5	5	20	20
			実績値	7	24	29	49	51
成果指標	調査報告書・パンフレットの販売・配布数	冊	目標値	300	350	350	400	350
			実績値	1,300	1,400	1,400	2,350	1,800
	文化財等活用事業参加者数	人	目標値	50	60	70	80	120
			実績値	140	80	135	137	109
	歴史民俗資料館収集資料数	点	目標値	65,000	65,020	65,520	65,530	65,570
			実績値	65,503	65,509	65,733	65,740	65,740
	歴史民俗資料館入館者数	人	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	842	751	794	808	879
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
事業を継続し、目標値に満たなかった指標については今後達成できるように努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

34

1. 事業の概要

実施計画事業名	市史編さん事業や地域史料の保存	担当部署名	文化振興課
事業の実施目的 及び概要	市民の活動を記録した地域資料を次世代に引き継ぎ、郷土の歴史・文化への関心・理解・愛郷心の高揚を育むため、歴史的公文書の移管並びに歴史資料や古文書を収集し、整理・調査研究・保存に努めるとともに、その活用を図ります。 また、市史編さん事業の実施により、市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を順次刊行し、市民共有の財産として後世に継承します。		
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	印西市立木下交流の杜歴史資料センターの設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市史編さん委員会設置条例、印西市史編さん専門委員設置要綱、印西市史編さん事業基本方針、博物館法、文書管理法、公文書館法、国立公文書館法、第2期印西市教育振興基本計画
取組方針	市史編さん事業や地域史料の保存		
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	 4 質の高い教育を みんなに  11 住み続けられる まちづくりを		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 古文書等の収集・整理保管 - 歴史公文書の収集・整理保管 - 市史刊行事業の実施 - 資料編中世原稿執筆・編集、資料編近世及び資料編原始・古代編集準備、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 - 資料のくん蒸 - 市史編さん講演会等の実施 - 常設展示の一部展示替え - 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営	- 古文書等の収集・整理保管 - 歴史公文書の収集・整理保管 - 市史刊行事業の実施 - 資料編中世刊行、資料編近世原稿執筆・編集、資料編原始・古代及び通史編原始・古代、通史編中世編集準備、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 - 資料のくん蒸 - 市史編さん講演会等の実施 - 常設展示の一部展示替え - 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営	- 古文書等の収集・整理保管 - 歴史公文書の収集・整理保管 - 市史刊行事業の実施 - 資料編近世原稿執筆・編集、通史編中世原稿執筆・編集、通史編近世編集準備、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 - 資料のくん蒸 - 市史編さん講演会等の実施 - 常設展示の一部展示替え - 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営
事業費	13,064千円	16,399千円	21,771千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-7	資料館費	市史刊行事業
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター事業活動費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター運営事務に要する経費
	9-5-7	資料館費	市史編さん委員会運営に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	- 古文書等の収集・整理保管を実施した。 - 歴史公文書の収集・整理保管を実施した。 - 各専門部会の資料収集・調査を実施した。 - 市史刊行物頒布を実施した。(販売数266冊) - 市史刊行事業を実施した。 - 市史編さん講演会を開催した。 - 資料のくん蒸を実施した。 - 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営を実施した。	当初予算	13,064,000円
		予算現額	13,064,000円
		決算額	9,146,937円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市史編さん委員会の開催	回	目標値	2	2	3	3	3
			実績値	2	2	3	2	2
	専門部会の開催(原始・古代)	回	目標値	—	—	—	—	2
			実績値	—	—	—	—	—
	専門部会の開催(中世)	回	目標値	2	4	4	4	4
			実績値	2	1	2	3	3
	専門部会の開催(近世)	回	目標値	3	3	4	4	4
			実績値	0	1	2	2	4
	専門部会の開催(近・現代)	回	目標値	3	6	3	—	—
			実績値	4	3	4	—	—
成果指標	市史刊行物等の頒布	部	目標値	58	59	61	62	65
			実績値	59	60	63	64	65
	市史編さん講演会等の参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	35	70	0	64	42
	木下交流の杜歴史資料センターの来所者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,833	3,174	3,495	2,821	2,822
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
事業を継続し、目標値に満たなかった指標については今後達成できるように努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号	35
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	多様な学習機会の提供	担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	市民の関心や参加意欲の向上を目指し、市民アカデミーや出前講座で市民の学習に対するニーズや年齢層に合わせた多種多様な学習機会を提供するとともに、様々な生涯学習の取り組みに参加できるよう、生涯学習情報の収集に努め、生涯学習ガイドやホームページによる情報提供の充実を図ります。 また、大学や企業などとの連携・協力した事業を展開し、市民の学習機会の拡充を図ります。		
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画
取組方針	多様な学習機会の提供		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs	4 質の高い教育を みんなに  11 住み続けられる まちづくりを 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援
事業費	671千円	671千円	671千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・生涯学習ガイド300部発行,市内各施設(支所・図書館・公民館・幼・保稚園・小中学校等)に配置し、ホームページにも掲載した。 ・生涯学習ガイドにて講師、指導者情報の充実を図った(掲載数143人)。 ・市民アカデミーは、学習内容の一部を見直し、1年生18人・年間23回、2年生18人・年間10回実施した。 ・出前講座は回覧・広報等で周知に努め、昨年度より申込数、利用者数ともに増加した。 ・順天堂大学生涯学習公開講座で3講座を実施し、15組50名が参加した。また、市民アカデミー内においても順天堂大学及びUR都市機構に事業協力を得た。 ・生涯学習及び社会教育事業を行う団体の活動に対し後援支援を行った。(16事業)	当初予算	671,000円
		予算現額	701,000円
		決算額	551,723円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	生涯学習ガイドの広報での周知回数	回	目標値	—	—	2	2	2
			実績値	—	—	2	0	1
	出前講座講座数	件	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	64	63	60	58	61
	市民アカデミー開催数	回	目標値	76	76	76	76	76
			実績値	25	30	31	35	33
	高等教育機関等との連携した講座数	件	目標値	4	5	5	6	6
			実績値	4	5	5	4	4
			目標値					
			実績値					
成果指標	出前講座利用申込数	件	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	31	53	57	37	49
	出前講座利用人数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	419	928	848	896	962
	市民アカデミー参加人数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	46	26	24	38	36
	生涯学習ガイドのホームページアクセス数	件	目標値	700	700	700	2,100	2,100
			実績値	1,262	2,088	2,506	1,432	2,354
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	全体的に目標値を下回る結果となり、改善に向けた方策を研究・検討していく。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	出前講座の利用人数は回復傾向にあり、参加者は前年と比較すると増加した。内容のブラッシュアップを図り、幅広い年齢層から利用してもらえる事業としたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	全体的に目標値を下回る結果となり、改善に向けた方策を研究・検討していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市民アカデミーは生涯学習の起点でもあるリカレント教育の場であり、欠かす事の出来ない事業である。また、出前講座や生涯学習ガイドは、自分や仲間内で学びの機会のきっかけとなるため、今後も内容の充実に対して検討を進めていきたい。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号	36
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	図書館サービスの充実		担当部署名	図書館課
事業の実施目的 及び概要	市民の読書活動や学習活動を推進し、また、地域における情報やコミュニティの拠点として市民生活に役立つ施設となるよう、従来の来館型サービスの他、電子書籍の導入など非来館型サービスの充実を図り、図書館の利用を促進します。 また、利用しやすい環境整備に努めるため、施設整備のあり方などについて調査・研究します。 さらに、読書活動を深める機会の提供や読書環境の整備・充実に努め、子どもの読書活動を推進します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	図書館法、印西市立図書館設置条例及び同条例施行規則、第2期印西市教育振興基本計画、印西市子ども読書活動推進計画(第四次)、印西市公共施設等総合管理計画、印西市DX推進方針、印西市立図書館サービス計画	
取組方針	図書館サービスの充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 4 質の高い教育を みんなに  11 住み続けられる まちづくりを			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・資料の収集・管理及び提供 ・ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 ・電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 ・子どもの読書活動推進 ・ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館) ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書の貸出窓口運用開始 ・本埜ファミリア館改修工事(本埜図書館) ・民話絵本の作成	・資料の収集・管理及び提供 ・ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 ・電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 ・子どもの読書活動推進 ・小倉台図書館保全改修工事 ・ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館)	・資料の収集・管理及び提供 ・ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 ・電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 ・子どもの読書活動推進 ・小倉台図書館保全改修工事 ・図書館システム更新の実施
事業費	153,682千円	875,888千円	370,688千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-5	図書館費	図書館協議会運営に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館運営事務に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館施設管理に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書資料の整備に要する経費
	9-5-5	図書館費	小倉台図書館立替償還金

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	- 資料の収集・管理及び提供を行った。 - ホームページ等による蔵書の公開や記事の更新を行った。 - 電子書籍を新たに436タイトル提供し、非来館型サービスの充実を図った。 - 子ども読書活動推進計画(第四次)に基づき児童書の収集や児童向けの事業等を実施した。 - コスモスパレットパレットⅡに「図書の出窓」を開設し、令和7年4月1日より開館した。 - 本塾ファミリア館の保全改修工事に伴い本塾図書館を令和7年6月16日から令和8年3月31日まで休館し、令和8年4月1日の再開館に向けての準備を行った。 - ふれあいセンターいんばの保全改修及び複合化工事に伴い印旛図書館を令和7年8月1日から休館した。 - 小倉台図書館保全改修工事の内容及び休館期間の対応を検討した。 - 民話絵本「光堂の竜」を3,000部作成した。	当初予算	153,682,000円
		予算現額	145,866,000円
		決算額	140,679,759円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	図書資料受入点数	点	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	10,406	10,033	11,496	14,090	15,404
	内児童資料受入点数	点	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,800
			実績値	2,075	1,976	2,664	4,450	4,810
	資料予約件数	件	目標値	127,000	127,100	127,200	150,000	160,000
			実績値	142,754	142,449	156,685	162,536	166,495
	電子書籍受入点数	点	目標値	300	350	400	450	500
			実績値	350	295	278	383	436
			目標値					
			実績値					
成果指標	個人貸出点数	点	目標値	820,000	820,500	821,000	821,500	850,000
			実績値	839,613	814,954	845,338	822,646	805,818
	内児童資料貸出点数	点	目標値	320,000	320,200	320,400	350,000	365,000
			実績値	349,754	346,295	360,201	345,009	340,599
	レファレンス件数 ※レファレンス・調べものを支援するサービス	件	目標値	25,000	25,100	25,200	25,300	25,400
			実績値	17,970	18,873	19,766	20,458	19,955
	電子書籍貸出点数	点	目標値	1,000	1,150	1,200	1,350	1,650
			実績値	1,395	988	1,610	1,508	1,587
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
事業を現行のまま継続して実施するとともに、新たな体制のもと、図書館が地域におけるコミュニティの拠点として機能するよう、市民ニーズに即した新規事業及びサービスの検討を進める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

37

1. 事業の概要

実施計画事業名	生涯学習施設の整備・充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	子どもから高齢者まで市民一人ひとりの多様な学習活動の実践や参画を側面から支援し、自己実現につながる生涯を通じて学習できるまちづくりを推進していきます。 そのためには、多様化する市民ニーズに対応した学習機会を提供するため、各公民館等では年齢層等に対応した事業や地域の特性を生かした事業を展開するとともに、学習の場を提供するため、だれもが安全で安心して快適に施設を使用するため、適正な施設機能の確保に努めていくこととします。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 印西市立公民館の設置及び管理に関する条例及び規則 印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 第2期印西市教育振興基本計画等	
取組方針	生涯学習施設の整備・充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 4 質の高い教育を みんなに  11 住み続けられる まちづくりを			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の指定管理者による管理運営 ・中央公民館移転検討	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・ふれあいセンターいんば改修及び複合化に伴う備品運搬業務 ・印旛公民館解体設計業務 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の指定管理者による管理運営 ・中央公民館移転検討	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・印旛公民館解体撤去工事 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の指定管理者による管理運営 ・中央公民館移転検討
事業費	618,955千円	633,547千円	709,503千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	9-5-4	公民館費	公民館運営審議会運営費
	9-5-4	公民館費	中央公民館運営事務に要する経費、小林公民館運営事務に要する経費、そうふけ公民館運営事務に要する経費、印旛公民館運営事務に要する経費、本埜公民館運営事務に要する経費
	9-5-4	公民館費	中央公民館事業活動費、小林公民館事業活動費、そうふけ公民館事業活動費、印旛公民館事業活動費、本埜公民館事業活動費
	9-5-4	公民館費	中央公民館施設管理に要する経費、小林公民館施設管理に要する経費、そうふけ公民館施設管理に要する経費、印旛公民館施設管理に要する経費、本埜公民館施設管理に要する経費
	9-5-4	公民館費	ふれあい文化館立替償還金、(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・公民館等主催事業(子ども対象事業、大人対象事業等)の実施 ・子ども対象事業 34事業 2,096人 ・大人対象事業 39事業 13,405人 ・共催事業 2事業 24人 ・団体育成事業の実施 130団体 ・個人学習事業の実施 8,621人 ・貸館事業の実施 110,565人 ・施設維持管理事業(中央公民館 4,469,520円 小林公民館 237,600円 そうふけ公民館 166,100円 印旛公民館 846,010円 本埜公民館 16,500円) ・印西市立中央公民館空調設備設置工事 17,039,000円(令和6・7年度継続) ・印西市立中央公民館第1会議室空調機器新設工事 891,000円 ・ふれあい文化館ガイドレール交換工事 1,265,000円 ・公民館の利用制限の緩和の検討 ・中央駅前地域交流館(コスモスパレット)運営開始	当初予算	618,955,000円
		予算現額	623,305,000円
		決算額	614,580,337円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	主催事業実施数	事業	目標値	70	75	70	75	80
			実績値	51	67	77	68	82
	公民館等定期利用団体数(利用者登録団体)	団体	目標値	230	240	240	240	240
			実績値	136	133	131	126	130
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	主催事業参加者数	延べ人数	目標値	24,000	24,000	23,800	24,700	25,000
			実績値	11,838	15,241	16,237	16,001	15,525
	公民館等利用者数	延べ人数	目標値	200,000	226,000	220,000	235,000	242,000
			実績値	111,626	152,964	189,191	157,857	262,477
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値を上回る主催事業を実施した。また、コスモスパレットパレットⅡの開館により、定期利用団体数も増加した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	主催事業参加者数は減少したものの、コスモスパレットパレットⅡの開館により、利用者数は大幅に増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値を下回る項目もあったが、全体的にコスモスパレットパレットⅡの開館により、前年度の実績を上回る結果となった。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
より多くの市民に事業へ参加いただくために、魅力的な企画や、周知の方法を検討する。また、公民館等の使用団体へ支援の拡充を図り、新たな団体の立ち上げや既存団体の活性化へつなげるよう努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

38

1. 事業の概要

実施計画事業名	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちを地域ぐるみで守り育てるために、学校・家庭・地域との連携を図り、青少年の健全な育成にむけた活動を行います。 また、家庭における教育力の向上を目指し、市内公立幼稚園・小中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 第2期印西市教育振興基本計画 新・放課後子ども総合プラン 次世代育成支援対策推進法他	
取組方針	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	4 質の高い教育を みんなに  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・こども110番事業の実施 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・家庭教育の推進 ・地域学校協働活動の支援 ・二十歳を祝う会の開催	・こども110番事業の実施 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・家庭教育の推進 ・地域学校協働活動の支援 ・二十歳を祝う会の開催	・こども110番事業の実施 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・家庭教育の推進 ・地域学校協働活動の支援 ・二十歳を祝う会の開催
事業費	18,345千円	16,863千円	16,863千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-2	青少年対策費	青少年相談員運営に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	青少年対策事業活動費
	9-5-2	青少年対策費	家庭教育学級事業
	9-5-2	青少年対策費	二十歳を祝う会に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	放課後子ども教室に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	- 子ども110番事業について、看板・ステッカーの配布(156枚)や保険加入を行った。 - 社会を明るくする運動青少年健全育成大会については、滝野中学校に出演いただいた。 - 放課後子ども教室については、滝野小学校(10回/64人)、本埜小学校(10回/29人)、原山小学校(207回/88人)で合計227回の実施、181人の参加があった。(参加人数は利用登録者数) - 家庭教育学級について必修学級28学級、任意開設の学年学級2学級を開設した。各学級5～10回程度の学習会を開催し、1,821名が参加した。 - 地域学校協働活動の支援として、地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業に補助金を交付した。 - 二十歳を祝う会を開催し、723名が参加した。	当初予算	18,345,000円
		予算現額	16,783,000円
		決算額	12,863,114円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	放課後子ども教室開催数	回	目標値	24	36	36	36	266
			実績値	16	20	20	228	227
	家庭教育学級講座開催総数	回	目標値	270	270	270	270	270
			実績値	95	147	147	186	189
	家庭教育学級開設学級数	学級	目標値	42	42	42	42	42
			実績値	33	33	34	34	30
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	こども110番協力家庭・事業所数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,600
			実績値	1,466	1,543	1,601	1,622	1,567
	放課後子ども教室参加児童数	人	目標値	90	110	110	110	140
			実績値	62	81	72	154	181
	家庭教育学級講座参加者数	延べ人数	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値	1,051	1,557	1,375	1,721	1,821
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	全体的に前年度と同様の実績にとどまり、目標値を下回る結果となっているため、改善に向けた方策を検討していく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標を上回る成果を果たした項目もあるが、それ以外の活動については活動の活性化に向けた創意工夫と関係者の理解が必要である。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値に到達出来なかった項目については、それぞれの事業において活動の活性化に向けた工夫と関係者の理解が必要である。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成の推進を図るため、事業を継続する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	39
実施計画事業名	農業の担い手の確保		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐため、関係団体と連携を図り、意欲ある担い手への優良農地の利用集積を進めます。			
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農地中間管理事業の推進に関する法律 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	担い手の確保			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	2 気候変動に具体的な対策を 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 15 陸の豊かさも守ろう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・新規就農者への支援 ・農業版ハローワーク事業 ★農地中間管理事業	・新規就農者への支援 ・農業版ハローワーク事業 ★農地中間管理事業	・新規就農者への支援 ・農業版ハローワーク事業 ★農地中間管理事業
事業費	23,730千円	23,730千円	23,730千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	- 新規就農者への資金交付 2経営体(うち夫婦型0経営体) - 農業版ハローワーク事業研修 2回 - 新規求人登録者 6名 - 新規求職登録者 4名 - 農地中間管理事業(農地中間管理機構による貸借) 借受面積 33.8ha	当初予算	23,730,000円
		予算現額	11,730,000円
		決算額	10,182,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	農業次世代人材投資資金事業の周知	回	目標値	1	1	—	—	—
			実績値	1	1	—	—	—
	新規就農者育成総合対策の周知	回	目標値	—	—	1	1	1
			実績値	—	—	1	1	1
	農業版ハローワーク事業に係る研修会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2
	農地中間管理事業の周知	回	目標値	1	1	5	5	5
			実績値	5	5	4	3	5
			目標値					
			実績値					
成果指標	農業次世代人材投資資金交付者数	延べ経営体数	目標値	11	12	—	—	—
			実績値	11	11	—	—	—
	新規就農者への資金交付数	延べ経営体数	目標値	—	—	13	14	15
			実績値	—	—	12	12	12
	農業版ハローワーク事業の求職登録者数	延べ人数	目標値	40	42	52	58	64
			実績値	50	59	60	56	60
	農地中間管理事業のマッチング面積	延べ面積(ha)	目標値	70	71	82	85	90
			実績値	81	84	88	99	132
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
農業従事者の高齢化や後継者不足が加速する中、農地の荒廃等を防ぐには、新規就農者対策や農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化対策が必要であり、各種事業を実施していくことで、その対策に取り組んでいく。農地中間管理事業のマッチング面積は今後も耕作放棄地解消の取組や地域の担い手の集約化により、増加傾向になることが見込まれる。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

40

1. 事業の概要

実施計画事業名	農業経営への支援		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	農業経営の安定化を図るため、認定農業者や新規就農者等の担い手に対する栽培施設整備等への支援を行います。 また、農作物被害の防止対策、主食用米の需給バランスを図るための新規需要米等への作付転換、家畜の疾病問題等の経営環境面の改善や畜産物の品質向上への支援を行います。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業経営への支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	2 持続可能な食料  8 健全な労働と経済成長  9 産業と技術革新の基盤をつくろう  15 陸の豊かさを保ちまわろう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・家畜伝染病予防事業 ★農業機械等導入支援補助金	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・家畜伝染病予防事業 ★農業機械等導入支援補助金	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・家畜伝染病予防事業 ★農業機械等導入支援補助金
事業費	171,463千円	171,463千円	171,463千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	農業振興に要する経費
	5-1-3	農業振興費	植物防疫事業
	5-1-3	農業振興費	多目的水田農業推進事業
	5-1-3	農業振興費	農業経営基盤強化促進事業
	5-1-4	畜産業費	家畜防疫事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・認定農業者・新規就農者連絡会議の開催 1回 ・認定農業者に係る農業経営改善計画認定申請書添削会の開催 18回 ・農業用廃プラスチック対策推進事業 処理量 7.29t ・園芸産地生産力強化支援事業 5経営体 ・果樹産地強靱化支援事業補助金 4経営体 ・担い手水田利活用高度化対策事業 1経営体 5.9ha ・農業制度資金利子補給 0件 ・飼料用米等生産支援事業 24経営体 ・植物防疫事業 1279.9ha ・家畜伝染病予防事業 予防接種50頭(牛50)、防疫資材配布 ・農業機械等導入支援補助金 37経営体	当初予算	171,463,000円
		予算現額	75,440,000円
		決算額	65,640,251円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	飼料用米取組への周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	飼料用米取組面積	ha	目標値	65	71	—	—	—
			実績値	534	646	—	—	—
	飼料用米取組目標面積達成率	%	目標値	—	—	90	90	90
			実績値	—	—	133	81	12
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	D 目標値を下回る	令和6年度以降主食用米の価格が高騰したことにより、飼料用米等転作作物の作付面積が大幅に減少したため。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
米価の一時的な上昇により、農業経営への圧迫化は緩和されつつあるものの、機械等の価格は依然として高水準にある。こうした状況であるからこそ、各種支援制度の活用により一層周知し、引き続き事業の実施を通じて、栽培施設の整備や経営環境の改善、畜産物の品質向上を後押ししていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	41
1. 事業の概要			
実施計画事業名	農業生産基盤の整備		担当部署名 農政課
事業の実施目的 及び概要	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、関係団体と連携を図りながら、土地改良施設の改修や農地の面整備等を行う土地改良事業実施主体への支援等により、農業生産基盤の整備に努めます。		
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
取組方針	農業生産基盤の整備		
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する		
関係するSDGs	2 気候変動に 適応する  8 働きがいも 経済成長も  9 産業と地域革新の 基盤をつくろう  15 陸の豊かさも 守ろう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し) ・農業水路等長寿命化・防災減災事業(行徳地区)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し) ・農業水路等長寿命化・防災減災事業(行徳地区)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し) ・農業水路等長寿命化・防災減災事業(行徳地区)
事業費	101,258千円	181,247千円	94,193千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)に係る国との連絡調整。 ・国営印旛沼二期土地改良事業に係る国等との連絡調整。 ・小規模土地改良事業補助 10経営体 3土地改良区 ・農業水路等長寿命化・防災減災事業(行徳地区)R7年度は公図不明箇所判明により負担金なしとなった。	当初予算	109,854,000円
		予算現額	106,694,000円
		決算額	56,542,839円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	小規模土地改良事業補助金の周知	回	目標値	2	2	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	小規模土地改良事業実施率	%	目標値	80	80	90	90	90
			実績値	99	99	68	78	66
成果指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値をやや下回っているものの、概ね事業の進捗が図られた。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標値をやや下回っているものの、概ね事業の進捗が図られた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、引き続き、各種事業による支援等を行い、農業生産基盤の整備に努めていく。令和8年度から小規模土地改良事業補助金の改正を実施し、農地の集積・集約化を一層推進するために、耕作面積の拡大及び生産性向上に資するため、畦畔の除去に要する経費を補助対象に追加した。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	42
実施計画事業名	農林業を通じた地域振興		担当部署名	農政課
事業の実施目的及び概要	市民の農業への理解と関心を高めるため、農業に親しむ機会を設けるとともに、地元農産物の消費拡大や安全・安心な農産物づくりに関わる取組を支援します。 また、農村環境を保全するため、農地や用排水施設の管理活動や森林の保全に取り組む活動に対し支援等を行います。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	
取組方針	農林業を通じた地域振興			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項) 単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・いんざいふるさと産業まつりの開催 ★ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ★農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業 ・ソーラーシェアリング活用に向けた検討	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・いんざいふるさと産業まつりの開催 ★ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ★農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業 ・ソーラーシェアリング活用に向けた検討	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・いんざいふるさと産業まつりの開催 ★ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ★農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業 ・ソーラーシェアリング活用に向けた検討
事業費	43,406千円	46,406千円	46,406千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	5-1-3	農業振興費	多面的機能・環境保全向上対策事業
	5-1-3	農業振興費	ふるさと産業まつりに要する経費
	5-1-3	農業振興費	ふるさと農園振興事業
	5-1-3	農業振興費	地産地消推進事業
	5-2-1	林業振興事務に要する経費	林業振興事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・多面的機能支払交付金 13団体 52,800a ・環境保全型農業直接支援対策事業補助金 団体 57a ・草深ふるさと農園全284区画を貸出し ・農業体験教室の実施 ミニトマト栽培 308人(4小学校) イモ植付体験(5保育園、1幼稚園、2小学校、教育センター) イモ収穫体験(4保育園、1幼稚園、9小学校、教育センター) 中止:1保育園 ・印西農産物地産地消推進事業補助 6経営体 ・産業まつり来場者数 約20,000人 ・林業体験教室(1小学校、教育センター) ・県単森林整備事業補助 1件、0.18ha	当初予算	43,406,000円
		予算現額	42,231,000円
		決算額	38,999,986円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	多面的機能支払交付金事業の 周知	回	目標値	1	1	3	3	3
			実績値	4	4	4	4	4
	ふるさと農園の利用案内	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	農業体験教室の開催 (ミニトマト・イモ収穫体験)	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3	2	2	2	2
	ちばエコ農業の啓発	回	目標値	1	1	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2
			目標値					
			実績値					
成果指標	多面的機能支払交付金事業活 動団体数	団体数	目標値	11	12	13	14	15
			実績値	12	12	13	13	13
	ふるさと農園利用率	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100	100	100	100	100
	農業体験教室の参加人数 (ミニトマト・イモ収穫体験)	人	目標値	400	700	700	700	1,000
			実績値	976	1,074	1,055	1,153	786
	ちばエコ農産物認証件数	件	目標値	20	21	22	23	24
			実績値	22	17	24	21	22
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
農産物地産地消推進事業補助金では、地産地消の普及を目的としたイベント出店農業者への補助を新設し、農業者と消費者の交流機会を創設することで、地元農産物の認知向上と販路拡大の推進に取り組んでいく。 草深ふるさと農園の拡張に取り組み、より多くの方に農業に触れ合う機会を創出する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	43
1. 事業の概要			
実施計画事業名	商工業の活性化		担当部署名 経済振興課
事業の実施目的 及び概要	企業経営の安定化、事業継続などが図られるよう市商工会などの関係機関との連携により、企業への支援事業を推進します。また、企業の設備投資や事業の拡大などに向けて、制度融資や利子補給などの経済的支援を行います。 さらに、地域の活性化を図るため、市にゆかりのある地元産品や特産品などを開発するために必要な支援を行います。		
関連施策	【3-2】 商工業の振興	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画
取組方針	商工業の活性化/新たな地元産品の開発の支援		
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する		
関係するSDGs	8 働きがいも 収入もある  9 産業と地域開発の 促進につくろう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★市商工会への支援 ★中小企業資金融資 ★小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	★市商工会への支援 ★中小企業資金融資 ★小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	★市商工会への支援 ★中小企業資金融資 ★小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知
事業費	43,573千円	43,573千円	43,573千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・市内商工業の総合的な改善発達を図るため、市商工会の運営及び事業に要する経費の一部を補助した。 ・中小企業資金融資及び小規模事業者経営改善資金に対する利子補給により中小企業者を支援した。 ・いんざいふるさと地元産品をHP等で周知を図り、新たな産品を追加した。	当初予算	43,573,000円
		予算現額	43,332,000円
		決算額	39,587,258円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	融資についての記事を広報紙・HPに掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	5	5	7	10	6
	いんざいふるさと地元産品の広報紙・HP掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1	1	8	5	1
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	中小企業資金融資利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	28	25	19	20	13
	小規模事業者経営改善利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	39	27	34	21	24
	商工会経営指導員による相談及び指導	回	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
			実績値	1,868	1,821	1,914	1,951	1,160
	いんざいふるさと地元産品の新規登録数	件	目標値	—	—	1	1	2
			実績値	—	—	2	1	1
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	地元産品については、ホームページで周知をしていたが、7年度は新規追加分の更新となった。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	市の融資制度を廃止したが、利子補給など経済支援は継続した。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	国・県の融資制度が充実してきたこと等の要因から、市の融資制度の利用者数が減少していると捉えている。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・関係機関と連携し、企業経営の安定化・事業継続などが図られるよう支援する。 ・中小企業支援のため、各種利子補給の支援を継続していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	44
1. 事業の概要			
実施計画事業名	創業・起業の支援と企業誘致		担当部署名 経済振興課
事業の実施目的 及び概要	県や商工会、大学などの関係機関と連携し、創業・起業希望者に対して創業セミナーや相談事業などを行い、市内への創業・起業を促進します。また、成田国際空港や都心などへのアクセス性や安全性など地理的優位性を積極的にPRし、誘致活動を推進します。		
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	創業支援等事業計画
取組方針	企業誘致の実施/創業・起業の支援		
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する		
関係するSDGs	8 働きがいも 経済成長も  9 産業と地域革新の 基盤をつくろう  10 人や国の不平等を なくそう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催 ・創業支援資金利子補給 ・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR ★優良企業への誘致活動	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催 ・創業支援資金利子補給 ・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR ★優良企業への誘致活動	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催 ・創業支援資金利子補給 ・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR ★優良企業への誘致活動
事業費	87,815千円	87,815千円	87,815千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・新たに女性向け起業スクールを開催する等、関係機関と連携して創業セミナーや相談事業を実施し、市内の創業・起業希望者を支援した。 ・市内において創業しようとする者を支援するため、株式会社日本政策金融公庫から新創業融資制度による資金の融資を受けた市内の事業者に対し、利子補給を実施した。 ・様々な機会を捉えて、市の立地優勢等のPRを行った。	当初予算	87,815,000円
		予算現額	87,574,000円
		決算額	83,819,858円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの周知	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	5	9	9	9
	地理的優位性をPR	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	0	5	7	14	14
	優良企業への誘致活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	4	6	6	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの参加人数	人	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	6	17	24	17	49
	創業支援資金利子補給	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	3	3	2	2	1
	創業についての相談及び指導	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	31	110	133	114	100
	新規企業数(経済振興課調べ)	社	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	152	139	139	161	128
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・関係機関と連携し、各種セミナーの開催や相談事業、空き店舗を活用した起業創業支援等を実施する。 ・優良企業の誘致へ向け、産業用地の適地選定及び可能性調査を実施する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	45
実施計画事業名	就労支援の充実		担当部署名 経済振興課
事業の実施目的 及び概要	ハローワーク成田などの関係機関との連携を図るとともに、本市の就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」などの就労に関する情報提供の充実を図ります。また、若者、女性、高齢者、障がいのある人等、誰もがそれぞれの意欲や能力を生かしライフスタイルに合わせて働くことができるように、ワークライフバランスや働き方改革について、市民及び企業に意識啓発を図ります。		
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画 創業支援等事業計画
取組方針	就労支援の充実/働きやすい環境づくりの推進		
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する		
関係するSDGs	8 働きがいも 経済成長も  9 産業と地域循環の 連携をつなぐ  10 人や国の不平等を なくす  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・就労に関する情報提供 ・就労セミナーの開催 ・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 ・ワークライフバランスや働き方改革についての周知	・就労に関する情報提供 ・就労セミナーの開催 ・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 ・ワークライフバランスや働き方改革についての周知	・就労に関する情報提供 ・就労セミナーの開催 ・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 ・ワークライフバランスや働き方改革についての周知
事業費	15,319千円	15,319千円	15,319千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」を活用した求人情報の発信やハローワークと連携した求人情報(月2回更新)を公共施設の窓口で提供した。 ・再就職の促進及び就職後の職場定着を図るため、対象者別(若者・女性・中高年者)に再就職セミナーを開催した。(ジョブサポートセンター事業・千葉県と近隣市共同開催) ・働くことに悩みを抱えている若者を対象に相談会を開催した。(月2回)(ちば北総地域若者サポートステーション・厚生労働省と市の共催事業) ・ワークライフバランスの推進を図るため、セミナーを開催した。	当初予算	15,319,000円
		予算現額	15,319,000円
		決算額	13,368,450円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労支援セミナー開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3	4	3
	就労支援に関する情報提供	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	48	48	48	48	48
	ワークライフバランスや働き方改革についてのセミナー開催回数	回	目標値	—	1	1	1	1
			実績値	—	0	1	1	2
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労支援セミナー参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	35	53	98	113	93
	新規就労支援サイト登録事業所数	事業所	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	46	26	44	46	37
	ワークライフバランスや働き方改革についてのセミナー参加者数	人	目標値	—	20	20	20	20
			実績値	—	0	2	7	15
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
ハローワークやジョブサポートセンター等と連携を図り、就労支援に関する情報の提供や就労支援セミナーの充実を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	46
実施計画事業名	シティプロモーションの推進		担当部署名 経済振興課
事業の実施目的 及び概要	地域の貴重な財産である人や自然、文化、産業、都市基盤などの「まちの魅力」を磨き上げるとともに、新たな魅力を創出することにより、選び続けてもらうためのまちづくりを行います。また、効果的かつ積極的に市内外にプロモーションしていくことで、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」につなげていきます。		
関連施策	【3-4】 定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市シティプロモーションプラン
取組方針	シティプロモーションの推進		
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる		
関係するSDGs	11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・シティプロモーションプランの進行管理及び改訂等の検討 ★ふるさと納税を活用した市のPR ★プロモーションイベントの実施 ★市内外のイベントでのプロモーションの実施 ★市のマスコットキャラクターによるPR	・シティプロモーションプランの進行管理 ★ふるさと納税を活用した市のPR ★プロモーションイベントの実施 ★市内外のイベントでのプロモーションの実施 ★市のマスコットキャラクターによるPR	・シティプロモーションプランの進行管理 ★ふるさと納税を活用した市のPR ★プロモーションイベントの実施 ★市内外のイベントでのプロモーションの実施 ★市のマスコットキャラクターによるPR
事業費	102,542千円	102,542千円	102,542千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	成田市、栄町、県と連携し、令和8～9年度に開催する「空・水・空芸術祭」の実行委員会を立ち上げ準備を進めるとともに、市内外へのプロモーションとして、イルミネーションイベント「イルミライ★INZAI」の実施及び計5日間の市民団体企画提案事業によるにぎわい創出や、各種イベントでの市のPR、いんざい君グッズの販売等を行った。 順天堂大学とプロモーションに関する連携の一環として、広告に関する契約を締結し、同大学陸上競技部男子駅伝チーム、体操競技部男子チーム女子チームのユニフォーム等に印西市のロゴを表示し、市のPR、知名度向上を図った。 ふるさと納税では、返礼品目数を100品目から116品目へ増やした。 令和8年度に市制施行30周年を迎えるにあたり、ロゴマークとキャッチフレーズを公募して制定し、ステッカーを作成・配布して気運の醸成に努めた。	当初予算	102,542,000円
		予算現額	102,542,000円
		決算額	72,103,570円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	マスコミへの情報提供	件	目標値	60	63	66	69	72
			実績値	53	76	85	90	92
	ふるさと納税返礼品目数	件	目標値	30	32	43	45	65
			実績値	45	52	63	100	116
	プロモーション事業数	件	目標値	10	12	14	16	18
			実績値	11	13	15	16	18
	SNS等を活用した情報発信	回	目標値	—	—	—	70	75
			実績値	—	—	—	63	109
			目標値					
			実績値					
成果指標	ふるさと納税件数	件	目標値	744	772	805	844	900
			実績値	700	2,088	2,261	1,345	1,288
	シティプロモーション専用ホームページアクセス数	件	目標値	160,000	170,000	90,000	—	—
			実績値	181,551	74,106	71,492	—	—
	シティプロモーションに関する市ホームページアクセス数	件	目標値	—	—	90,000	190,000	200,000
			実績値	—	—	69,957	98,362	95,055
	SNS等の閲覧回数	回	目標値	—	—	—	350,000	375,000
			実績値	—	—	—	412,412	638,844
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市の新たなブランディングに沿ったイベント・拠点を起点に新たな人の流れを創出するとともに、愛着や誇りをもって成長し続けるまちを実現するという方針に沿い、引き続き効果的なプロモーション活動を推進していくとともに、芸術祭などの新たなプロモーション事業の継続を推進する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	47
実施計画事業名	国際化の推進		担当部署名	企画政策課
事業の実施目的 及び概要	外国人を含めたすべての市民が互いの文化や価値観を受け入れ、理解しあいながら、ともにいきいきと暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていくため、日本人の多文化共生意識の醸成や外国人が安心して暮らせる取組等を推進します。			
関連施策	【3-4】 定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市国際化推進方針	
取組方針	国際化の推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			
関係するSDGs	11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした多文化共生推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援 ★国際交流エコマラソンの支援 ★インターナショナルスクールの調査研究	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした多文化共生推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援 ★国際交流エコマラソンの支援 ★インターナショナルスクールの調査研究	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした多文化共生推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援 ★国際交流エコマラソンの支援 ★インターナショナルスクールの調査研究
事業費	2,382千円	2,382千円	2,382千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・国際化推進懇談会を2回実施した。 ・多様な市民を対象とした多文化共生推進講座を開催した。 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動を支援した。 ・職員を対象とした「やさしい日本語」研修を開催した。 ・外国人相談(予約制)を開催した(周知12回、相談実績3件)。 ・外国人市民への生活・行政情報の提供として、NEWSLETTERを発行するとともに、広報いんざいに「外国人のみなさんへ」を掲載するほか、市ホームページにて情報を提供した。 ・日本語教室の活動を支援した。 ・国際交流エコスローマラソンの実施にあたり、後援を行うとともに、認知度向上のための支援を実施した。 ・インターナショナルスクールの調査研究のため、学校経営や授業内容等について現地視察を実施した。	当初予算	2,382,000円
		予算現額	2,382,000円
		決算額	2,144,393円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	国際化推進懇談会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2	2
	多文化共生推進講座の開催	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	6	10	7	7
	職員研修の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	外国人相談の開催周知	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	NEWSLETTER及び「外国人のみなさんへ」の発行	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	24
成果指標	多文化共生推進講座の参加者数	延べ人数	目標値	170	170	170	300	300
			実績値	371	218	289	139	137
	職員研修の参加者数	延べ人数	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	28	26	25	24	27
	国際理解・交流事業の参加者数	延べ人数 (語学講座は実数)	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	288	250	302	315	300
	NEWSLETTERの配布・閲覧件数	件	目標値	2,400	2,410	2,420	3,000	3,000
			実績値	2,955	3,087	3,121	2,729	2,641
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	講座に関して、より効果的な周知方法の検討が必要
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
外国人住民の増加・国籍の多様化が続くことが予想される中、行政手続きや生活情報といった対応が必要となる。 また、言語や文化の違いが地域活動への参加や相互理解の妨げとならないよう多文化理解を進められるよう講座を継続していく。

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・桜の開花状況等についてホームページ等で周知を図るとともに、花見対策として警備員の配置や仮設駐車場、仮設トイレの設置・管理、ごみ処理等を行った。 ・大六天については例年同様に草刈、清掃を行った。また、法面上部の陥没修繕を行った。 ・インフォメーション事業、フォトコンテスト事業等に対する支援として市観光協会に対し補助を行ったが、舟運事業については11月をもって廃止、インフォメーション事業については3月末をもって観光情報館が廃止となった。 ・柏市、我孫子市との3市連携周遊事業として行ったデジタルスタンプラリーには1,663人が参加し、交流人口の増加を図ることができた。 ・木下駅前にぎわい広場活用事業として「印祭サマーフェス」を開催し地域の賑わいの創出及び地域の活性化を図った。 ・千葉市、八千代市、佐倉市等の広域連携事業である千葉うみさとサイン協議会へオブザーバーとして参加した。	当初予算	31,901,000円
		予算現額	31,901,000円
		決算額	27,132,494円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	観光イベント等に係る観光協会との打ち合わせ回数	回	目標値	3	4	5	6	7
			実績値	3	6	6	6	6
	市内外の観光イベント参加回数	回	目標値	3	3	4	4	5
			実績値	5	7	8	7	7
	観光ブック等の配布総数	冊(年)	目標値	6,000	6,000	7,000	12,000	12,000
			実績値	13,200	12,000	15,000	19,000	16,000
	HPやSNS等を活用した情報発信	回	目標値	80	85	90	95	100
			実績値	92	89	108	107	110
	観光モデルコース等の作成	コース(延べ)	目標値	-	1	2	3	3
			実績値	-	1	2	3	4
成果指標	観光入込客数	人	目標値	1,060,000	1,070,000	1,080,000	1,090,000	1,100,000
			実績値	1,110,073	1,200,184	829,105	833,248	893,472
	HPやSNS等の閲覧回数	回	目標値	57,000	58,000	59,000	200,000	205,000
			実績値	155,973	200,125	92,142	234,485	337,923
	観光資源の発掘及び再整備	箇所(延べ)	目標値	-	1	1	2	2
			実績値	-	1	2	1	2
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
芸術祭の開催等を通じて、自然と都市の高い次元での融合を活かした地域色あふれる観光資源を、近隣自治体との広域連携や民間活力との協働により創出し、多様な世代や域外からの来訪者を呼び込み、観光入込客数のさらなる増加及び地域の活性化を図る。

令和7年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	49
1. 事業の概要				
実施計画事業名	良好な土地利用の推進		担当部署名	都市計画課
事業の実施目的 及び概要	都市マスタープランにおいて定めた将来都市像に向け、自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、地区計画制度の活用を通じて、地域ごとに規制項目を定め、良好な都市環境の実現と居住環境の保全を目指します。また、都市計画基本図や都市計画情報等のデータ整備を通じて、地図情報の高度化を図り、市民サービスの向上を目指します。 良好な景観の形成に向けて、景観法・景観条例による届出制度を運用するとともに、市民や事業者との協働による景観まちづくりを推進します。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	都市計画法 印西市都市マスタープラン 印西市景観計画	
取組方針	駅圏機能の強化/地域生活拠点の 機能保全/産業拠点の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 都市と人間の居住地の 持続可能な開発  11 持続可能な都市と コミュニティ  15 気候変動の 持続可能な開発  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・都市計画GISデータ修正、システム保守 ★景観まちづくり市民懇談会の開催 ★景観計画区域内行為の届出制度の運用 ★協働による景観まちづくりの推進	・都市計画GISデータ修正、システム保守 ★景観まちづくり市民懇談会の開催 ★景観計画区域内行為の届出制度の運用 ★協働による景観まちづくりの推進 ・都市計画基礎調査の実施	・都市計画GISデータ修正、システム保守 ★景観まちづくり市民懇談会の開催 ★景観計画区域内行為の届出制度の運用 ★協働による景観まちづくりの推進
事業費	25,258千円	14,877千円	6,194千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	■都市計画地理情報システム整備 ・都市計画GISシステム構築 ■良好な景観形成の推進 ・景観計画区域内行為の届出制度の運用 ・景観まちづくり市民懇談会の開催(1回) ・協働による景観まちづくりの推進 ・景観審議会の開催(4回)	当初予算	25,258,000円
		予算現額	8,163,000円
		決算額	7,923,444円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	景観まちづくり市民懇談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1	1	1	2	1
	都市計画基礎調査	%	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	100	—	—	—	—
	都市計画基本図の修正	%	目標値	—	—	—	100	—
			実績値	—	—	—	100	—
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	景観区域における行為の届出数	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	86	77	69	87	61
	市街化区域人口	人	目標値	82,500	83,500	84,400	85,400	86,300
			実績値	85,115	86,613	86,743	86,505	86,528
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	景観まちづくり市民懇談会の開催数は目標に届かなかったが、良好な景観形成の推進に向けた検討を進めることができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	景観まちづくり市民懇談会の開催数は目標に届かなかったが、良好な景観形成の推進に向けた検討を進めることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
都市計画基礎調査の実施や都市マスタープランの修正により、良好な土地利用の推進を図り、今後も事業を継続していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	50
実施計画事業名	印旛中央地区の市街地形成の支援		担当部署名 都市計画課
事業の実施目的 及び概要	印旛中央地区については、千葉ニュータウンに隣接し、北千葉道路により東京方面や成田国際空港へのアクセスに恵まれた立地条件などを活かし、産業・業務機能及び居住機能を備えたまちづくりが求められており、組合施行による土地区画整理事業の事業化が検討されています。市としても、この地区の都市的土地利用の実現のために、事業化を含めた必要な支援を行っていきます。		
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	土地区画整理法 都市計画法
取組方針	開発検討拠点の事業促進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	9 持続可能な都市の発展をつくる  11 安全で公平なまちづくり  15 自然の豊かさを保ち、元気に暮らす  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・土地区画整理組合の設立に対する支援	・土地区画整理組合の設立に対する支援	・土地区画整理組合の設立に対する支援
事業費	2,245千円	未定	未定

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	これまで印旛中央地区の事業化に向けて検討を行ってきた印旛中央土地区画整理事業発起人会が令和7年3月に解散したことを受け、新たな本地区の事業化に向けて、現時点の本地区の需要や最適な事業手法、事業化へのアイデアについて調査するため、様々な形でまちづくりに関わる民間企業27者を対象にサウンディング調査を実施した。 また、地権者説明会を3回開催し、本地区の事業化に向けたこれまでの検討経緯や企業サウンディング調査結果の報告のほか、今後の事業化に向けた市の考え等について説明を行った。	当初予算	2,245,000円
		予算現額	4,526,000円
		決算額	1,714,535円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地権者説明会(会の総会含む)の実施	回	目標値	2	1	1	2	2
			実績値	1	0	0	1	3
	発起人会又は組合設立準備委員会の会議開催	回	目標値	5	5	6	—	—
			実績値	9	8	1	3	—
	発起人会の会議開催	回	目標値	—	—	—	8	—
			実績値	—	—	—	2	—
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	組合設立準備委員会の発足		目標値	発足	—	—	—	—
			実績値	発足	—	—	—	—
	土地区画整理組合の発足(事業認可取得)		目標値	—	—	発足	—	—
			実績値	—	—	—	—	—
	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	—	—	5	10	15
			実績値	—	—	—	—	—
	土地区画整理組合の発足(組合設立の認可取得)	—	目標値	—	—	—	発足	—
			実績値	—	—	—	—	—
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地権者説明会を3回開催し、本地区の事業化に向けたこれまでの検討経緯や企業サウンディング調査結果の報告のほか、今後の事業化に向けた市の考え等について説明を行った。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	印旛中央地区の新たな事業化検討としてゼロからのスタートとなったことから、定められている事業進捗率には至らなかったものの、民間企業を対象にサウンディング調査を実施するなど、本地区の事業化に向けて着実に進めている。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	検討の進捗状況について地権者説明を行いながら事業化に向けて着実に進めている。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
印旛中央地区の新たな事業化に向け、令和7年度に実施した企業サウンディング調査を踏まえ、令和8年度に事業化検討業務委託を発注する。また、本委託内にて事業計画素案を作成し、令和10年度の事業化パートナーの公募及び決定を目指す。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	51
実施計画事業名	地籍調査の推進		担当部署名 道路管理課
事業の実施目的 及び概要	土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等を図るため、地籍調査を実施していきます。		
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	国土調査法 地籍調査事業計画
取組方針	土地保全の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	9 産業と技術革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを  15 陸の豊かさも守ろう  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、 境界立ち会い及び測量と閲覧の実 施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、 境界立ち会い及び測量と閲覧の実 施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、 境界立ち会い及び測量と閲覧の実 施
事業費	76,034千円	85,000千円	85,000千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	当初予定していた第6工区、第7工区、第8工区、第9工区の測量作業等について、おおむね実施することができた。なお、第6工区については、3年目作業が終了したことで、事業完了となった。 ・第6工区(3年目) 地籍図の作成、面積測量、権利者による閲覧等を実施 ・第7工区、第8工区(2年目) 一筆地測量、復元測量、現地調査等を実施 ・第9工区(1年目) 調査図素図作成、地籍調査票作成、事前現地調査、現況測量等を実施	当初予算	76,034,000円
		予算現額	71,138,000円
		決算額	71,082,333円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	説明会の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0	8	3	3	1
	現地調査を実施した筆数	筆	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	894	838	1,891	445	1,000
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	境界同意率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99.7	99.7	98.4	100.0	98.0
	完了工区数(総数)	工区	目標値	1	2	3	5	6
			実績値	1	2	3	5	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	説明会対象の工区面積が少なかったため、説明会開催を1回とした。現地調査を実施した筆数は目標値を上回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	境界同意率、完了工区数について、ほぼ当初の計画どおりに実施することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	令和7年度は、第6工区の県認証依頼まで行うことができ、計画どおり事業を進めることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
地籍調査事業計画に基づき、計画的に地籍調査を実施することは、災害復旧の迅速化や公共事業の円滑化等につながることから、継続的に事業を進めていく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	52
実施計画事業名	災害に強い住まいづくりの促進		担当部署名 開発建築課
事業の実施目的 及び概要	地震災害から市民の生命及び財産を効果的かつ効率的に保護するため、印西市耐震改修促進計画を基に、建築物の耐震化の促進や危険ブロック塀等の除却の促進を図ります。		
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	建築物の耐震改修の促進に関する 法律 印西市耐震改修促進計画 印西市住生活基本計画
取組方針	災害に強い住まいづくりの促進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	11 安全な住みかた を築く 15 自然の豊かさを 守る		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・木造住宅への耐震改修費補助(耐震診断、耐震改修工事、建て替え) ・危険ブロック塀等への除却費補助 ・耐震相談会の開催 ・印西市耐震改修促進計画改定	・木造住宅への耐震改修費補助(耐震診断、耐震改修工事、建て替え) ・危険ブロック塀等への除却費補助 ・耐震相談会の開催	・木造住宅への耐震改修費補助(耐震診断、耐震改修工事、建て替え) ・危険ブロック塀等への除却費補助 ・耐震相談会の開催
事業費	3,264千円	4,110千円	4,110千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断1件、改修工事1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金 1件 ・耐震相談会の開催 3回 ・印西市耐震改修促進計画改定	当初予算	3,264,000円
		予算現額	1,232,000円
		決算額	1,232,000円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	耐震相談会等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	耐震相談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	4	3
			目標値					
			実績値					
成果指標	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件)	件	目標値	3	3	3	3	—
			実績値	2	2	1	9	—
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修設計1件)	件	目標値	1	1	1	1	—
			実績値	0	0	0	0	—
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修工事1件)	件	目標値	1	1	1	1	—
			実績値	0	0	0	0	—
	危険ブロック塀等除却費補助金	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	4	7	3	3	1
	木造住宅耐震改修促進事業補助金(耐震診断)	件	目標値	—	—	—	—	3
			実績値	—	—	—	—	1
	木造住宅耐震改修促進事業補助金(耐震改修工事)	件	目標値	—	—	—	—	1
			実績値	—	—	—	—	1
	木造住宅耐震改修促進事業補助金(建て替え)	件	目標値	—	—	—	—	1
			実績値	—	—	—	—	0

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	補助事業や相談会の周知を広報、市ホームページ、町内会回覧にて行い、相談会については目標のとおり実施した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	危険ブロック塀等除却費補助金及び木造住宅耐震改修促進事業の申請件数は、目標を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	補助事業等の周知、相談会については、ほぼ目標のとおり周知を図ることができたが、補助申請件数が目標を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
木造住宅耐震改修促進事業の広報、、市ホームページでの周知の他、危険ブロック塀等除却費補助金は、所有者に直接補助金の案内を配布するなど周知を図っている。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	53
実施計画事業名	空家等対策の推進		担当部署名 開発建築課
事業の実施目的 及び概要	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼすことを鑑み、印西市空家等対策計画を基に、利活用の促進や管理不全な空家等の解消を図ります。		
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法 印西市空家等対策計画 印西市住生活基本計画
取組方針	空家等対策の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを保ち増進		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・空家等対策協議会の開催 ・空き家リフォーム工事補助 ・空き家バンク成約補助 ・空家等実態調査	・空家等対策協議会の開催 ・空き家リフォーム工事補助 ・空き家バンク成約補助 ・印西市空家等対策計画改定	・空家等対策協議会の開催 ・空き家リフォーム工事補助 ・空き家バンク成約補助
事業費	14,601千円	14,906千円	4,019千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・空家等対策協議会の開催 1回 ・空き家リフォーム工事補助金 2件 ・空家等実態調査を実施した。	当初予算	14,601,000円
		予算現額	7,416,000円
		決算額	7,282,134円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	空き家の適切な管理の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	空き家バンク等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	空き家リフォーム工事補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	0	2	1	2	1
	空き家バンク成約補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	1	0	0	0	0
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	空き家の適切な管理に関して、広報、市ホームページの他、市内ショッピングモール内のデジタルサイネージにて周知した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	空き家リフォーム工事補助金、空き家バンクは、広報、ホームページにて周知を図ったが目標値を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	空き家の利活用を図る目的で令和2年度に創設した2つの補助金は、広報、ホームページの他、関係者に周知を図ったが目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
空家等実態調査により、空家等の状況を把握、所有者へのアンケートを実施し、空家等の管理に関する周知を図る。また、他自治体の取り組みなどを研究し、効果的な事業実施を図りたい。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	54
実施計画事業名	公園の適切な維持管理の推進		担当部署名 公園緑地課
事業の実施目的 及び概要	すべての公園利用者が快適かつ安全で安心して利用できるよう適切な維持管理に努めます。 遊具などの公園施設については、定期的な点検を実施し、安全性の確保や機能の維持を図りつつ、公園施設長寿命化計画に基づき計画的な補修や更新等を行います。 また、市民参加による公園の美化活動への支援を行い、市民と市が一体となったまちづくり活動を推進します。		
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	都市公園法 印西市緑の基本計画 印西市公園施設長寿命化計画
取組方針	公園の適切な維持管理の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	11 社会の持続可能なまちづくりを  15 陸域生態系からの持続可能な開発 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・指定管理者制度の導入・活用の検討 ・公園美化活動への支援	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・指定管理者制度の導入・活用手続き ・公園美化活動への支援	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・指定管理者制度の導入 ・公園美化活動への支援
事業費	1,821,801千円	1,000,000千円	1,000,000千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・125公園、2緑地の遊具等の点検を実施した。 ・公園施設長寿命化計画に基づく改修を13件実施した。その他、園路灯等の修繕を113件、松山下公園野球場グラウンド等の工事を2件実施した。 ・指定管理者制度の導入・活用について、課題等の整理を行い、予定している工事等のスケジュールにより導入時期の見直しを図った。 ・公園美化活動への支援として、管理に必要となる清掃用具等を提供した。	当初予算	1,821,801,000円
		予算現額	1,523,819,000円
		決算額	1,330,361,516円
		翌年度繰越額	72,200,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	遊具等点検回数	回	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	25	25	25	25	25
	公園施設長寿命化計画に基づく改修施設数	件	目標値	7	7	12	2	15
			実績値	7	5	11	2	13
	公園美化団体への参加周知	回	目標値	-	-	-	2	2
			実績値	-	-	-	2	2
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公園施設長寿命化計画の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	70	92	100	87
	市民参加による公園美化団体数	団体	目標値	25	26	27	28	29
			実績値	30	31	31	30	32
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	適切な公園施設の管理を行う。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	適切な公園施設の管理を行う。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	適切な公園施設の管理を行う。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
令和8年度も適切な公園施設の管理を推進する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	55
実施計画事業名	道路網の整備		担当部署名	道路建設課
事業の実施目的 及び概要	駅圏と地域拠点を結ぶ地域間ネットワークを充実するため、印西牧の原駅圏と小林駅圏を結ぶ市道00-031号線の整備を進めます。また、市道00-008号線、市道00-107号線、市道00-116号線、市道00-122号線等の整備を進め道路網の整備を図ります。			
関連施策	【4-3】 道路環境の充実	根拠法令 関連計画	印西市都市マスタープラン	
取組方針	主要幹線道路(国道)と都市幹線道路(県道)の充実/ 都市幹線道路(市道)、補助幹線道路、区画道路の充実			
総合戦略	基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	○市道00-122号線整備事業 ・用地取得等 ○市道竜腹寺線整備事業 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得等 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線 用地取得、道路改良工事 ・市道25-083号線 道路改良工事 ○市道00-031号線整備事業 ・用地取得等 ○市道00-008号線整備事業 ・用地取得等 ○その他市道整備事業 ★北千葉道路建設促進 ★国等に対して要望実施 ★千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス 通り)道路整備事業	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・橋梁詳細設計 ○市道00-107号線整備事業 ・文化財調査 ○市道00-031号線整備事業 ・擁壁工事 ○市道00-008号線整備事業 ・道路改良工事 ○その他市道整備事業 ★北千葉道路建設促進 ★国等に対して要望実施 ★千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス 通り)道路整備事業	○市道00-122号線整備事業 ・交差点改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・橋梁詳細設計 ○市道00-107号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道00-031号線整備事業 ・擁壁工事 ○その他市道整備事業 ★北千葉道路建設促進 ★国等に対して要望実施 ★千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス 通り)道路整備事業
事業費	508,427千円	744,502千円	737,002千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-1-3	道路新設改良費	道路新設改良事業
	7-1-3	道路新設改良費	千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス通り)道路整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道18-045号線(小林駅南口駅前広場等)整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	通学路交通安全対策事業
	7-3-2	街路事業費	都市計画道路新設改良事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	○市道00-122号線整備事業・道路改良工事、用地取得等 ○市道竜腹寺線整備事業 ○市道00-107号線整備事業・用地取得等 ○通学路交通安全対策事業 市道25-054号線・道路改良工事、用地取得等 市道25-083号線・道路改良工事 ○市道00-031号線整備事業 ○市道00-008号線整備事業 ○その他市道整備事業 ★北千葉道路建設促進 ★国等に対して要望実施 ★千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス通り)道路整備事業 用地取得	当初予算	514,565,000円
		予算現額	295,946,000円
		決算額	226,562,258円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市道00-122号線整備事業工事延長	m	目標値	440	840	420	20	—
			実績値	250	400	580	20	—
	市道00-107号線整備事業工事延長	m	目標値	—	—	—	725	725
			実績値	—	—	—	0	0
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線工事延長	m	目標値	—	—	—	145	145
			実績値	—	—	—	200	76
	市道00-008号線整備事業工事延長	m	目標値	—	—	330	—	—
			実績値	—	—	291	0	0
	北千葉道路建設促進要望活動	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	3
成果指標	市道00-026号線延伸区間道路整備事業進捗率	%	目標値	80	100	—	—	—
			実績値	70	95	100	—	—
	市道00-122号線整備事業進捗率	%	目標値	60	75	90	100	—
			実績値	45	50	60	65	70
	市道竜腹寺線整備事業進捗率	%	目標値	20	30	40	60	80
			実績値	20	20	20	20	20
	市道00-107号線整備事業進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	10	20	30	35	40
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	20	40	55	70	100
	市道00-031号線整備事業進捗率	%	目標値	55	60	65	70	75
			実績値	45	50	50	50	50
	市道00-008号線整備事業進捗率	%	目標値	50	70	100	—	—
			実績値	20	30	88	88	88

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値をやや下回ったが、引き続き事業の進捗を図っていく。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値をやや下回ったが、引き続き事業の進捗を図っていく。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	総合的な事業実績はやや下回ったが、引き続き事業の進捗を図っていく。

今後の方向性や課題等

引き続き、各事業の完了に向け要望活動、用地取得に取り組む。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	56
実施計画事業名	道路などの適切な維持管理の推進		担当部署名	道路維持課
事業の実施目的 及び概要	市が管理する道路などの適切な維持管理を推進し、安全で快適な道路環境を保ちます。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	道路法 橋梁長寿命化修繕計画 印西市道路舗装修繕計画	
取組方針	道路の維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう  11 持続可能な都市を築こう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ★ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃	★市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ★ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃	★市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ★ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃
事業費	1,431,340千円	1,352,628千円	1,331,078千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・道路パトロール 週5日、255日/年 ・ふれあいロード美化活動への支援 21団体に花苗支給等 ・街路樹等の維持管理 10地区に分割し除草及び樹木剪定等を実施 ・舗装修繕工事 L=2, 326m ・橋梁定期点検 N=13橋 ・橋梁補修工事 N=1橋 ・側溝整備工事 L=288m ・側溝等の清掃 L=4, 233m	当初予算	1,431,340,000円
		予算現額	1,431,316,000円
		決算額	1,398,961,134円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242	243	243	243	255
	点検実施橋梁数	橋	目標値	75	56	50	11	13
			実績値	72	45	64	11	13
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	舗装修繕延長	m	目標値	1,400	680	1,595	2,093	2,759
			実績値	3,974	4,957	4,087	2,086	2,326
	橋梁長寿命化修繕実施数	橋	目標値	—	1	3	7	8
			実績値	1	2	4	4	1
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	橋梁長寿命化修繕では、規模の大きい橋梁は修繕完了までに時間を要することや、廃橋の検討に時間を要するため、目標値を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	引き続き、各種計画に基づき、修繕等を計画的に進めていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
安全で快適な道路環境を保つため、舗装の破損状況に応じて順次必要な修繕を進めるとともに、道路パトロールや市民からの情報提供などにより、事故に直結する破損個所の対応に努める。橋りょうについては、継続的に点検を実施し、橋りょうの健全度に応じて順次必要な修繕を進める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	57
実施計画事業名	水道の安定供給		担当部署名	水道課
事業の実施目的及び概要	将来に渡り安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水需要を的確に把握し、受水量の確保や水道施設の計画的な整備・更新を進めます。			
関連施策	【4-4】上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	水道法 印西市水道ビジョン 印西市水道事業経営戦略	
取組方針	水道の安定供給/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう 6 安全な水とトイレを世界中に 14 海の豊かさを守ろう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項) 単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・配水整備工事 吉田地先 大森地先 ・水道管路施設点検・維持管理業務 木下東地区 ・配水場の設備更新	・配水整備工事 吉田地先 小林地先 ・水道管路施設点検・維持管理業務 大森地区 ・配水場の設備更新	・配水整備工事 吉田地先 ・水道管路施設点検・維持管理業務 瀬戸地区 ・配水場の設備更新
事業費	382,349千円	550,000千円	450,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	【水道事業会計予算(収益的支出)】		
	1-1-2	配水及び給水費	
	【水道事業会計予算(資本的支出)】		
	1-1-1	建設工事費	
	1-1-3	建設事務費	

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	吉田地区配水整備 L=1,209.7m 大森地区配水整備 L=448.5m 印西地区配水管洗浄業務委託(漏水調査) L=3.6km	当初予算	382,349,000円
		予算現額	280,459,100円
		決算額	244,313,414円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	吉田地区配水管整備延長	m	目標値	708	406	996	1,047	1,396
			実績値	761	777	28	1,086	1,210
	水道の漏水調査	km	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	1	4.5	4.5	4.5	3.6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市営水道の普及率	%	目標値	70.70	71.00	71.30	71.60	72.00
			実績値	73.38	73.72	74.40	75.60	75.80
	水道の普及率 (千葉県・印西市・長門川水道 企業団など)	%	目標値	84.10	84.30	84.50	84.70	85.00
			実績値	86.70	87.80	88.30	89.30	90.50
	吉田地区整備率	%	目標値	9	15	28	43	62
			実績値	10	21	21	36	53
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	吉田地区の工事は、計画内容の精査により施工延長の減となり、漏水調査は、作業に伴う影響範囲を考慮して減としているため、目標値をやや下回っているものの、現場状況に合わせて適正に進めることができています。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	吉田地区の整備および漏水調査は、現場状況に応じて計画を変更しているため、概ね、適正に進めることができています。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も水道の安定供給に努めるとともに、計画的に配水管の整備を進め、給水区域内の未普及地域の解消を図る。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	58
実施計画事業名	計画的な下水道の整備		担当部署名	下水道課
事業の実施目的及び概要	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質保全に資するため、汚水の未整備地区の解消を進めます。 また、市街地の雨水排水対策として、公共下水道（雨水）の整備・充実を図り、浸水防除に努めます。 さらに、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るため、下水道施設全体を一体的に捉え、ストックマネジメント計画や総合地震対策計画等に基づく対策を進めていきます。			
関連施策	【4-4】上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	下水道法 手賀沼流域関連公共下水道事業計画 印旛沼流域関連公共下水道事業計画 公共下水道ストックマネジメント計画 公共下水道総合地震対策計画	
取組方針	計画的な下水道の整備/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	公共下水道施設整備事業 ・次期中間処理施設汚水排水実施設業務委託 公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設点検調査業務委託 ・管路施設詳細設計業務委託 ・老朽化対策工事 公共下水道総合地震対策事業 ・耐震診断業務委託 ・管路施設地震対策工事 ・マンホールトイレ整備工事	公共下水道施設整備事業 ・次期中間処理施設下水道整備工事 公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設点検調査業務委託 ・管路施設詳細設計業務委託 ・老朽化対策工事 ・ポンプ場設備更新工事 公共下水道総合地震対策事業 ・地震対策詳細設計業務委託 ・管路施設地震対策工事 雨水排水対策施設整備事業 ・将監川1号幹線補修工事 公共下水道計画等 ・事業計画認可変更業務委託	公共下水道施設整備事業 ・次期中間処理施設下水道整備工事 公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設点検調査業務委託 ・老朽化対策工事 ・ポンプ場設備更新工事 公共下水道総合地震対策事業 ・地震対策詳細設計業務委託 ・管路施設地震対策工事
事業費	630,225千円	762,000千円	602,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	【下水道事業会計予算(収益的支出)】		
	1-1-4	総係費	
	【下水道事業会計予算(資本的支出)】		
	1-1-1	汚水管路建設改良費	
	1-1-2	雨水管路建設改良費	
	1-1-3	ポンプ場建設改良費	
	1-1-5	建設事務費	

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	【公共下水道施設整備事業】 ・管路施設実施設計業務（次期中間処理施設整備事業） 一式 ・管路施設特別重点調査業務 12.3km 【公共下水道ストックマネジメント事業】 ・管路施設点検調査業務 11.2km ・管路施設改築実施設計業務 一式 ・マンホール蓋改修工事 118箇所 ・管路施設補修工事 195.6m ・管路施設改築工事 23.6m 【公共下水道総合地震対策事業】 ・管路施設耐震診断業務 一式 ・マンホールトイレ整備工事 10基 ・マンホール管口可とう化工事 95箇所 ・マンホール浮上防止対策工事 1箇所	当初予算	630,225,000円
		予算現額	676,005,000円
		決算額	531,361,682円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	工事発注数	本	目標値	3	5	4	2	3
			実績値	3	5	6	3	3
	測量・詳細設計等業務委託発注数	本	目標値	1	—	2	3	2
			実績値	2	2	1	3	3
	岩戸地区面整備面積	ha	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
			実績値	1.0	0.6	0.0	0.0	0.0
	中継ポンプ場設備改築数	箇所	目標値	1	1	—	1	1
			実績値	1	1	—	0	0
			目標値					
			実績値					
成果指標	工事発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	150	150	100
	測量・詳細設計等業務委託発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	—	100	100	100
			実績値	100	200	50	100	150
	岩戸地区面整備率	%	目標値	59	60	61	62	63
			実績値	62	63	63	63	63
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	令和4年度に未普及対策(汚水)の整備方針を変更し、老朽化対策や地震対策を優先的に進めた。中継ポンプ場設備改築数は、設計業務等の遅れにより計画が延伸となっていたが、令和8年度に実施予定である。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	令和4年度に未普及対策(汚水)の整備方針を変更し、老朽化対策や地震対策を優先的に進めた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	岩戸地区の未普及対策(汚水)については目標を下回ったが、下水道事業の社会動向等を考慮し、老朽化対策及地震対策事業を優先的に取り組んだ結果であり、工事・設計等発注率は目標を達成している。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・老朽化している下水道施設への対応や、災害時における機能確保を図るため、老朽化対策事業および地震対策事業を計画的に推進する。 ・未普及対策(汚水)については、市街化区域における整備が概成していることから、今後は市街化調整区域で浄化槽による汚水処理が行われている下水道事業計画区域を対象に、地域ニーズや汚水処理の実態を勘案し、効率性および経済性に配慮しながら適切な時期に整備を進める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	59
実施計画事業名	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成	担当部署名	交通政策課	
事業の実施目的 及び概要	市民の移動ニーズや地域の特性を踏まえ、路線バスとコミュニティバス「ふれあいバス」などの再編を進め、バス交通の効率化と充実を図り、利用者の負担が少なく利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを目指します。 また、高齢者や最寄りのバス停が自宅から離れており利用することが困難な方の移動手段は、市民のニーズや地域の状況に応じて、市、事業者及び関係機関が連携・協力して、移動手段を確保できるよう検討します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	道路運送法 地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 安全と強健な社会を築くため 持続可能な社会をつくる  11 安全と強健な社会を築くため 持続可能な社会をつくる 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・ふれあいバスの運行(既存6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ★タクシー利用助成事業の拡充 ・印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ★印西市地域公共交通計画の進捗管理、見直し ★ふれあいバス運行ルートの再編	・ふれあいバスの運行(既存6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ★タクシー利用助成事業の検証 ★印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理	・ふれあいバスの運行(既存6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ★タクシー利用助成事業の検証 ★印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理
事業費	270,912千円	290,912千円	290,912千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・地域公共交通計画を改訂した。 ・路線バス事業者(六合路線、宗像路線、印旛学園線、小林線)への路線バス運行経費の一部を対象に補助金交付した。 ・路線バス事業者(六合路線、宗像路線、印旛学園線、3路線)へフレアイカの適用を拡大した。 ・印西市タクシー利用に係る地域公共交通助成実証実験の対象エリアを市街化調整区域全域に拡大した。 ・バス停付近(西の原小学校、小倉台図書館、千葉NT中央北(上下線))にベンチを計4基設置した。 ・ふれあいバスを6ルート58便から7ルート74便に再編した。	当初予算	270,912,000円
		予算現額	296,178,000円
		決算額	270,884,059円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市地域公共交通計画に基づく利用促進策	項目	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	印西市地域公共交通計画に基づくバス待ち環境整備	箇所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	3	1	1	1	4
	ふれあいバスのルート数	ルート	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6	7
	ふれあいバス運行ルートの再編	項目	目標値	—	—	—	—	1
			実績値	—	—	—	—	1
			目標値					
			実績値					
成果指標	外出時の自家用車使用率	%	目標値	75	75	75	70	70
			実績値	75	75	75	75	75
	ふれあいバス利用者数	人	目標値	247,000	248,000	249,000	250,000	251,000
			実績値	237,528	261,596	276,498	275,902	299,682
	路線バス(補助路線)利用者数	人	目標値	240,000	244,000	248,000	252,000	256,200
			実績値	207,082	216,847	216,906	218,592	231,601
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	ふれあいバスを6ルート58便から7ルート74便に大規模再編した。また、市街化調整区域にはタクシー利用助成の実施した。さらに路線バス3路線へのフレアイカ適用など利便性向上策を実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ふれあいバスや補助路線バス、フレアイカの対象拡大等によりバス利用が増加した。また、バス再編によって民間路線バスとの重複区間を約2.0km減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	バス再編やタクシー助成等により、公共交通ネットワークの面的な充実を図った。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
再編された新路線網の利用状況や収支率を継続的にモニタリングしていく。 また、持続可能性と利便性のさらなる向上を図るため、公共交通計画に基づき、バス・タクシーの利便性向上及び経営の安定性確保を目指す。 交通制約者対策として新たなデマンド交通などそれぞれの地域に適した補完交通の導入を検討する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	60
実施計画事業名	鉄道の利便性の向上		担当部署名	交通政策課
事業の実施目的 及び概要	市内の鉄道は、2路線5駅からなり、JR成田線においては、沿線自治体で組織する成田線活性化推進協議会や千葉県JR線複線化等促進期成同盟での活動をとおり、JR成田線の増発や始発電車に合わせた券売機やエレベーターの稼働など利便性と快適性の向上を目指します。 また、北総線においては、千葉県、沿線自治体、鉄道事業者で組織する北総線沿線地域活性化協議会での活動をとおり、イベントの開催や後援により、鉄道利用者の増加を目指し沿線地域全体の活性化を図るとともに、他社と比較して高い運賃を引下げ、利用者負担を軽減し、更なる利便性の向上を目指します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	北総線・成田スカイアクセスのさらなる利便性の向上/JR成田線の利便性と快適性の向上			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 社会と性別平等 働きかたをつくり変える 11 包摂的かつ持続可能な都市づくり まちづくりをすすめる			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本首都圏本部及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 〔北総線〕 ★印西牧の原駅開業30周年関連事業として、関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本首都圏本部及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動及び成田線開通125周年記念事業を実施 〔北総線〕 ★関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本首都圏本部及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 〔北総線〕 ★関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。
事業費	10,302千円	5,712千円	2,625千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・成田線活性化推進協議会において、令和7年7月9日にJR東日本首都圏本部、令和7年11月4日に千葉支社に対し、首長等による成田線の要望活動を行った。沿線活性化事業としては、令和7年5月17日・18日と10月4日・5日に両国駅～布佐駅間を運行するB.B.BASEを実施し、347人のサイクリストが参加した。「駅からハイキング」については、令和7年11月28～30日に安食駅～下総松崎駅をコースに実施し202人が参加、令和8年3月27～29日に布佐駅～利根町をコースを実施し422人が参加した。また、令和7年12月13日には成田駅周辺で成田線沿線地域クリーンアップ大作戦2025を実施し24人が参加した。 ・印西牧の原駅開業30周年記念として、北総鉄道と連携し、「ほくそう制服電車いんザイ君」ぬいぐるみを1,000体作成、販売した。 ・ほくそう春まつりが令和7年4月20日に開催され延べ28,000人が参加した。市ではダーツゲーム「ダーツDEゲッツ」を実施し、延べ800人が参加した。 ・北総線沿線地域活性化協議会による沿線活性化トレインを令和7年7月15日～令和8年2月28日まで運行し、うち2両において印西市PRポスターを掲出し市の魅力発信を行った。	当初予算	10,302,000円
		予算現額	10,302,000円
		決算額	8,458,694円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	成田線活性化推進協議会のイベント実施(駅からハイキング)	回	目標値	4	1	1	1	2
			実績値	3	2	3	2	2
	成田線活性化推進協議会のイベント参加人数	人	目標値	4,000	1,000	1,000	1,100	1,200
			実績値	1,872	1,094	1,322	735	995
	北総線沿線地域活性化協議会の後援事業	事業	目標値	15	15	15	15	20
			実績値	2	8	21	22	18
	ほくそう春まつり参加者数	人	目標値	12,000	12,000	21,000	22,000	24,000
			実績値	—	20,000	23,000	27,000	28,000
成果指標	木下駅乗降客数	人/日	目標値	4,100	4,100	4,150	4,200	4,250
			実績値	3,406	3,636	3,688	3,698	未確定
	小林駅乗降客数	人/日	目標値	3,900	3,900	3,950	4,000	4,050
			実績値	3,066	3,190	3,142	3,104	未確定
	千葉ニュータウン中央駅乗降客数	人/日	目標値	29,000	29,500	30,000	31,000	32,000
			実績値	23,286	26,042	27,525	28,651	29,643
	印西牧の原駅乗降客数	人/日	目標値	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500
			実績値	12,412	14,526	15,974	16,549	17,192
	印旛日本医大駅乗降客数	人/日	目標値	6,300	6,350	6,400	6,450	6,500
			実績値	4,864	5,734	6,629	7,110	7,674

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	成田線及び北総線沿線活性化事業等の実績による。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・成田線については、ダイヤ改正による増発増便や接続改善、駅施設設備の改善に向け、要望活動を実施するとともに、JRや成田線活性化推進協議会の沿線自治体と連携して沿線地域の活性化に取組み、利用者の増加と利便性の向上に努めていく。 ・北総線については、鉄道事業者や北総線沿線地域活性化協議会の沿線自治体と連携し、将来的な普通運賃のさらなる値下げと沿線地域の活性化に取組み、利用者の増加と利便性の向上に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	61
実施計画事業名	美しく快適な環境づくりの推進		担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的 及び概要	ゴミゼロ運動やクリーン印西推進運動などの環境美化活動を通じて、市、市民、事業者などが一体となり、環境美化に対する意識の向上を図ります。 また、歩行喫煙・ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、歩行喫煙、タバコ・空き缶などのポイ捨て行為の取り締まりや、引き続き啓発活動を実施することで、マナーの向上を推進します。			
関連施策	【4-6】快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市歩行喫煙ポイ捨て等防止条例 及び同条例施行規則	
取組方針	美しく快適な環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 3 3 3 6 6 6 6 11 11 11 11 12 12 12 12 14 14 14 14 15 15 15 15 17 17 17 17			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対しての指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対しての指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対しての指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施
事業費	5,311千円	5,311千円	5,311千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・職員による歩行喫煙・ポイ捨てパトロールを実施した。(212日、30件指導) ・駅頭での啓発活動を2日実施した。 ・啓発物にて、喫煙及びポイ捨て禁止の啓発を38日実施した。 ・クリーン印西推進運動を通年で実施し、154団体により15,410kgが回収された。 ・ゴミゼロ運動を5月25日に実施し、145団体により14,270kgが回収された。	当初予算	5,311,000円
		予算現額	4,781,000円
		決算額	4,120,372円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員によるパトロール日数 (歩行喫煙・ポイ捨て)	日	目標値	192	192	192	192	192
			実績値	225	182	173	169	212
	(歩行)喫煙及びポイ捨て等防 止の啓発活動(車両広報・駅頭 啓発)	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	73	43	51	37	38
	クリーン印西推進運動等の啓 発活動(広報紙・HP・自治会長 説明会等)	回	目標値	3	3	3	5	7
			実績値	7	7	7	7	7
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	(歩行)喫煙及びポイ捨て指導 件数(年)	件	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	79	112	111	89	30
	クリーン印西推進運動参加団 体数	団体	目標値	155	157	159	161	163
			実績値	150	146	161	165	154
	ゴミゼロ運動参加団体数	団体	目標値	190	191	192	193	194
			実績値	中止	135	151	158	145
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	指導件数の減は、日中、駅周辺は通行人も少なく、指導よりも散乱ごみ清掃に時間を費やしたことによるもので、今後は、指導時間を見直したい。各環境美化運動への参加団体数は減少したが、総回収量は増加し、一定の成果はあったものとする。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	同上

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
各環境美化運動については、新規参加団体の増加が図られるよう周知に努めながら、引き続き市民、事業者の協力の下、実施していく。 喫煙・ポイ捨て指導は、パトロール・指導体制を再構築し、引き続き市民等のマナー向上に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	62
1. 事業の概要				
実施計画事業名	不法投棄防止対策の強化		担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的 及び概要	不法投棄されにくい環境にすることが重要であることから、監視カメラの設置場所を状況により随時見直すことや幅広い時間帯で不法投棄防止パトロールを実施することにより、不法投棄の抑止に努めます。			
関連施策	【4-6】快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
取組方針	不法投棄防止対策の強化			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  6 安全な水とトイレ を世界中に  11 住み続けられる まちづくりを  12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさ を守ろう  15 陸の豊かさも 守ろう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去
事業費	7,146千円	7,146千円	7,146千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・委託業者、市職員による日中・夜間の監視パトロールを合計で343回実施した。 ・不法投棄監視カメラ85台を運用した。(警察への撮影提出実績1件) ・不法投棄70件を確認し対処した。	当初予算	7,146,000円
		予算現額	5,971,000円
		決算額	5,349,570円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員による不法投棄監視パトロール(日中・夜間)	回	目標値	100	100	100	195	195
			実績値	195	237	248	244	243
	委託による不法投棄監視パトロール	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	103	100	100	100	100
	広報紙による啓発	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	1
	不法投棄監視カメラの運用	台	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	85	85	85	85	85
			目標値					
			実績値					
成果指標	不法投棄確認件数(年)	件	目標値	150	145	140	120	100
			実績値	112	92	78	73	70
	市民等からの不法投棄通報件数	件	目標値	60	55	50	45	40
			実績値	41	46	30	35	45
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
不法投棄防止対策は、これまで実施している対策を継続して、粘り強く実施していくことが重要であることから、適宜、発生状況を踏まえ、事業内容の見直しを図りながら、引き続き各種事業等を実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	63
実施計画事業名	環境汚染防止対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	・地下水汚染が確認されている浦部地区の汚染除去対策・効果判定業務の実施及び小林地区の汚染の確認のための水質調査並びに浄化対策の検討を実施します。また、竹袋焼却場跡地の廃棄物が、周辺環境へ影響を及ぼすことが無いよう、適切なモニタリングを実施します。 ・東日本大地震に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による汚染について、市民への適切な情報提供を実施します。 ・不適切な猫の飼育や飼い主のいない猫は周辺の衛生環境の悪化につながるため、飼い主のいない猫の繁殖防止のために不妊去勢手術費用を一部助成し個体数の抑制を図ります。			
関連施策	【4-6】快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境保全条例及び同条例施行規則、共同命令適用以前に設置された一般廃棄物最終処分場の埋立終了に係る指導指針、放射性物質汚染対処特別措置法、子ども・被災者支援法	
取組方針	環境汚染防止対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  6 安全な水と 衛生を確保  11 住み続けられる まちづくりを  12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさ を守ろう  15 陸の豊かさ を守ろう  17 パートナーシップ で目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	〈地下水汚染対策〉 ・浦部地区 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 ・小林地区 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 ・竹袋焼却場跡地 モニタリング環境調査の実施 〈放射線調査〉 大気中放射線量等のモニタリング調査 〈地域猫活動〉 地域猫活動の普及啓発 不妊去勢手術費の一部助成 〈ペット霊園〉 (仮称)ペット霊園・火葬場に関する条例の制定	〈地下水汚染対策〉 ・浦部地区 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 ・小林地区 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 ・竹袋焼却場跡地 モニタリング環境調査の実施 〈放射線調査〉 大気中放射線量等のモニタリング調査 〈地域猫活動〉 地域猫活動の普及啓発 不妊去勢手術費の一部助成 〈ペット霊園〉 (仮称)ペット霊園・火葬場に関する条例の運用	〈地下水汚染対策〉 ・浦部地区 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 ・小林地区 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 ・竹袋焼却場跡地 モニタリング環境調査の実施 〈放射線調査〉 大気中放射線量等のモニタリング調査 〈地域猫活動〉 地域猫活動の普及啓発 不妊去勢手術費の一部助成 〈ペット霊園〉 (仮称)ペット霊園・火葬場に関する条例の運用
事業費	26,702千円	26,702千円	26,702千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-5	環境衛生費	犬猫適正飼育推進事業
	4-1-6	環境保全費	地下水汚染対策事業
	4-1-6	環境保全費	焼却場等跡地環境対策事業
	4-1-6	環境保全費	放射線対策事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・浦部地区の汚染源の観測井及び周辺民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化を実施。浄化は少しずつではあるが成果が出ている。 ・小林地区の汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査を実施。汚染が拡大していないことを確認している。 ・竹袋焼却場跡地のモニタリング調査では、健康に被害のない結果が報告されている。 ・学校、公園等137施設で大気中放射線量等のモニタリング調査を実施し、全ての施設で基準値の範囲内の結果を確認した。 ・不妊去勢手術費を、オス55匹、メス96匹、墮胎メス57匹、合計208匹に助成した。 ・(仮称)ペット霊園・火葬場に関する条例の制定に向けた検討を行った。	当初予算	26,702,000円
		予算現額	27,131,000円
		決算額	24,508,279円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	浦部地区地下水汚染除去対策	試料	目標値	130	130	—	—	—
			実績値	144	144	—	—	—
	小林地区地下水汚染機構解明モニタリング	試料	目標値	30	30	—	—	—
			実績値	30	27	—	—	—
	浦部地区地下水汚染モニタリング調査	箇所	目標値	—	—	18	18	18
			実績値	—	—	18	18	18
	小林地区地下水汚染モニタリング調査	箇所	目標値	—	—	10	10	10
			実績値	—	—	9	9	9
	竹袋焼却場跡地調査箇所数	箇所	目標値	14	14	14	14	14
			実績値	14	14	14	14	14
成果指標	地下水汚染除去地点(浦部地区)	箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2
	地下水汚染基準値内地点割合(浦部地区)	%	目標値	—	—	100	100	100
			実績値	—	—	89	89	94
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	浦部地区の調査地点18カ所のうち1カ所から基準値を超えた数値の汚染物質が検出されているので引き続き浄化及びモニタリングを実施していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、汚染の除去が進んだ際には、事業の完了を検討していく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	64
1. 事業の概要			
実施計画事業名	鳥獣被害対策の推進		担当部署名 環境保全課
事業の実施目的 及び概要	鳥獣による農林業被害や生活環境被害が発生しているため、状況に応じた対策を実施し、被害の低減を図っていきます。		
関連施策	【4-6】快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 印西市鳥獣被害防止計画
取組方針	鳥獣被害対策の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任、つかう責任 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリーシップで目標を達成しよう		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

單位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ★地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止	★イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ★地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止	★イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ★地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止
事業費	41,085千円	42,052千円	44,896千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・有害鳥獣の捕獲数 イノシシ1,194頭、アライグマ153匹、ハクビシン83匹、タヌキ148匹、カラス等鳥類5羽。 ・防護柵3,120mを自力施工で設置した。 ・生息環境管理として、9団体が耕作放棄地等の草刈りを実施した。 ・地域ぐるみの鳥獣被害対策として、既存地域対策会(4地域)及び新規設立対策会(造谷・松虫)へのイノシシ捕獲の支援のほかイノシシ被害が多い地区に対策方法等の説明会等を実施した。 ・狩猟免許取得に係る助成金について11名に助成し、捕獲従事者を確保した。 ・ムクドリによる生活環境被害の減少対策として、6月から10月に千葉ニュータウン駅周辺の街路樹に集まるムクドリを器具を使用し被害が少なくなるよう追い払いを実施した。 ・コブハクチョウによる農作物被害防止対策として、水田に侵入したコブハクチョウの追い払い方法を耕作者に指導した。	当初予算	41,085,000円
		予算現額	42,699,000円
		決算額	39,549,626円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	イノシシ用電気柵設置距離数	m	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	30,500	20,600	8,900	15,165	3,120
	捕獲従事者数(有資格者)	人	目標値	80	85	90	95	100
			実績値	65	65	75	75	86
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	イノシシ捕獲頭数	頭	目標値	800	900	1,000	1,000	1,000
			実績値	733	1,064	1,122	957	1,194
	小型獣(アライグマ・ハクビシン・タヌキ)捕獲数	匹	目標値	400	500	500	500	500
			実績値	320	343	305	357	384
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	D 目標値を下回る	電気柵の設置要望箇所が、小規模な農地であったため、目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
地区(地域)の対策会も増加しており、防護対策、生息環境管理対策及び駆除体制の強化を図るため、今後も継続して支援等を実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号		95	
1. 事業の概要			
実施計画事業名	環境保全意識の高揚と自然と触れ合う機会の充実	担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	豊かな自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりや担い手の育成を図ります。 また、市民自らが地域の自然を守っていく意識を高め、自然に親しむための市民参加型の里山保全活動・自然観察会等を実施し、環境について学ぶ機会を提供し、市民の自然への関心を高め、環境保全意識の高揚を図ります。併せて、開発や外来種の侵入により在来の生物や生態系に大きな影響を及ぼしていることから、生物多様性を守るための取り組みを推進します。		
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市市民の森の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 印西市環境基本計画
取組方針	自然の保護、保全体制の充実/ 自然を知り、自然と触れ合う機会の充実		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を 6 安全な水とトイレ を世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも 経済成長も 9 豊かさと包摂的成長 11 持続可能な都市を 築きつくり 12 つくも買ひ つなぐ循環 13 気候変動に 適応する 14 海の豊かさ を増やす 17 パートナリシップで 目標を達成しよう		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

單位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・自然環境学習(いんざい自然探訪・里山学校等)の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の維持管理及び保全 ★武西の里山保全と調査 ・大森・別所の森(ホタル等)保全 ・自然環境調査の実施(前期) ・生物多様性地域戦略策定準備 ・特定外来生物防除業務 ★里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業 ★武西の里山等OECM登録	・自然環境学習(いんざい自然探訪・里山学校等)の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の維持管理及び保全 ★武西の里山保全と調査 ・大森・別所の森(ホタル等)保全 ・自然環境調査の実施(後期) ・生物多様性地域戦略策定 ・特定外来生物防除業務 ★里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業	・自然環境学習(いんざい自然探訪・里山学校等)の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の維持管理及び保全 ★武西の里山保全と調査 ・大森・別所の森(ホタル等)保全 ・生物多様性地域戦略策定 ・特定外来生物防除業務 ★里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業
事業費	28,038千円	30,200千円	30,200千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・武西の里山における保全活動等が自然共生サイトに認定された ・いんざい里山グリーンインフラ推進協議会が設立され、市民団体や研究機関等とグリーンインフラ施策についての検討や庁内ワークショップを行った ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・いんざい自然探訪10回 (ホテルの鑑賞会、ザリガニ釣り体験、里山学校4回、里山さんぽ、あおぞら講座、モグリウムワークショップ、田んぼでカエル調査) ・武西の里山の調査・モニタリング56回、保全活動18回 ・草深の森保全業務 5回 ・大森・別所の森保全業務 3回 ・政策アドバイザー(グリーンインフラアドバイザー)の任用 ・グリーンインフラ庁内検討会の開催(3回実施) ・LMC(仮称ランドスケープマネジメントセンター)設立に向けた検討、調整	当初予算	28,038,000円
		予算現額	23,763,000円
		決算額	22,433,580円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	草深の森保全回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	5	5	5	5
	武西の里山保全回数	回	目標値	6	6	6	6	10
			実績値	7	7	7	5	18
	別所・大森の森保全回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	5	5	6	4	3
	いんざい自然探訪実施回数	回	目標値	—	—	5	5	5
			実績値	—	—	6	6	10
	草深の森のPR(広報・HP等)	回	目標値	—	—	5	5	5
			実績値	—	—	5	4	6
成果指標	草深の森来場者数(年間)	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,900	2,000
			実績値	1,845	1,707	1,713	2,094	2,116
	いんざい自然探訪参加者数(延人数)	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	33	80	107	84	371
	別所・大森の森ゲンジボタル個体数	個体	目標値	—	—	215	220	225
			実績値	—	—	315	435	209
	別所・大森の森ヘイケボタル個体数	個体	目標値	—	—	25	25	30
			実績値	—	—	—	20	30
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
概ね目標値を達成しており、事業実績としては、一定の成果が見られるため、全体として現行の事業体系で推進していくとともに、グリーンインフラ推進組織として設立予定のLMC(仮称ランドスケープマネジメントセンター)と連携し、さらなる展開を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	66
実施計画事業名	ごみの減量化と資源化の推進	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的 及び概要	市民・市・事業者の連携によるごみの減量化・再資源化に向けて取り組み、資源循環型社会の実現を目指します。 また、ごみの適正な処理のため、印西地区環境整備事業組合、印西地区衛生組合の既存処理施設の維持管理及び新たな処理施設の建設に、構成市町と連携して取り組みます。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	第3次印西市ごみ減量計画 印西地区ごみ処理基本計画(令和5年3月)	
取組方針	ごみの減量化と資源化の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 気候変動に 適応を図る 6 安全な水とトイレ を世界中に 7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに 8 働きがいも 経済成長も 9 質の高い インフラを 整備する 11 住み続け られるまち づくりを 12 つくる 消費 の循環 13 気候変動に 適応を図る 14 海の豊かさ を増やす 17 パートナリ シップで 目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員の活動 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員の活動 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員の活動 ・いんざい環境フェスタ等イベント
事業費	23,658千円	23,658千円	23,658千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・「広報いんざい」に、毎月ごみ分別の記事掲載 ・YOUTUBEに『ごみのことをおしえてブンベツくん(プラスチックの出し方が変わりました編・リチウムイオン電池を回収します編)』を公開 ・生ごみ処理容器等購入補助金(113世帯交付) ・有価物集団回収奨励金事業(93団体・約1,131トン回収) ・ごみ減量・資源化出前講座(町内会等12回、延べ270人参加) ・リサイクル情報広場事業(10件譲渡) ・廃棄物減量等推進員の任命(98人) ・いんざい環境フェスタ(6月7日(土)、約1,000人来場) ・おさがりマルシェ(10月4日(土)、87人来場、約244 kg譲渡) ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」(延べ17,583件DL(前年度比+1,946件)) ・廃食油、使用済み小型家電、新たに小型充電式電池の拠点回収(15箇所)	当初予算	23,658,000円
		予算現額	23,341,000円
		決算額	18,232,708円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報による啓発	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	ごみ減量化等説明会	回	目標値	15	18	21	24	27
			実績値	7	8	2	13	12
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	家庭系ごみ(資源物を除く)の 一人一日あたり排出量	g/人・日	目標値	479	473	467	460.6	454.6
			実績値	526	511	493	484	477
	生ごみ処理容器等購入費補助	世帯	目標値	70	75	80	85	90
			実績値	117	95	118	120	113
	有価物集団回収奨励金交付団 体数	団体	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	97	97	96	96	93
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
さらなる、ごみ減量・資源化のため、引き続き各種事業を実施するとともに、令和8年度は新しい啓発チラシを作成するなど、あらゆる広報手段を活用し市民・事業者への啓発を図って行く。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	67
実施計画事業名	環境への負荷の低減	担当部署名	環境保全課	
事業の実施目的 及び概要	2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの削減に取り組んでいくため、EV車の導入及び定置用リチウムイオン蓄電システム等の省エネ設備の設置者に対して導入の補助を実施します。 また、環境家計簿等の普及や省エネに関する情報を広報やホームページに掲載し、情報提供を行います。生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図るため、高度処理型合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付し、普及を促進します。さらに、設置後5年を経過した浄化槽の維持管理状況調査を実施し、浄化槽の維持管理の促進を図ります。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	地球温暖化対策の推進に関する法律 気候変動適応法 印西市環境基本計画（印西市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び印西市地域気候変動適応計画を内包） 印西市庁内エコプラン 浄化槽法 印西地域循環型社会形成推進地域計画	
取組方針	環境への負荷の低減			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 気候変動に 関連する目標を 加速させる  6 安全な水とトイレ を世界中に 拡大させる  7 エネルギーを 安全に かつクリーンに 確保する  8 包摂的かつ 持続可能な 経済成長を 創出する  9 持続可能な 産業構造を 構築する  11 安全な都市と 地域を 作る  12 持続可能な 消費と 生産 をつなぐ  13 気候変動に 対応する ため 行動を起こす  14 海の資源を 持続可能に 利用する  17 パートナリシップを 通じて 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽維持管理状況調査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・カーボンニュートラル加速化事業(5か年) ・グリーンカーテン推進事業 ・いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050策定 ・公共施設ZEB化指針策定	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽維持管理状況調査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・カーボンニュートラル加速化事業(5か年) ・グリーンカーテン推進事業 ・公共施設等の脱炭素化の推進 ・カーボンニュートラル推進事業 ・シェアサイクル事業	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽維持管理状況調査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・カーボンニュートラル加速化事業(5か年) ・グリーンカーテン推進事業 ・公共施設等の脱炭素化の推進 ・カーボンニュートラル推進事業 ・シェアサイクル事業
事業費	130,632千円	140,000千円	140,000千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・合併処理浄化槽設置補助 90基 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 266件 ・グリーンカーテンでゼロカーボン事業 苗配布数 668苗、種配布数 820袋 ・いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050を策定した。 ・公共施設ZEB化指針を策定した。 ・東京ガス株式会社と「カーボンニュートラルなまちづくりに向けた連携協定」を締結した。	当初予算	130,632,000円
		予算現額	82,320,000円
		決算額	73,741,666円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	合併処理浄化槽の簡易水質検査	件	目標値	40	30	50	50	—
			実績値	50	48	47	—	—
	合併処理浄化槽補助設置基数	基	目標値	70	70	70	100	100
			実績値	112	102	90	107	90
	合併処理浄化槽維持管理状況調査数	件	目標値	—	—	—	—	50
			実績値	—	—	—	—	—
	合併処理浄化槽設置及び維持管理促進のPR(広報・HP・チラシ等)	回	目標値	5	5	5	—	—
			実績値	5	5	5	—	—
	太陽光設備設置基数	基	目標値	30	—	—	—	—
			実績値	55	—	—	—	—
	集合住宅用充電設備補助件数	回	目標値	—	—	2	3	4
			実績値	—	—	0	0	0
	定置用リチウムイオン蓄電システム設置補助件数	件	目標値	—	60	100	105	110
			実績値	—	160	138	137	123
成果指標	水質検査結果「適正」判定率	%	目標値	90	90	100	100	—
			実績値	96	96	100	—	—
	浄化槽法定検査受検率	%	目標値	—	—	—	—	100
			実績値	—	—	—	—	43
	CO2削減効果	t-CO2	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	170	—	—	—	—
	CO2削減効果(定置用リチウムイオン蓄電システム導入による)	t-CO2	目標値	—	—	76	80	84
			実績値	—	—	151	127	127

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	浄化槽法定検査受検率は目標値を下回ったが、定置用リチウムイオン蓄電システム導入によるCO2削減効果は目標値を上回ったことから、評価値をBとした。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
合併処理浄化槽補助金は、水質汚濁防止の観点から単独処理浄化槽及び汲取り便槽からの転換の促進に重点を置き継続する。 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金は、現行のまま継続するが、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、更なる施策を検討する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	68
1. 事業の概要				
実施計画事業名	コミュニティ活動の推進		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市と町内会等の相互協力関係を推進し、行政運営の円滑化及び地域社会における住民自治の振興を図るため、コミュニティ活動を支援するとともに、町内会活動等への参加の場を確保するため、活動拠点となる集会施設の整備を促進します。 また、市民相互の理解を深め、より強い絆を持った地域づくりを推進するため、市内4館のコミュニティセンターにおいて、コミュニティの醸成事業を行い、地域コミュニティの充実を図ります。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市行政協力交付金交付要綱、印西市町内会等活動費補助金交付要綱、印西市町内会等地区連絡会活動費補助金交付要綱、印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例、印西市青年館の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市集会所の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市構造改善センターの設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市集会施設整備事業補助金交付要綱	
取組方針	コミュニティ活動の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	11 住み続けられるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・コミュニティセンターの保全改修工事(永治プラザ)	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・コミュニティセンター保全改修工事(永治プラザ)及び関係者調整(船穂コミュニティセンター) ・平賀地区構造改善センターの大規模改修工事の基本設計	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・コミュニティセンター保全改修工事の設計(船穂コミュニティセンター) ・平賀地区構造改善センターの大規模改修工事の実施設計
事業費	181,053千円	420,354千円	216,495千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	行政協力交付金、町内会等活動費補助金、町内会等地区連絡会補助金を交付し、円滑な行政運営及び町内会活動等の活性化を図った。 また、印西市町内会自治会連合会作成の町内会加入促進パンフレットを活用し、町内会等への加入促進を図った。 町内会等へ集会施設整備事業補助金を交付し、町内会等が管理する集会施設の整備、充実を図った。 コミュニティセンターの講座事業数は、大幅に増やすことができ、地域活動の推進につながった。 また、永治コミュニティセンターについては、建築後28年が経過し、今後も市民が安全快適に利用できるよう、長寿命化計画に基づき、保全改修工事の契約を締結した。	当初予算	181,053,000円
		予算現額	162,564,000円
		決算額	154,111,772円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	町内会等への加入促進の広報活動	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	集会施設の新設、改築、修繕に対する補助	箇所	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	10	11	6	6	5
	コミュニティセンター講座等事業数	回	目標値	185	187	189	191	193
			実績値	83	147	218	214	243
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	町内会等組織数(累計)	団体	目標値	192	194	196	198	200
			実績値	194	195	196	200	201
	集会施設数	箇所	目標値	153	154	155	156	157
			実績値	151	150	157	159	159
	コミュニティセンター利用者数	人	目標値	100,000	100,500	101,000	101,500	102,000
			実績値	46,034	66,890	78,905	96,250	93,750
	コミュニティセンター登録団体数	団体	目標値	310	310	310	320	320
			実績値	228	226	182	186	183
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・町内会等への補助金等による各種経費負担の支援や、協力関係の維持等に引き続き努める。 ・コミュニティセンターでの講座事業の充実を図り、もってコミュニティセンターで地域活動を実施する登録団体数の増加を図る。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	69
実施計画事業名	市民の主体的な活動の支援	担当部署名	市民活動推進課	
事業の実施目的 及び概要	市民活動の推進及び活性化を図るため、活動を行うために必要な「場」「資金」「情報」「交流」等に関する様々な支援策を実施します。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市市民活動推進条例 印西市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 市民活動団体(NPO等)との協働を進めるためのガイドライン	
取組方針	市民の主体的な活動の支援			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	11 持続可能な住環境を つくろう  16 平和と公正な 社会を築こう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★指定管理者による市民活動支援センターの管理運営(機能強化及び常駐職員増員) ・市民活動に関する情報の収集及び提供 ・協働事業の推進 ・公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援	・指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 ・市民活動に関する情報の収集及び提供 ・協働事業の推進 ・公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援	・指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 ・市民活動に関する情報の収集及び提供 ・協働事業の推進 ・公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援
事業費	28,819千円	28,671千円	29,390千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	指定管理者による市民活動支援センターの管理運営、市民活動推進委員会の運営、市民活動に関する情報の収集・提供、企画提案型協働事業の実施、まちづくりファンドの実施等により、市民活動団体への支援や協働事業を推進し、市民活動の推進及び活性化を図った。	当初予算	28,819,000円
		予算現額	28,819,000円
		決算額	26,648,524円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民活動推進委員会の開催数	回	目標値	9	7	7	7	7
			実績値	6	6	7	6	7
	市民活動支援センター年間利用者数	人	目標値	10,000	10,000	10,500	10,500	11,000
			実績値	7,460	9,307	10,523	9,142	10,888
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	協働事業の実施件数	件	目標値	80	82	84	86	88
			実績値	83	87	82	81	88
	市民活動支援センター登録団体数	団体	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	199	219	228	230	258
	まちづくりファンド実施件数	件	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	10	18	17	22	24
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
魅力と活力のあるまちづくりを推進するため、市民活動や協働事業の活性化を図れるよう、引き続き事業を継続していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	70
実施計画事業名	市民参加意識の向上		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民が主体的に行政に関わるための基本的な事項を定めた市民参加条例により市民参加を推進し、魅力と活力のある地域社会の発展に寄与します。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市市民参加条例及び同条例施行規則	
取組方針	市民参加意識の向上			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	11 16 17			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知
事業費	127千円	127千円	127千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・市民参加推進委員会の開催1回 ・市民参加実施状況及び実施予定の公表 ・市民との協働及び市民参加に関する職員研修1回	当初予算	127,000円
		予算現額	127,000円
		決算額	68,100円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民参加推進委員会の開催	回	目標値	1	2	1	2	1
			実績値	1	1	1	1	1
	市民参加実施状況の公表	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	庁内へ市民参加手続きの周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公募市民が委嘱されている審議会等の数	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	26	26	26	25	28
	公募可の審議会等における公募委員の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	14	14	17	13	14
	市民意見公募手続の平均応募件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	7	7	21	34	49
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市民が行政に関心をもち、率直な意見をいただけるよう、引き続き、わかりやすい情報の提供・収集方法の工夫に努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	71
実施計画事業名	人権尊重の推進と 男女共同参画社会の実現に向けた取組		担当部署名 市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりが、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現のために、人権尊重と男女共同参画意識の醸成を図るとともに、多様な生き方を実現するための環境整備や、誰もがいかなる差別や暴力を受けることなく安心して安全に暮らせるための取組等を、男女共同参画プランに基づき総合的に推進します。 また、すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するため、人権擁護委員と連携を図り、人権教育や啓発講座などの人権擁護活動を総合的に推進します。		
関連施策	【5-2】人権尊重と男女共同参画社会の実現	根拠法令 関連計画	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、印西市男女共同参画プラン、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権擁護委員会法
取組方針	男女共同参画社会の実現に向けた 取組の推進/人権尊重の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 促進しよう  10 人々の健康と 豊かさを 増進しよう  16 平和と公正を すべての人に 実現しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・男女共同参画プランの進行管理 ・主催事業の実施 ・啓発資料の掲示及び配布 ・情報紙の発行 ・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画センター開設、運営 ・人権啓発事業の実施	・男女共同参画プランの進行管理 ・主催事業の実施 ・啓発資料の掲示及び配布 ・情報紙の発行 ・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画センター運営 ・人権啓発事業の実施	・男女共同参画プランの進行管理 ・男女共同参画プラン(次期プラン)の策定業務(意識調査) ・主催事業の実施 ・啓発資料の掲示及び配布 ・情報紙の発行 ・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画センター運営 ・人権啓発事業の実施
事業費	3,408千円	3,060千円	6,060千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	各種事業の開催や情報紙の発行、ホームページや市のLINEなどによる情報発信を行い市民への啓発を図った。 令和7年度は新たに市民活動団体との協働事業を実施し、イオンでのイベントや映画会などを開催することができた。 男女共同参画推進委員会を2回開催した。 令和7年4月に印西市男女共同参画センターを開設し、情報提供や団体の活動支援を行った。 人権教室は小学校18校、中学校7校で実施することができ、2,417人の児童生徒に対し、いじめや性的マイノリティなどをテーマとした人権啓発を行った。今後も継続して実施していく。	当初予算	3,408,000円
		予算現額	3,408,000円
		決算額	3,031,130円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座等の開催数	回	目標値	6	6	6	6	10
			実績値	6	8	10	12	13
	情報紙の発行回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	3	2	2	2
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	講座等の参加者数	人	目標値	190	190	190	190	260
			実績値	94	183	354	364	579
	審議会等の女性委員比率	%	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	29	30	30	30	29
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	男性向けの講座や、映画会、ワークショップなどさまざまな講座を実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	イオンホールでの自由来場型のイベントの実施や、女性視点の防犯防災に関する講座を開催し参加者の増加を図ることができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続き講座内容や形式を工夫しながら啓発していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
男女共同参画が身近な課題であることを広く継続的に周知啓発していく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	72
実施計画事業名	相談支援体制の充実		担当部署名 市民活動推進課 子育て支援課
事業の実施目的 及び概要	関係機関との連携を通して相談事業の実施や適切な情報提供などを行い、悩みを抱える女性やDV(配偶者など暴力)被害者を支援していきます。 相談者が安全に安心して相談できるよう体制を整備するとともに、専門的知識や経験を有する人材の確保に努めます。		
関連施策	【5-2】人権尊重と男女共同参画社会の実現	根拠法令 関連計画	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 印西市男女共同参画プラン
取組方針	相談支援体制の充実		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 実現しよう  10 人や国との平等を とどめよう  16 平和と公正な すべての人に 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化
事業費	3,107千円	2,761千円	5,761千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	女性の生き方や家族の問題などに関する悩みに対し、専門のカウンセラーによる相談を実施して、相談者の悩みが解消するように努めた。 令和7年度より女性の悩み相談はコスモスパレットで実施し利便性の向上を図った。 DV被害者やその他の悩みを抱える女性に対し、関係機関と連携を図りながら適切な支援ができるように努めた。(緊急避難のための支援金:実績なし)	当初予算	3,107,000円
		予算現額	3,107,000円
		決算額	2,657,702円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	女性の悩み相談周知回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	女性の悩み相談日数	日	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	24
	DV被害者支援周知回数	回	目標値	1	1	2	2	2
			実績値	1	1	2	2	2
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	女性の悩み相談者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	69	54	81	66	91
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	計画通りに実施することができた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	相談者数は目標値をやや下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	相談者数の目標値を達成できなかったため。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
女性の悩み相談は、令和7年度からコスモスパレットを会場に実施し利便性の向上を図ることができた。女性が抱えるさまざまな悩みが解消へ繋がるよう継続した支援を行っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	73
実施計画事業名	電子行政の推進	担当部署名	DX推進課
事業の実施目的 及び概要	ICT分野における技術革新や環境の変化に柔軟に対応しながら、市民生活が向上するよう電子申請手続きやキャッシュレス決済の拡充などデジタル・トランスフォーメーションに取り組むとともに、並行してデジタルデバイド対策を講じ、市民の利便性向上に努めます。また、庁内の情報機器などの設備・更新を進めて、高い情報セキュリティ水準を維持しながら、新たな技術動向の調査検討を進めることで業務の安定稼働と効率化を図れるよう取り組みます。		
関連施策	【5-3】 行政の電子化・情報化の推進	根拠法令 関連計画	印西市DX推進方針
取組方針	ICTの活用などによる効率的な行政運営 / 電子行政の推進		
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	 16 平和と公正 強い制度のために  17 パートナーシップで 目標を達成しよう		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの運用 ★RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済の運用 ・デジタルデバйд対策の実施 ・HPでのAIチャットボットの運用 ・市民協働投稿サービスの運用 ★DX外部人材の登用 ★業務へのAI導入の検討 ★スマートシティの調査研究	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの運用 ★RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済の運用 ・デジタルデバйд対策の実施 ・HPでのAIチャットボットの運用 ・市民協働投稿サービスの運用 ★DX外部人材の登用 ★業務へのAI導入の検討 ★スマートシティの調査研究	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの運用 ★RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済の運用 ・デジタルデバйд対策の実施 ・HPでのAIチャットボットの運用 ・市民協働投稿サービスの運用 ★DX外部人材の登用 ★業務へのAI導入の検討 ★スマートシティの調査研究
事業費	347,813千円	347,813千円	347,813千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	■職員向け研修 Excel研修 7/24、9/12(28名) PowerPoint研修 7/25、9/11(15名) BPRワークショップ研修 8月～12月 5回 (11名) 生成AI研修 7/30、9/3、10/15、11/10(のべ68名) DX基礎研修(eラーニング) 12月から3月 受講者184名 DX基礎研修(階層型) 12/18、12/22、12/23、12/24、1/9(のべ86名) ■電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ちば電子申請手続き(874手続き)、ぴったりサービス(33手続き) ■公共施設予約システムの運用 コスモスパレットでのシステム利用開始 ■RPA等の導入拡大 スズメバチ補助金申請登録業務 給付金口座登録業務 乳幼児健康診査実施状況届AI-OCR読み取り業務 ■地方創生交付金を活用した事業の支援 キャッシュレス決済対応セミセルフレジ導入事業 ■デジタルデバйд対策として公民館等が実施する スマホ講座の開催支援(高齢者向け3回)	当初予算	347,813,000円
		予算現額	343,864,000円
		決算額	336,978,037円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員向け研修	回	目標値	2	2	2	2	4
			実績値	2	5	6	6	6
	公共施設予約システムの停止を伴う定期メンテナンス	回	目標値	2	2	—	—	—
			実績値	2	2	—	—	—
	公共施設予約システムのキャッシュレス決済利用件数	回	目標値	—	—	2,000	4,000	6,000
			実績値	—	—	3,384	11,906	16,822
	電子申請手続き、ぴったりサービスの手続数	手続	目標値	37	39	70	250	300
			実績値	103	197	374	448	907
	パソコン更新	台	目標値	240	250	—	—	—
			実績値	244	273	—	—	—
	公開型GISに新規搭載する地図数	枚	目標値	—	—	2	2	2
			実績値	—	—	2	1	3
成果指標	WEB会議用パソコン購入・更新	台	目標値	5	5	—	—	—
			実績値	5	0	—	—	—
	職員向け研修参加者数	延べ人数	目標値	50	100	150	200	250
			実績値	145	376	205	181	392
	公共施設予約システムの安定稼働率	%	目標値	99	99	—	—	—
			実績値	100	100	—	—	—
	パソコン更新率	%	目標値	100	100	—	—	—
			実績値	100	100	—	—	—
	WEB会議用パソコン貸出	延べ台数	目標値	160	320	—	—	—
			実績値	982	789	—	—	—
	公共施設予約システムのWEB受付の割合	%	目標値	—	—	68	70	72
				—	—	60	59	63
	公開型GISの閲覧数	回	目標値	—	—	16,000	17,000	18,000
			実績値	—	—	16,971	19,471	21,884

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	公共施設予約システムのWEB受付の割合が目標を下回ったが、他の指標で目標を上回ったため
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、職員のDXリテラシー向上を図りながら、地方創生交付金等を活用し、行政手続きの電子化に努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	74
実施計画事業名	時代に即した情報発信		担当部署名 秘書広報課
事業の実施目的 及び概要	市政情報や地域の出来事、まちの魅力などを幅広く発信することを目的に、市ホームページや広報紙については必要に応じて見直しを図るとともに、SNSや動画など、時代に即した情報発信手段の活用を図ります。		
関連施策	【5-3】行政の電子化・情報化の推進	根拠法令 関連計画	印西市広報広聴規則 印西市広報レポーター設置要綱 印西市DX推進方針 印西市政情報の公表及び提供の積極的な推進に関する要綱
取組方針	時代に即した情報発信		
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	16 平和と公正をすべての人に  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容 及び数量)	・広報紙の発行(月2回※10月からは1回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付(10月からは全戸配布)及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る。	・広報紙の発行(月1回) ・広報紙の全戸配布及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページのリニューアル ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る。	・広報紙の発行(月1回) ・広報紙の全戸配布及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る。
事業費	44,423千円	79,423千円	44,423千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	【広報紙発行】 ・外部委託により、レイアウト、デザイン、図表等の作成に専門技術を取り入れ、分かりやすく読みやすい紙面編集に努めた。 ・内容の充実を図るため、10月から発行回数を毎月1回とするとともに、市に関する情報を確実に市民へ届けるため、全戸配布を開始した。また、市内の駅や郵便局などへも広報紙を配布した。 ・市民の視点を取り入れるため、広報レポーターによる取材記事を掲載し、市の住み良さやまちの魅力を紹介した。 ・スマートフォンアプリによる広報紙の配信及びその周知に努めた。 【ホームページ等】 ・インターネットが持つ即時性を活かし、SNSや動画を活用した積極的な情報発信に努めた。 ・ホームページ操作研修を実施し、適切なコンテンツ作成、アクセシビリティの確保について周知を図った。	当初予算	44,423,000円
		予算現額	42,725,000円
		決算額	41,579,787円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙発行回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	18
	ホームページコンテンツ数	件	目標値	3,500	3,500	4,500	4,500	6,500
			実績値	4,418	4,568	4,248	4,475	4,870
	市公式エックス(旧ツイッター)発信件数	件	目標値	50	55	450	450	450
			実績値	442	443	260	259	374
	マスコミへの情報提供数	件	目標値	60	65	120	120	120
			実績値	113	85	76	86	79
			目標値					
			実績値					
成果指標	広報紙発行部数	部	目標値	29,000	28,900	28,800	—	—
			実績値	27,300	25,600	24,700	—	—
	広報紙自動配信アプリ登録件数	件	目標値	2,900	3,000	3,100	6,000	8,500
			実績値	3,998	5,409	7,105	7,743	8,798
	市公式エックス(旧ツイッター)フォロワー数	件	目標値	3,700	3,800	3,900	6,000	6,500
			実績値	4,928	5,463	5,757	6,251	6,523
	広報紙の世帯配布率(アプリ登録者含む)	%	目標値	—	—	65	66	67
			実績値	—	—	62	59	97
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	全職員で広報に取り組む姿勢を浸透させ、市公式SNSなどの広報媒体を活用し、情報を積極的に発信していく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	広報紙の全戸配布の効果により、世帯配布率が向上した。広報紙自動配信アプリ登録件数、市公式Xフォロワー数を増やすため、引き続き周知していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ホームページや市公式SNSなどの広報媒体により、積極的な情報発信をしていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
令和8年1月に、目指すべき広報の姿などを定める広報戦略を策定した。具体的な行動計画(アクションプラン)も策定してることから、その確実な実行を図り、進行管理を行っていく。 市民が必要とする情報をわかりやすく、正確に伝えるため、広報紙について、令和8年5月号から紙面のリニューアルを実施した。市ホームページについても、令和9年3月のリニューアルに向けて準備を進めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号

75

1. 事業の概要

実施計画事業名	窓口サービスなどの充実		担当部署名	市民課、納税課、 国保年金課
事業の実施目的 及び概要	感染症の拡大防止に伴う新しい生活様式に対応するなど、市民ニーズに応じた手続きしやすい窓口サービスを提供するとともに、各種証明書交付の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを利用したコンビニ等での証明書交付サービスを促進します。 また、これまで提供してきたコンビニ納付や土曜開庁、中央駅前出張所でのサービスを継続させるほか、窓口の民間委託化や統合化を進め、効率的な窓口サービス体制の構築を図るとともに、市税など公金の納付機会の更なる充実に努めます。			
関連施策	【5-4】 市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	第6次行政改革実施計画 印西市DX推進方針	
取組方針	窓口サービスなどの充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 実現しよう  10 人や国の不平等を なくそう  11 住み続けられる まちづくりを  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容 及び数量)	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの取得促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・本荘ファミリア館保全改修工事 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの取得促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの取得促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集
事業費	857,211千円	237,771千円	237,771千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	2-1-10	出張所費	中央駅前出張所事務に要する経費、滝野出張所施設管理に要する経費
	2-3-1	戸籍住民基本台帳費	戸籍電算処理に要する経費、住民基本台帳事務に要する経費、窓口事務に要する経費
	3-1-3	国民健康保険費	国保窓口業務委託に要する経費
	3-5-1	国民年金総務費	国民年金事務に要する経費
	4-1-1	保険衛生総務費	後期窓口業務委託に要する経費
	【国民健康保険特別会計予算】		
	1-1-1	一般管理費	一般管理事務に要する経費
	1-2-1	賦課徴収費	賦課徴収に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・多様な方法による市税等の収納業務の実施 ・コンビニ、マルチペイントでの収納業務を継続実施 ・本埜ファミリア館保全改修工事完了 ・支所出張所機能の見直しの検討	当初予算	857,211,000円
		予算現額	581,558,000円
		決算額	564,941,715円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市税における納付方法等の周知(広報、HP)	回	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	23	21	26	24	31
	マイナンバーカード利用促進のための周知	種類	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	6	5	5	5	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市税の収納率	%	目標値	94.5	94.7	95.6	95.8	96.0
			実績値	95.4	95.8	96.6	96.8	97.2
	コンビニ等での証明書(住民票・印鑑証明書)交付割合	%	目標値	6	8	10	30	36
			実績値	11	17.4	35.5	45.3	49.9
	国保口座振替実施率	%	目標値	30.0	30.5	31.0	31.5	32.0
			実績値	26.3	26.7	26.4	26.6	25.3
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
マイナンバーカードの利用促進。 新たな納付環境の情報収集及び国保税収納率の向上に努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	76
1. 事業の概要			
実施計画事業名	市民相談の実施		担当部署名 市民活動推進課 秘書広報課
事業の実施目的 及び概要	日常生活における悩みや問題について相談を希望する市民に対し、専門的な知識や経験を有する相談員から、相談者が自ら解決するための助言及び他の相談機関の情報を受ける機会を提供することを通じて、市民生活の向上に資することを目的とし、法律相談や市民生活相談などを実施します。		
関連施策	【5-4】 市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	人権擁護委員法 行政相談員法
取組方針	各種相談の実施		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 実現しよう  10 人や国の不平等を なくそう  11 住み続けられる まちづくりを  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容及び数量)	・法律相談の実施(月3回) ・司法書士相談の実施(月1回) ・税理士相談の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回) ・市民相談室開設	・法律相談の実施(月3回) ・司法書士相談の実施(月1回) ・税理士相談の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回)	・法律相談の実施(月3回) ・司法書士相談の実施(月1回) ・税理士相談の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回)
事業費	2,084千円	2,081千円	2,081千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	令和7年度より相談会場をコスモスパレットの市民相談室に移動し利便性の向上を図った。 相談内容をあらかじめメモなどにまとめてきていただいたことで、決められた相談時間の中で効率よく相談ができていた。 急を要する相談者には関係機関を紹介することができた。	当初予算	2,084,000円
		予算現額	2,084,000円
		決算額	2,077,259円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	法律相談毎月実施	回	目標値	36	36	36	36	36
			実績値	36	36	36	35	36
	市民生活相談(司法書士)毎月実施	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	市民生活相談(税理士)毎月実施	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	11	12
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	法律相談の利用者数(年間)	人	目標値	260	288	288	288	288
			実績値	270	271	267	256	264
	市民生活相談(司法書士)の利用者数(年間)	人	目標値	58	72	72	72	72
			実績値	70	68	66	71	70
	市民生活相談(税理士)の利用者数(年間)	人	目標値	58	72	72	72	72
			実績値	63	68	68	62	71
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	計画通りに実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	相談を希望する市民へ必要な情報を提供することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	計画通りに実施することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き継続して実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	77
実施計画事業名	情報公開制度の適正な運用	担当部署名	総務課	
事業の実施目的 及び概要	情報公開制度の適正な運用に努めるとともに、公文書の適正な管理を行い、市民への情報公開・情報提供を積極的に推進します。また、市民への積極的な情報提供を行うための手段である行政資料コーナー（行政資料室）の整備やホームページへの掲載に努めます。			
関連施策	【5-4】 市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	印西市情報公開条例	
取組方針	情報公開制度の適正な運用			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 推進しよう  10 人や国の不平等を なくそう  11 住み続けられる まちづくりを  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容及び数量)	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進
事業費	4,853千円	4,853千円	4,853千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	情報公開制度の適正な運用を行い、市民への情報の公表・提供の推進を図るため、ホームページを活用、行政資料コーナーの充実に努めた。また、文書ファイリングシステムについて抽出した3課(市民活動推進課(男女共同参画係は除く)、木下交流の杜歴史資料センター、印旛支所市民サービス課)を対象に実地点検を実施し、職員の文書管理に対する意識の高揚を図った。	当初予算	4,853,000円
		予算現額	4,815,000円
		決算額	3,542,125円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各課情報公表・提供の情報一覧の公表	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
	ファイリングの点検	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市政情報の公表・提供数	件	目標値	1,316	1,374	1,432	1,490	1,548
			実績値	877	999	1,085	1,159	1,268
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値を下回る結果となったが、各課が公表する市政情報の件数は前年度に比べ増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	市政情報の公表及び提供の積極的な推進を図る。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続きホームページや行政資料コーナーを活用して、市民の関心の高い情報を積極的に提供していく。また、長期保存文書の保管場所の確保、既存施設を有効活用するなど、文書保管場所の確保に取り組んでいく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	78
1. 事業の概要			
実施計画事業名	事務事業の見直しと事務改善の推進		担当部署名 総務課
事業の実施目的 及び概要	多様化する行政需要に対応した、将来にわたる持続可能な行政運営を図るため、第6次印西市行政改革大綱に基づき、BPR(業務改革)の手法やICTを活用した、事務事業の見直しや事務改善を推進します。		
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	第6次印西市行政改革大綱 第6次印西市行政改革実施計画
取組方針	事務事業の見直しと事務改善の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 促進しよう  8 健全な成長を 促進せよ  10 人や国の不平等を なくそう  11 住み続けられる まちづくりを  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容及び数量)	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ★行政手続きの押印見直し ★行政文書の電子決裁推進 ★行政診断に基づく改善策の実施	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ★行政手続きの押印見直し ★行政文書の電子決裁推進 ★行政診断に基づく改善策の実施	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ★行政手続きの押印見直し ★行政文書の電子決裁推進 ★行政診断に基づく改善策の実施
事業費	1,058千円	1,058千円	1,058千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	- 行政診断に基づき、以下の改善策を進めた。 - RPAは新規で3業務開始した。 乳幼児健康診査実施状況届AI-OCR読み取り業務(子ども家庭課) 補助金申請登録業務(環境保全課) 給付金口座登録業務(社会福祉課) - 市民利用が多い施設にキャッシュレス端末を設置したことで、キャッシュレス決済利用件数を引き続き増加させることができた。 - 文書の電子決裁化率について、市長決裁までを電子決裁とすることで、目標には満たなかったものの、62.6%と前年度の29.4%から大きく増加した。	当初予算	1,058,000円
		予算現額	1,058,000円
		決算額	899,346円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	キャッシュレス決済端末設置窓口数	台	目標値	—	9	9	23	23
			実績値	4	9	23	23	23
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	キャッシュレス決済利用件数	件	目標値	1,500	1,900	3,000	8,000	9,000
			実績値	793	5,855	10,311	22,079	27,980
	RPA利用事業数	件	目標値	2	3	5	10	11
			実績値	3	7	7	10	13
	押印不要とした手続き数	件	目標値	240	720	960	1,200	1,200
			実績値	817	1,067	1,104	1,164	1,164
	電子決裁化率(供覧・起案)	%	目標値	—	50	60	70	70
			実績値	—	12.6	18.4	29.4	62.6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	キャッシュレス端末について、市民利用が多い施設への設置は完了した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標には満たなかったものの、電子決裁化率が前年度を上回り、業務を効率化することができた。また、キャッシュレス端末を各施設に設置したことで、キャッシュレス決済利用件数の増加が続いており、市民サービスの向上に資することができたと考ええる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	決裁事務の効率化により、職員の業務負担軽減に寄与したほか、キャッシュレス決済の利用件数増加から、市民サービスの向上に資することができたと考ええる。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き文書の電子決裁を促進するとともに、歳出伝票の電子決裁化に取り組んでいきたい。また、より質の高い市民サービスの提供のため、様々な手続きの電子化を進める必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	79
1. 事業の概要			
実施計画事業名	職員の育成	担当部署名	人事課
事業の実施目的 及び概要	専門的、実務的な知識の習得、政策形成、対人折衝、職務遂行等の能力向上を図り、系統立てた人材育成を推進することにより、社会情勢の変化や様々な行政課題に対応できる職員を育成し、組織としての総合力を高めていきます。		
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市職員人材育成基本方針
取組方針	職員の育成		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 促進しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等を なくそう 11 住み続けられる まちづくりを 17 パートナリシップで 目標を達成しよう		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位：千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容及び数量)	★階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ★職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。	★階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ★職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。 ★職員の外部出向・外部人材の受入れを積極的に行い、職員の専門性を育てる。	★階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ★職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。 ★職員の外部出向・外部人材の受入れを積極的に行い、職員の専門性を育てる。
	事業費	8,927千円	8,927千円

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	階層研修・専門研修・特別研修・職場内研修(OJT)を実施した。 階層別研修では、経験年数の基準から職員を指定し、受講を実施した。 令和7年度の活動指標については、研修数、専門研修数ともにそれぞれ 目標値を達成することができた。 同様に、成果指標についても、階層別研修及び専門研修ともにそれぞれ 目標値を上回ることができた。	当初予算	8,927,000円
		予算現額	8,911,000円
		決算額	7,580,611円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	研修数	講座	目標値	90	90	90	90	95
			実績値	105	96	117	126	120
	うち、専門研修数	講座	目標値	40	40	40	40	45
			実績値	32	43	46	49	46
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	階層別研修参加者数	人	目標値	90	71	94	93	73
			実績値	78	75	153	165	154
	専門研修参加者数	人	目標値	40	40	40	40	72
			実績値	38	47	100	119	139
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
新たに策定した印西市人材戦略のもと、多様な学習機会と研修体系の見直しを図り、職員の自律的な学びを促し、専門性を高められる育成環境の整備を進める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	80
実施計画事業名	公共施設マネジメントの推進		担当部署名	資産経営課、生涯学習課、 印旛支所市民サービス課
事業の実施目的 及び概要	公共施設の老朽化が進む中で、将来的には人口減少や少子高齢化の進行により、公共施設の更新などに充当できる財源を確保することが難しくなり、公共施設などを適正に維持することが困難になると予想されています。したがって、公共施設の更新などの費用負担を軽減するため、公共施設の集約化や複合化などに取り組み、公共施設保有量の縮減を図ります。 また、公共施設の維持管理費の縮減や管理運営の効率化を図るため、指定管理者制度の導入などの民間活用を推進するとともに、取り組みにより生じた公共施設跡地の売却や貸付などにより財源の確保に努めます。			
関連施策	【5-5】持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市公共施設等総合管理計画 印西市公共施設適正配置実施方針 印西市公共施設適正配置アクション プラン 印西市公共施設長寿寿命化計画 (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設整備基本計画	
取組方針	公共施設マネジメントの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	    			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容 及び数量)	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理及び見直し ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設にかかる外構及び道路の建設 ・ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事 ★公民連携手法による公共施設整備等の調査・研究	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理及び見直し ・ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事 ★公民連携手法による事業の推進	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理 ★公民連携手法による事業の推進
事業費	1,028,410千円	2,156,993千円	1,251千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	公共施設等の総合管理に要する経費
	2-1-1	一般管理費	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業(総務費)
	2-1-9	支所費	印旛支所施設管理に要する経費
	9-5-4	公民館費	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業(教育費)

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・印西市公共施設等総合管理計画及び印西市公共施設適正配置アクションプランの実施状況等については、所管課からヒアリング等を行い把握し、進捗管理に努めた。 ・指定管理者制度の導入については、既導入施設にかかるモニタリングや非公募・再指定にかかる手続きについては滞りが無いよう調整を図った。導入済施設のモニタリング結果は概ね良好で、市民サービス向上に寄与しているとともに、指定管理料が直當時の設計額を下回るケースが多く、費用対効果も確認できた。 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の整備については、2号館の解体工事、敷地内市道の敷設工事の各工事が完了した。 - 令和7年4月から中央駅前地域交流館(コスモスパレット)の運営を開始した。 ・ふれあいセンター印旛大規模改修工事は目標値に届かないものの、予定どおり工事は進捗している。 ・木下駅前にぎわい広場への公共施設整備を視野に入れた木下エリア活性化をはじめとし、公民連携アドバイザーの活用や視察等を通じて、調査・研究に努めた。	当初予算	1,028,410,000円
		予算現額	969,138,000円
		決算額	951,629,322円
		翌年度繰越額	1,823,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	進捗管理に関する施設所管課等ヒアリング	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂	%	目標値	100	100	-	-	-
			実績値	75	90	100	-	-
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の民間事業者公募	回	目標値	1	-	-	-	-
			実績値	1	-	-	-	-
	公民連携にかかる研修会等への参加	人	目標値	-	-	-	-	7
			実績値	-	-	-	-	7
			目標値					
			実績値					
成果指標	公共施設の延床面積	㎡	目標値	R32年度までに34,492㎡(R2年度末時点)の11%を縮減する。				
			実績値					
	指定管理者制度の新規導入	施設	目標値	8	5	3	-	2
			実績値	8	5	3	-	1
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の整備	%	目標値	-	25	50	75	100
			実績値	-	25	50	75	100
	ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事	%	目標値	-	-	-	10	70
			実績値	-	-	-	10	42
	公共施設等総合管理計画の見直し	%	目標値	-	-	-	-	50
			実績値	-	-	-	-	20

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	令和8年度に公共施設等総合管理計画の見直しを行うため、時点修正に必要な資料の収集に努めた。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、公共施設等総合管理計画及びアクションプランの進捗管理に努めるとともに、「ふれあいセンターいんば」の改修及び複合化工事公共ならびに、公共施設等総合管理計画の見直しを滞りなく進める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	81
実施計画事業名	公共施設の配置などの適正化の推進		担当部署名	資産経営課
事業の実施目的 及び概要	市域全体の公共施設の整備について、印西市公共施設整備基本方針に基づき推進を図ります。			
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市公共施設整備基本方針 印西市公共施設等総合管理計画	
取組方針	公共施設の配置などの適正化の検討			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	8 最もよい仕事と生活の質を高める  10 人や国の平等を促進する  11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の実施内容 (具体的な内容及び数量)	・公共施設整備基本方針に基づく進行管理 ★将来的な公共施設の在り方、整備方針等の検討	・公共施設整備基本方針に基づく進行管理 ★将来的な公共施設の在り方、整備方針等の検討	・公共施設整備基本方針に基づく進行管理 ★将来的な公共施設の在り方、整備方針等の検討
事業費			

[illegible]

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	令和4年12月に策定した印西市公共施設整備基本方針に基づく進行管理として、関係各課から提出のあった進捗状況に関する調書をもとにヒアリングを実施するとともに、その内容について作業部会にて報告をした。 印西牧の原駅圏複合施設に係る、市が構想案で示した導入機能(案)について市民意見募集及び対話会を実施し、市民のニーズと市が考える複合施設の構想案が一致しているか把握に努めた。また、市場性の有無や公募に向けた課題等を把握するため、サウンディング型市場調査を行った。	当初予算	—
		予算現額	—
		決算額	—
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	庁内検討組織での検討	回	目標値	3	3	5	5	5
			実績値	6	6	9	10	19
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公共施設整備基本方針の策定	%	目標値	100	100	—	—	—
			実績値	80	100	—	—	—
	各施設に係る計画の策定	件	目標値	—	—	1	1	1
			実績値	—	—	1	0	0
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	公共施設の在り方について庁内検討組織で検討を行ったが、各施設に係る計画の策定には至らなかった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	公共施設の在り方について庁内検討組織で検討を行ったが、各施設に係る計画の策定には至らなかった。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
印西市公共施設整備基本方針に基づく進行管理を継続するとともに、多極・循環型のまちづくりにおける市役所の在り方検討や公民連携手法を活用した印西牧の原駅圏複合施設配置検討等を含め、将来の公共施設における利用者目線での空間づくりを推進し、施設の質を高め、より魅力的な公共施設の整備に努める。